判読事例集

令和５年２月

ー　目次　ー

1. 土地利用項目定義 1

2. 判読カード 4

2.1 10:田 4

2.2 20:その他の農用地 7

2.3 50:森林 12

2.4 60:荒地 16

2.5 71:中高層建物 22

2.6 72:工場 25

2.7 73:低層建物（非密集地） 27

2.8 74:低層建物（密集地） 30

2.9 91:道路 31

2.10 92:鉄道 34

2.11 101:施設等用地 36

2.12 102:空地 43

2.13 103:公園・緑地 46

2.14 110:河川地及び湖沼 49

2.15 140:海浜 55

2.16 150:海水域 57

2.17 160:ゴルフ場 59

3. 補足事項 61

3.1 敷地の判断に関する補足事項 61

3.2 田・その他の農用地・森林・荒地に関する補足事項 65

3.3 大規模災害地域の判読に関する補足事項 66

3.4 最小取得面積の取得事例、判読基準が不明瞭な箇所の判読事例 67

1. 土地利用項目定義

土地利用項目の定義を以下の表に示す。

基礎分類項目の定義を表 1-1-1 に、都市地域において適用する細分項目（共通項目を除く）の定義を表 1-1-2 に示す。

表 1-1-1　土地利用項目定義（基礎分類項目）

作業コード	項目	定義	適用		
			含むもの	例外的に含むもの	含まないもの
10	田	主に水稲を栽培するために区画された農用地。	湿田、乾田、沼田、蓮田、休耕田。		河川区域内の田→「河川地及び湖沼」。
20	その他の農用地	田以外のすべての農用地。	野菜を栽培する畑、果実を栽培する果樹園、桑畑、茶畑、牧草地、草地、芝地、麦、陸稲、桐、はぜ、こうぞ、しゅろなどを栽培する土地、樹木畑、牧場(牧草地・放牧場を含む)。	温室やビニールハウス、畜舎などの農業用の建物。	河川区域内のその他の農用地→「河川地及び湖沼」。
50	森林	樹高 2m以上の多年生の植物がまとまって分布する地域。	広葉樹、針葉樹、竹林、やし科樹林、はい松林など。樹高 2m未満の植林地や天然更新した伐採跡地。		河川区域内の森林→「河川地及び湖沼」。
60	荒地	そのままでは利活用が困難で転用できない土地。恒常的に変わらない土地被覆と解釈できる場所。	しの地、荒れ地、がけ、岩、万年雪、湿地、採鉱地、法面など。採石場、採砂場、最終処分場。海岸に接する岩・岩がけ・露岩地、かれ川、上流河川部における砂礫地。植林や天然更新が確認することができない伐採跡地。	火砕流・土石流の被害地は現状の土地被覆状況を優先し「荒地」とする。	河川区域内の荒地→「河川地及び湖沼」。
70	建物用地	住宅地や市街地などの建物用地。	住宅地や市街地などの建物が密集する地域や農山漁村などの建物の密度が低い地域。	地形図図式“樹木に囲まれた居住地”で表現された領域。 競馬場の厩舎。	河川区域内の建物用地→「河川地及び湖沼」。 温室や畜舎などの農業用の建物→「その他の農用地」。 建物用地(敷地)内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
91	道路	幅員 13m以上の幹線道路及び道路用地。「道路が成立するために必要な空間」「道路と一体で有効利用され得る空間」と解釈する。 最少取得面積の 1ha は考慮せず、メッシュ中心と重なる道路が前述の基準幅以上であれば取得する。	幅員 13m以上の幹線道路。道路沿いの大規模な切土方面、盛土、IC、SA の駐車場等の道路に付随する関連施設を含む道路用地。 河川区域内・海水域内の道路用地(主に橋梁)。	幅員 13m以上の道路沿いに側道がある場合は、これを含めて道路用地とする。幅員 13m以上の道路に接続する上下線分離の道路では 13m未満の道路であっても、連続性を考慮して道路用地とする。13m以上の道路と接続しなくても広範囲な道路用地は取得する。	幅員 13m 未満の道路・トンネル区間→地上の土地利用に含める。 建設中の道路→「空地」。 敷地内道路→周囲の土地利用に含める。
92	鉄道	鉄道の軌道及び鉄道用地。「鉄道が成立するために必要な空間」「鉄道と一体で有効利用され得る空間」と解釈する。 軌道については、最少取得面積の 1ha は考慮せずメッシュ中心と軌道が重なれば取得する。	鉄道の軌道。駅の操車場やその敷地内の建築物、車両基地、駅ビル、駅前ロータリーなどの関連施設を含む鉄道用地。工場への引き込み線。地下鉄の地上部分。JR・JR以外の鉄道、貨物鉄道、路面電車、モノレール、新交通システム等の専用軌道を有した交通機関。 河川区域内・海水域内の鉄道用地(主に橋梁)。	鉄道の仮復旧を目的とした、鉄道用地を利用した施設(例:BRT 専用道路)。	地下区間(トンネル、地下鉄)→地上の土地利用に含める。 建設中の鉄道や廃線になった鉄道敷地→「空地」。 ケーブルカー、ロープウエー、遊園地の遊具、リフト、ベルトコンベア、外部との接続がない工場敷地内にのみ軌道を敷設している貨物線→周囲の土地利用に含める。
100	その他の用地	これ以外の項目で定義されていない用地全般。	運動競技場、空港、競馬場、野球場、学校のグラウンド、港湾地区、造成地、空地、公園、緑地などを含む地域。		河川区域内のその他の用地→「河川地及び湖沼」。 その他の用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
110	河川地及び湖沼	幅 25m以上の河川と河川区域内の河川敷及び平水時に水をたたえている水面。 河川(湖沼等を除く)については、最少取得面積の 1ha は考慮せずメッシュ中心と重なる河川が前述の基準幅以上であれば取得する。	人工湖、自然湖、貯水池、池、養魚場、貯水が認められる(機能している)ダム湖。河川区域とは、堤防敷(川裏の法尻)までを含める。 河川区域内の「田」「その他の農用地」「森林」「荒地」「建物用地」「その他の用地」「ゴルフ場」は河川地及び湖沼に含める。	河川区域内のダム堤体、堰堤。 河川区域の明瞭なかれ川。	河川区域内の道路用地→「道路」。 河川区域内の鉄道用地→「鉄道」。 幅 25m 未満の河川→周囲の土地利用に含める。 貯水が認められないダム湖(建設中などの理由で機能していないダム用地)→「空地」。 河川区域の明瞭ではないかれ川→「荒地」。
140	海浜	海岸に接する砂、れきの区域。			海岸に接する岩・岩がけ・露岩地→「荒地」。
150	海水域	海面及び隠顕岩、干潟、シーパースを含む区域。			海水域内の道路用地→「道路」。 海水域内の鉄道用地→「鉄道」。
160	ゴルフ場	ゴルフ場のゴルフコースが集まっている部分。フェアウェイ及びラフの外側と森林の境目を境界とする。	まだゴルフ場のように見える閉鎖されたゴルフ場。	ショートコースゴルフ場。	ゴルフ練習場、パターゴルフ場、ミニゴルフ場→「施設等用地」。 河川区域内のゴルフ場→「河川地及び湖沼」。 ゴルフ場用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。

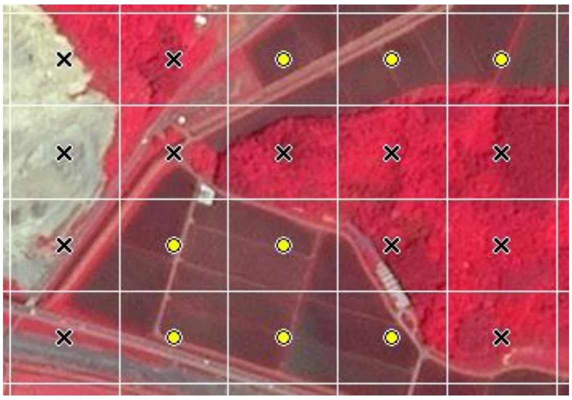
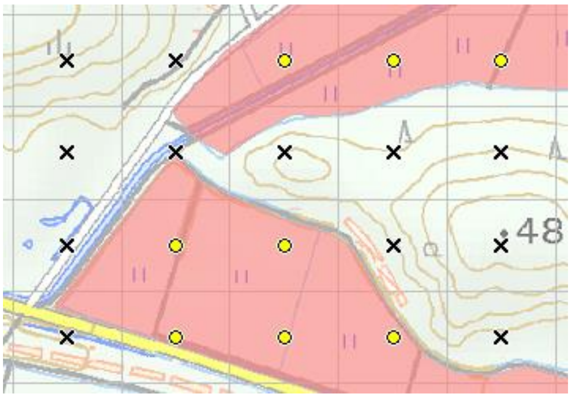
表 1-1-2　土地利用項目定義（細分項目）

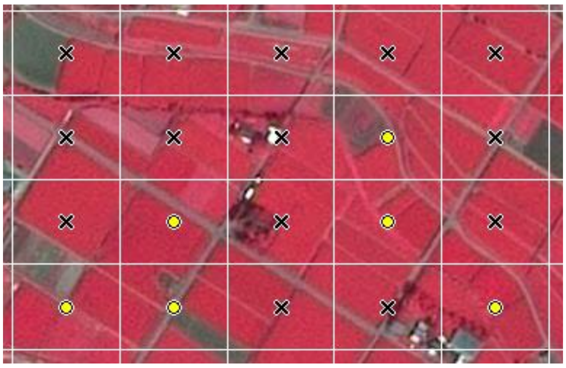
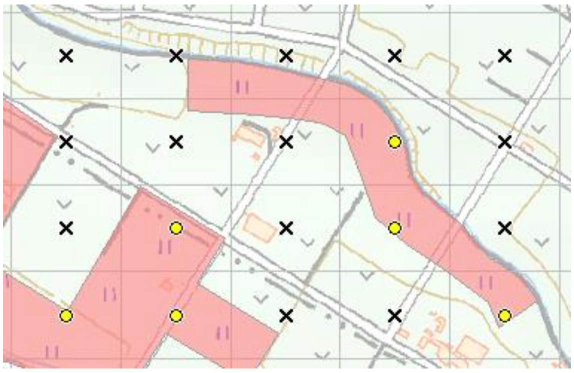
作業コード	項目	定義	適用 含むもの	適用 例外的に含むもの	適用 含まないもの
建物用地					
71	中高層建物	3 階建て以上の商業・業務ビル、マンションなどの建物。	中高層建物及びその敷地。主に駅前の中心市街地に位置し、高度な土地利用が行われている土地。		河川区域内の中高層建物→「河川地及び湖沼」。 中高層建物敷地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
72	工場	工業用途に用いられる建物。	工業用途に用いられる建物及びその敷地。 工業団地、工場、工業、物流センター、加工センター、木材センター、工作所、作業所、○○工（所）、製○○（所）、○○材、その他○○金属、○○自動車、○○建設、○○鉱砕、○○鉄鋼などの名称がつくもの。	工場敷地内の中高層建物。	河川区域内の工場→「河川地及び湖沼」。 工場敷地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
73	低層建物（非密集地）	3 階建て未満の居住用建物。	個々の家屋が互いに区別できる程度の密度で、建物が概ね 10m以上離れて3階建て未満の建物が分布している地域。市街地周辺の住宅地、郊外の分譲住宅地、農山村部の集落。	地形図図式"樹木に囲まれた居住地"は判読点付近に建物骨格データも併せて存在する場合、「低層建物（非密集地）」の敷地の一部として取得することができる。	河川区域内の低層建物（非密集地）→「河川地及び湖沼」。 低層建物（非密集地）用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
74	低層建物（密集地）	3 階建て未満の居住地建物が密集した地域。	個々の建物が隣接しており、庭、屋敷林、道路などの占める割合が少なく、個々の区別がつきにくい3階建て未満の建物が概ね 10m以下で隣接している地域。		河川区域内の低層建物（密集地）→「河川地及び湖沼」。
その他の用地					
101	施設等用地	グラウンドやスポーツ施設などの用地。	公共的な施設及び運動・娯楽施設。学校のグラウンド、文化施設、空港、港湾用地（船の停泊地、漁港、マリーナ、防波堤、防潮堤、コンテナ置き場）、競技場、競馬場、遊園地、動物園、ゴルフ練習場、パターゴルフ場、ミニゴルフ場、ゲートボール場、テニスコート、スキー場、発電所、浄水場、下水処理施設（終末処理場、浄化センター等）、中間貯蔵施設、タンク、墓地、自衛隊・米軍基地の敷地及び敷地内や演習場の 1ha 以上の空地（駐車場を含む）。	プール、浄水場の濾過池や下水処理施設の沈殿池などの人工物。 競走馬用牧場内の練習場。	河川区域内の施設等用地→「河川地及び湖沼」。 牧場（牧草地・放牧場を含む）→「その他の農用地」。 施設等用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
102	空地	造成地や埋立地に存在する空地や更地、広場、オープンスペースなどの用地。	宅地造成中、埋立中などの改変工事中の土地。埋立地や造成地のように区画で区切られた都市的な利用域。青空駐車場、資材置き場。貯水が認められないダム湖（建設中などの理由で機能していないダム用地）、工事中の道路、建設中の鉄道や廃線になった鉄道敷地など。		河川区域内の空地→「河川地及び湖沼」。 公園用地内の裸地や更地、広場、オープンスペースなどの用地→「公園」。 自衛隊・米軍基地の敷地内や演習場の 1ha 以上の空地（駐車場を含む）→「施設等用地」。
103	公園・緑地	都市域に整備された公園と、都市近郊の緑地など。土地被覆としては草地や森林から構成されるが、都市に近く、人工的な池や歩道を持ち、区画で境されているなどの特徴がある。	都市内の公園、都市近郊の森林公園など公園や緑地。 森林公園や海浜公園等の自然公園は敷地境界が判断できるもの。 公園用地内の裸地や更地、広場、オープンスペースなどの用地。		中央分離帯、歩道などの道路用地内の緑地→「道路」。 河川区域内の公園・緑地→「河川地及び湖沼」。 公園用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。 国立公園、国定公園→周囲の土地利用に含める。

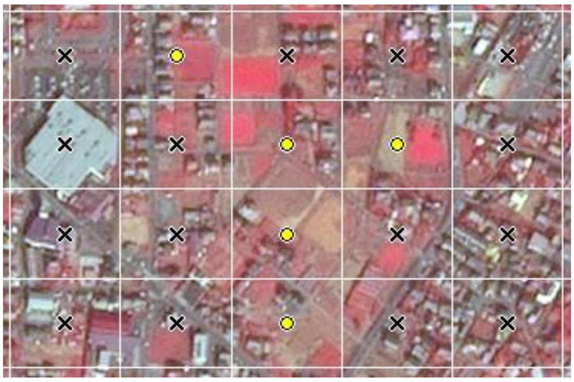
2. 判読カード

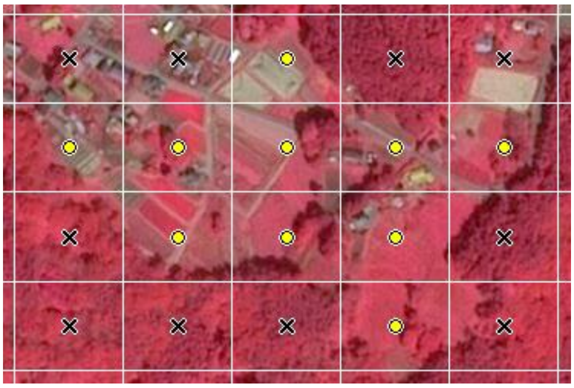
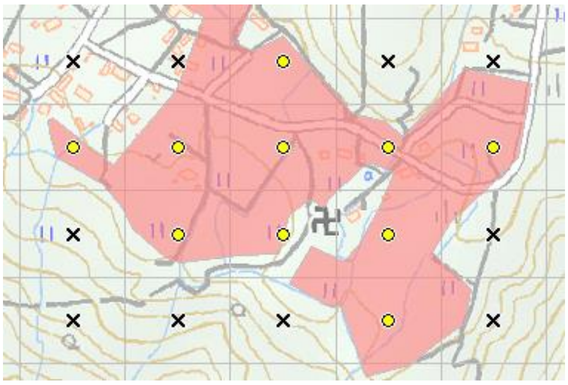
2.1 10:田

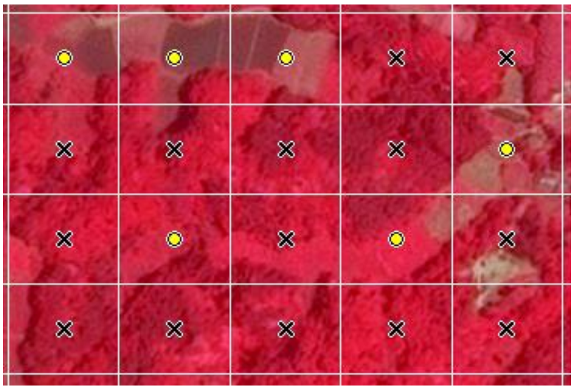
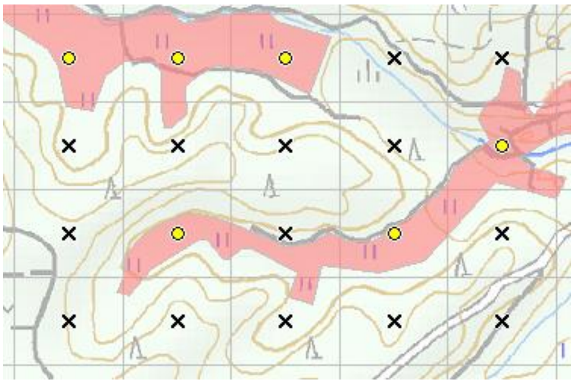
作業コード		10
項　目		田
参照骨格データ		なし
定　義		主に水稲を栽培するために区画された農用地。
適用	含むもの	湿田、乾田、沼田、蓮田、休耕田。
	例外的に含むもの	
	含まないもの	河川区域内の田→「河川地及び湖沼」。
判 読 基 準		田は、水を張った状態、水を抜いた状態、田植え時期(5～6 月)や収穫時期の前後(9～10 月)によって、状況が多様に変化する土地利用分類である。衛星画像では、これらの変化によって、色調も大きく変化することを考慮した判読が必要になる。水を張った状態では濃く暗い色のため、明瞭な判読ができる場合が多い。ただし、田植え期では明るい赤色、収穫前には濃い赤色、収穫後は明るい青みがかった色となり、撮影時期によっては、その他の農用地や荒地、森林と同様な色調になり比較が難しいことがあるため、電子地形図の植生界や植生記号を参考に判読を行う。田としての機能が維持されているが、休耕地や畑として利用している土地は田に分類する。

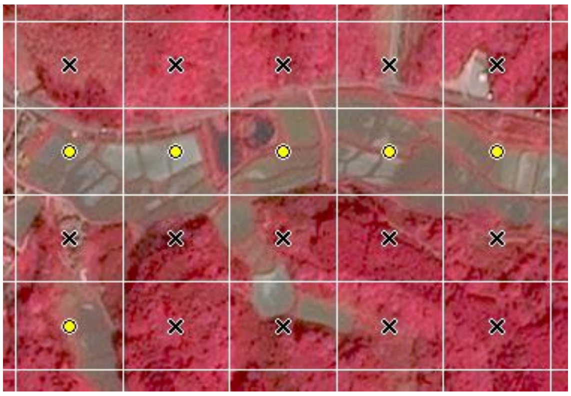
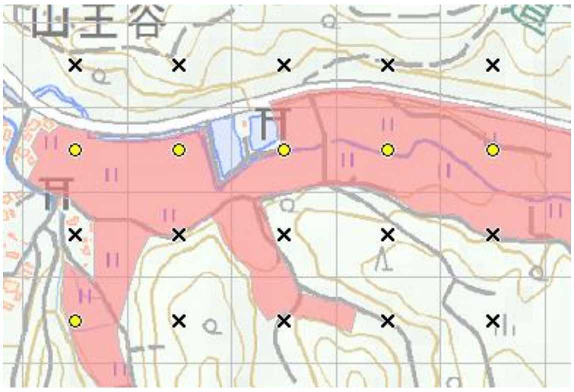
判読事例 10-01	田植え時期の水を張った状態の事例。周辺の土地利用との色調が区別でき、範囲が把握しやすい。		
細分メッシュ番号	5741523955	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

判読事例 10-02	出穂・開花期や収穫時期の事例。植生の活性度が高いことにより、衛星画像（フォールスカラー）では赤色が強調され濃く映るため、周辺の畑や樹木、草地との判別がつきにくい。また、衛星画像では草木の高さを判読することは非常に難しいので、電子地形図を参考に範囲を確認する。		
細分メッシュ番号	4930269360	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 10-03	収穫後の事例。地面の色調が映し出され、周辺の建物敷地との判別が難しくなるため、電子地形図を参考に範囲を確認する。		
細分メッシュ番号	5237062222	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

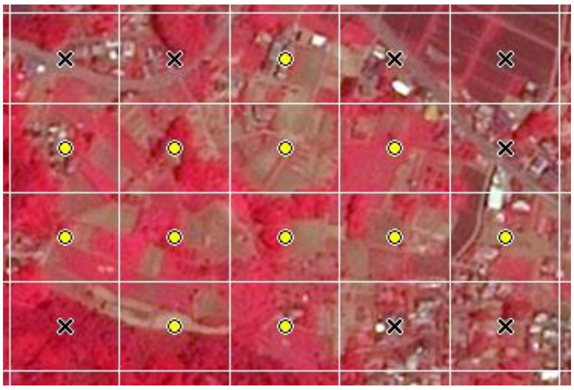
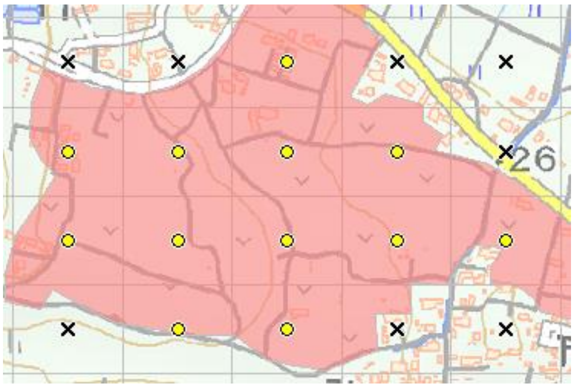
判読事例 10-04	山間部の事例。撮影時期によっては周囲の森林と近似色になり判読が難しいため、電子地形図を参考に範囲を確認する。		
細分メッシュ番号	5338625183	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

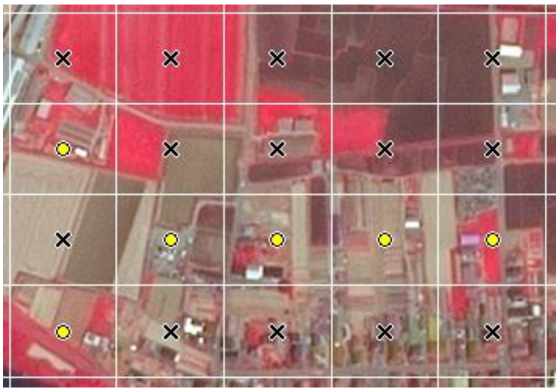
判読事例 10-05	山間部の狭長な形状の事例。森林に囲まれた細長い形状の田の場合、範囲が不明瞭なことが多いため、電子地形図を参考に範囲を確認する。		
細分メッシュ番号	5340102738	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

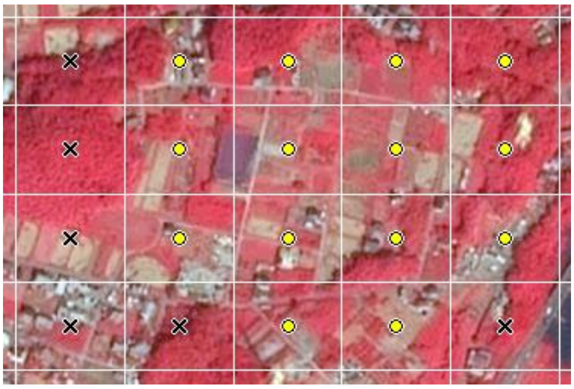
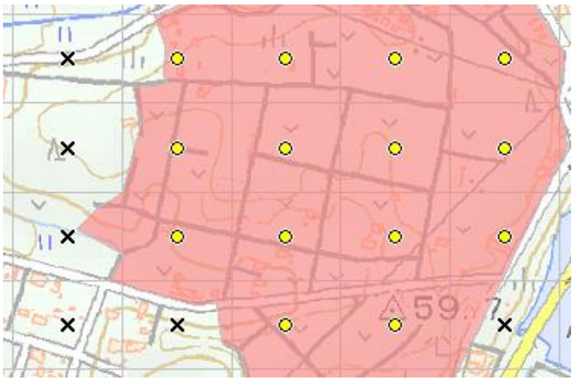
判読事例 10-06	田植え時期の水を張った状態の事例。山間部でも判読しやすい。		
細分メッシュ番号	5339073888	撮影時期	2017 年 4 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

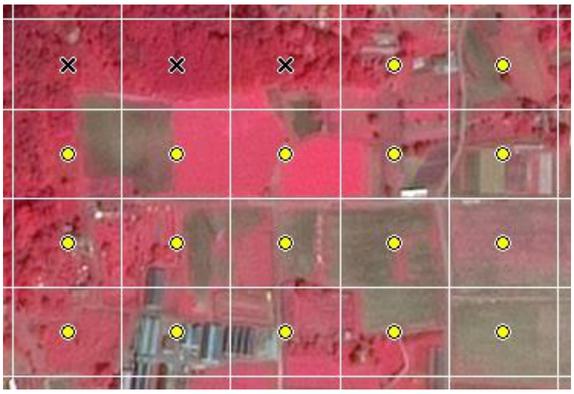
2.2　20:その他の農用地

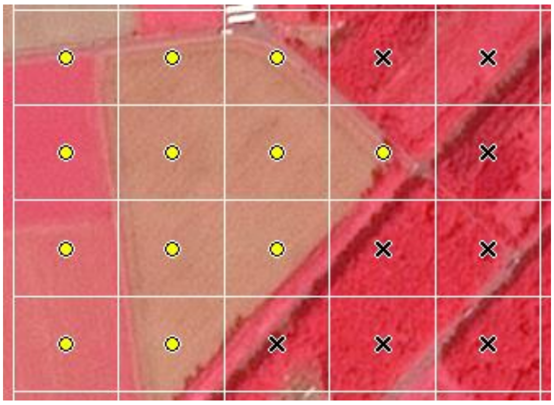
作業コード		20
項　目		その他の農用地
参照骨格データ		なし
定　義		田以外のすべての農用地。
適用	含むもの	野菜を栽培する畑、果実を栽培する果樹園、桑畑、茶畑、牧草地、草地、芝地、麦、陸稲、桐、はぜ、こうぞ、しゅろなどを栽培する土地、樹木畑、牧場（牧草地・放牧場を含む）。
	例外的に含むもの	温室やビニールハウス、畜舎などの農業用の建物。
	含まないもの	河川区域内のその他の農用地→「河川地及び湖沼」。
判 読 基 準		その他の農用地は、作物の状況によって衛星画像の色調変化が大きい土地利用分類といえる。畝は浅く区画は不明瞭なことが多い。丈が低い作物は明るい赤色、作物の収穫後は明るい青みがかった色、比較的に樹高が高い果樹園は森林と同様に濃い赤色に映る。ビニールハウスや温室、畜舎、牧草地、放牧場を含み「その他の農用地」として判読を行う。電子地形図では、畑や牧場は植生界と特定地区界や植生記号、ビニールハウスや温室は無壁舎建物や建物に類似の構築物を参考に判断する。 田としての機能が維持されていれば、畑として利用されていても田に分類する。

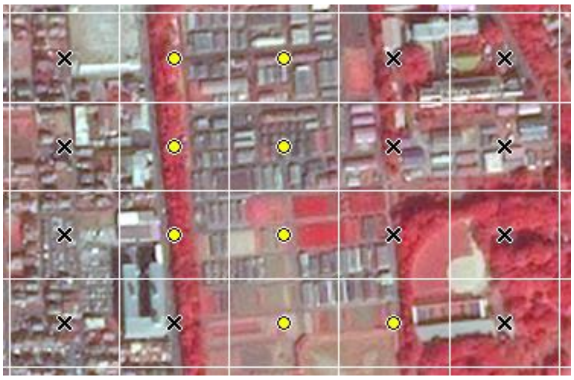
判読事例 20-01	作付け時期の畑の事例。青みがかった色（土）と明るい赤色（植生）が混在している。赤色の明瞭なところは作付け後の状態と考えられる。		
細分メッシュ番号	5340101864	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
		 	

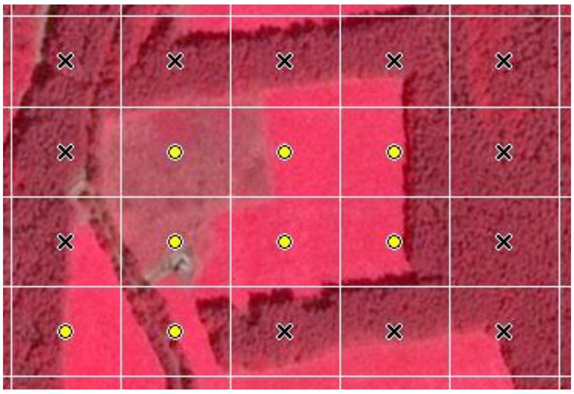
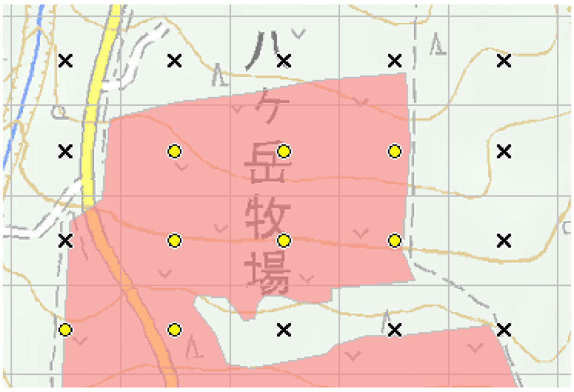
判読事例 20-02	植生の活性が高い時期の田と畑は判別がつきにくく、場所によっては森林や荒地との判別も困難になることが多い。また、衛星画像では草木の高さを判読することは非常に難しいので、電子地形図を参考に範囲を確認する。		
細分メッシュ番号	5741529231	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
		 赤色：その他の農用地　緑色：田	

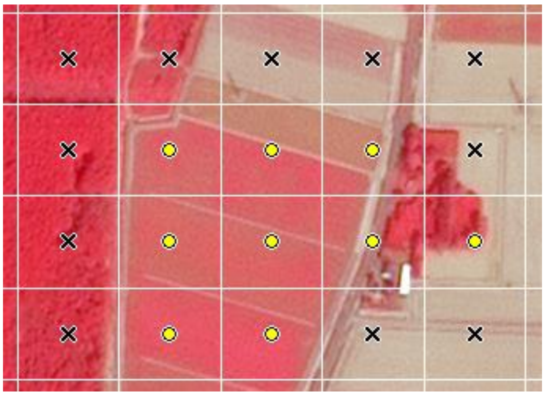
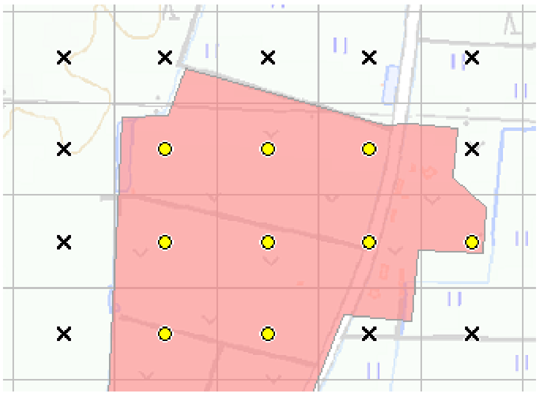
判読事例 20-03	収穫時期で青みがかった色（土）と明るい赤色（植生）が混在した事例。作付け状況により衛星画像での映り方は一律でない。敷地が不明瞭なため電子地形図を参考に範囲を確認する。		
細分メッシュ番号	5237502634	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

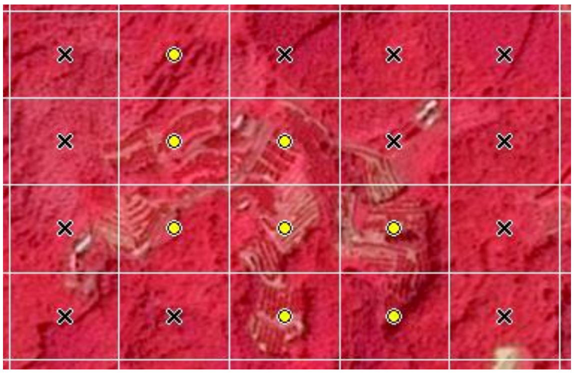
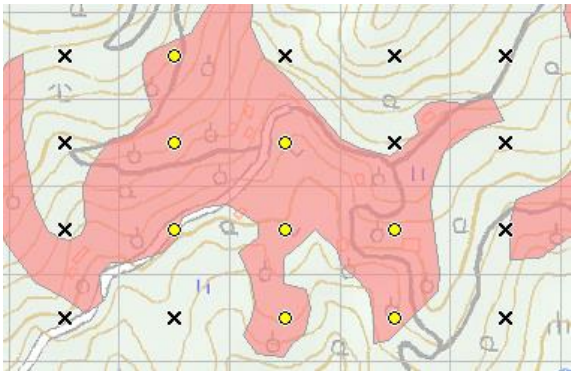
判読事例 20-04	青みがかった色が広がっている事例。衛星画像では赤色が少ないことから収穫前後の状態と考えられる。		
細分メッシュ番号	5338620329	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

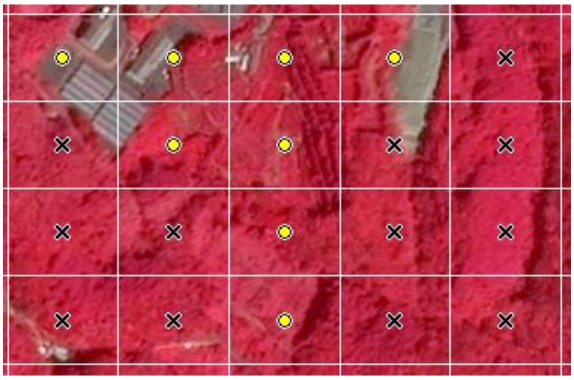
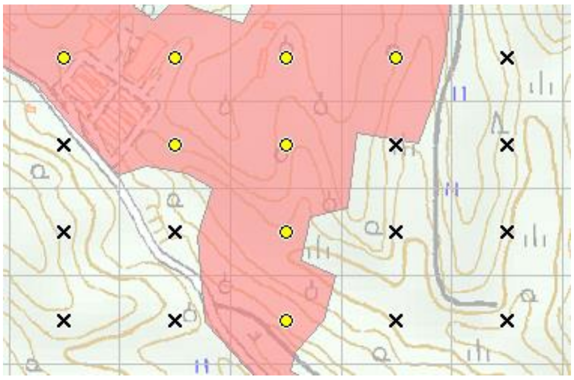
判読事例 20-05	衛星画像の色調から、収穫後と考えられる区画が明瞭な事例。		
細分メッシュ番号	6441066012	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

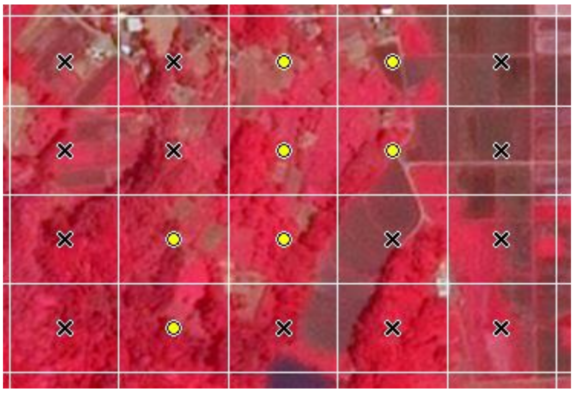
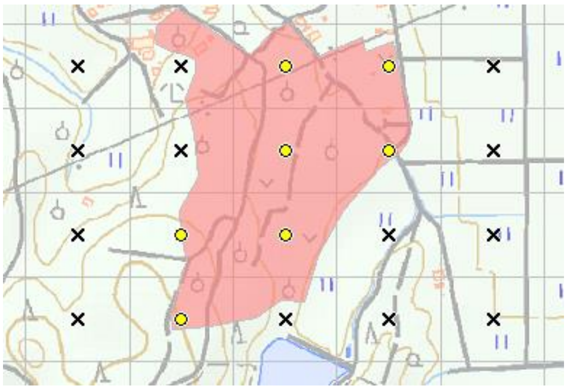
判読事例 20-06	畜舎やビニールハウスを判読する事例。電子地形図では無壁舎表示を参考に判読する。		
細分メッシュ番号	5237067745	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

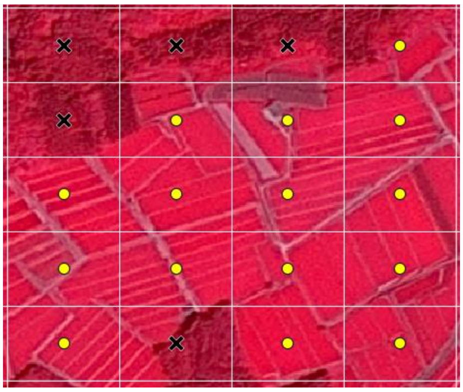
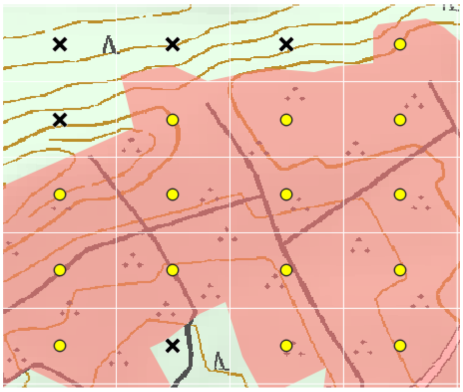
判読事例 20-07	明るい赤色に映る牧草地の事例。低草地や荒地でも同様な色調に映ることが多く、周囲との境界が不明瞭なため地形図を参考に範囲を確認する。		
細分メッシュ番号	5338627821	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 20-08	電子地形図の区画によらずとも、農用地とその他の草木の境界を判別することが可能である。その場合、衛星画像から確認できる境界を優先する。		
細分メッシュ番号	6441060668	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 20-09	果樹園の事例。周囲が森林の場合、衛星画像では区別が困難なため、電子地形図を参考に範囲を確認する。		
細分メッシュ番号	4932348894	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

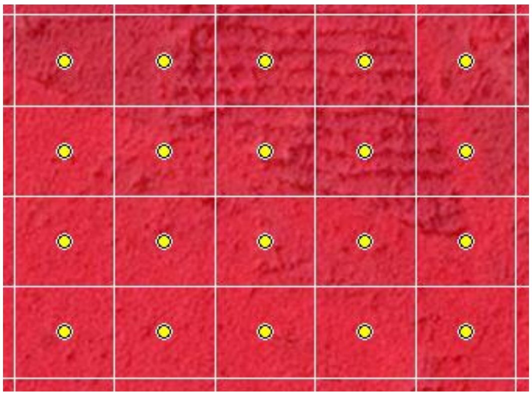
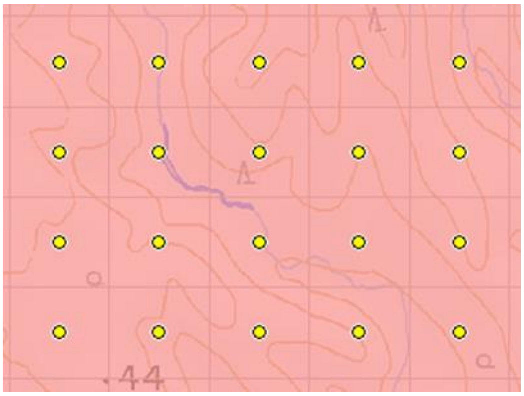
判読事例 20-10	森林に囲まれた果樹園の事例。森林と果樹園の境を判別できない事例。		
細分メッシュ番号	4932345847	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

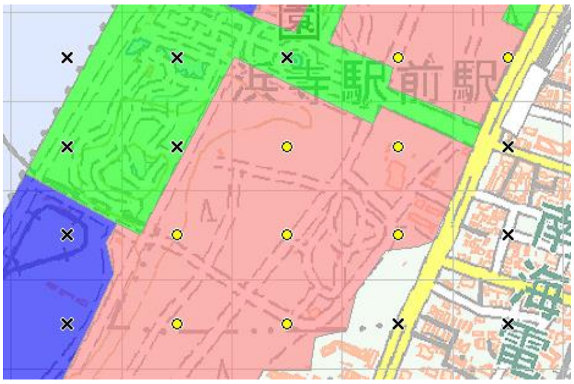
判読事例 20-11	田や畑、森林と混在している果樹園の事例。地形図の記号と矛盾が無ければ前時期の判断を生かす。		
細分メッシュ番号	5340106803	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

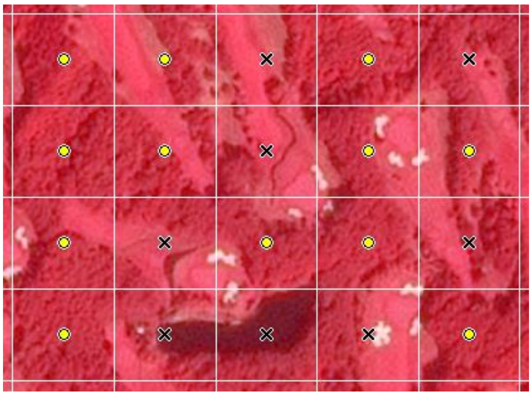
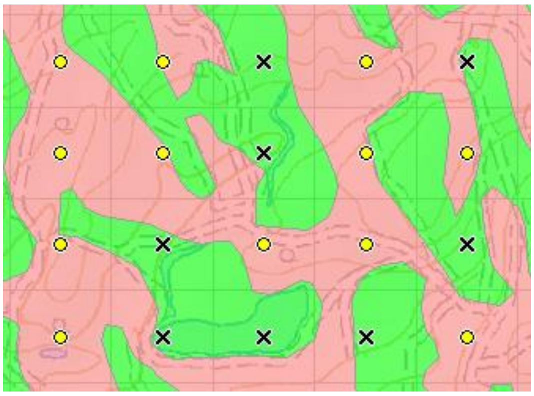
判読事例 20-12	茶畑の事例。フラットに見え、整列した様子があり、赤色の発色が強い傾向がある。		
細分メッシュ番号	4630744016	撮影時期	2020 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

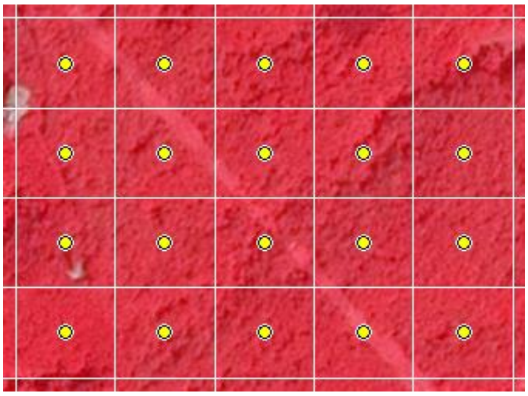
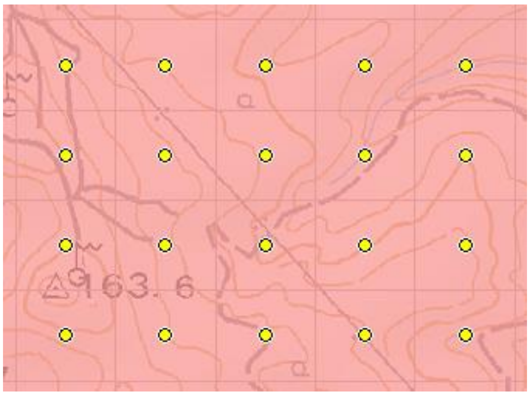
2.3 50:森林

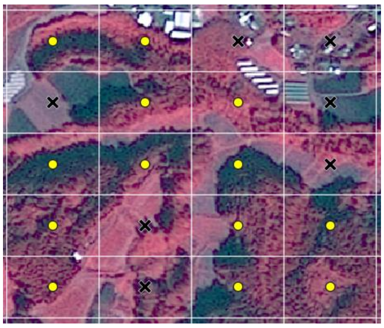
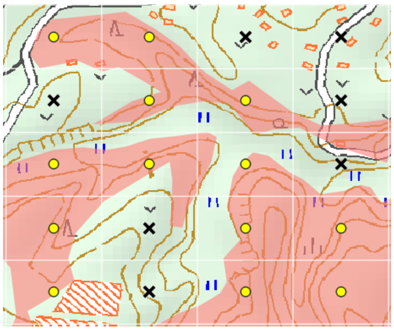
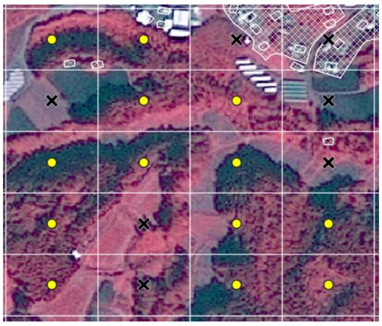
作業コード		50
項　目		森林
参照骨格データ		なし
定　義		樹高 2m以上の多年生の植物がまとまって分布する地域。
適用	含むもの	広葉樹、針葉樹、竹林、やし科樹林、はい松林など。樹高 2m未満の植林地や天然更新した伐採跡地。
	例外的に含むもの	
	含まないもの	河川区域内の森林→「河川地及び湖沼」。
判 読 基 準		森林は、季節や気候、地域性により色調が変化することが多い。夏季は明るい赤色や濃い赤色、冬季の落葉樹林では明るい青みがかった色に映る。樹冠の小さい針葉樹林はきめが細かく濃い赤色、樹冠の大きい広葉樹林は明るい赤色に映る。ただし、衛星画像の画質によって色調に揺れがあることに注意する。 自然林のほか、公園や敷地内に植樹された人工林も含む。

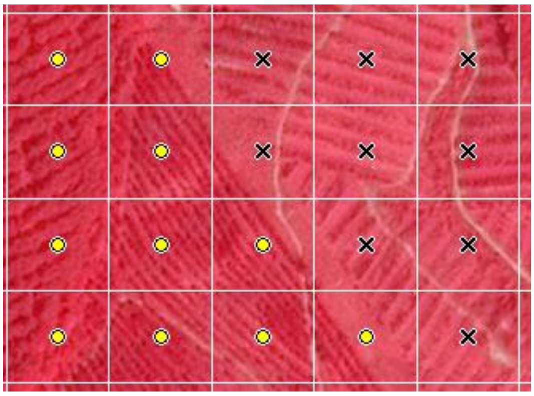
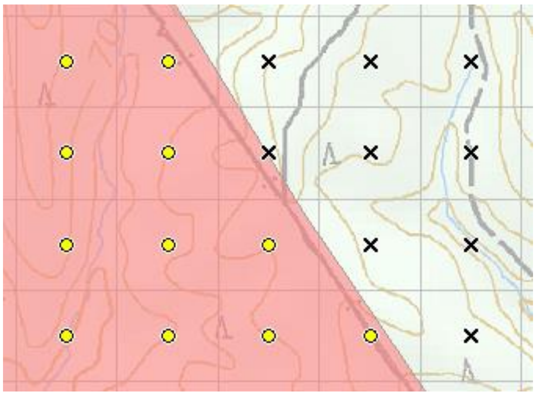
判読事例 50-01	山間部の広範囲に見られる事例。		
細分メッシュ番号	6441065772	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

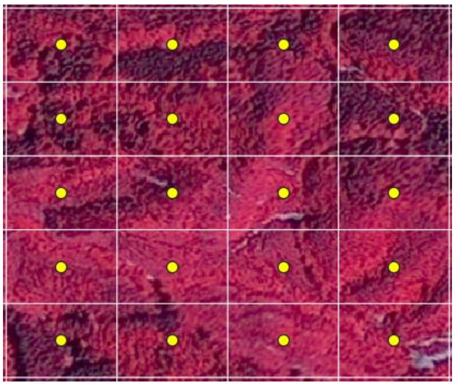
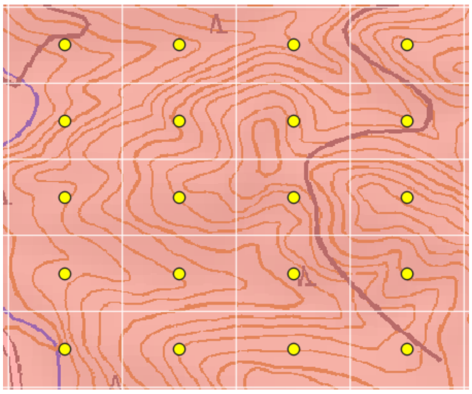
判読事例 50-02	公園敷地内に森林用地が含まれる事例。公園敷地内に樹林や競技場、池等が存在するなら、それぞれの分類に区分する。		
細分メッシュ番号	5135634592	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
		 赤色:森林　青色:施設等用地　緑色:公園・緑地	

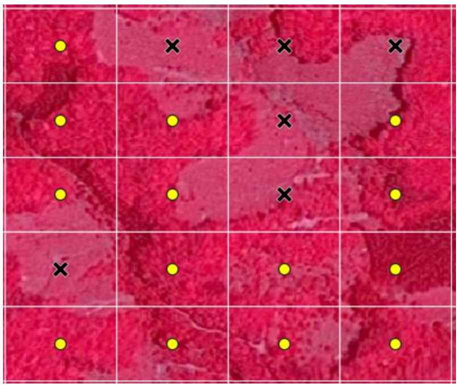
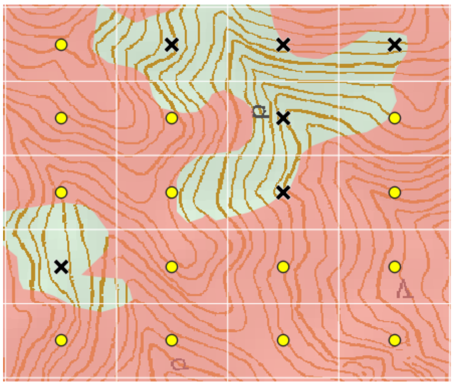
判読事例 50-03	ゴルフ場敷地内に森林用地が含まれる事例。ゴルフ場敷地内に樹林や池、建物、駐車場等が存在するなら、それぞれの分類に区分する。		
細分メッシュ番号	6441068518	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
		 赤色：森林　　緑色：ゴルフ場	

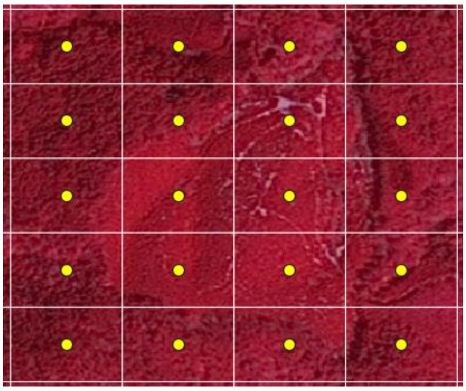
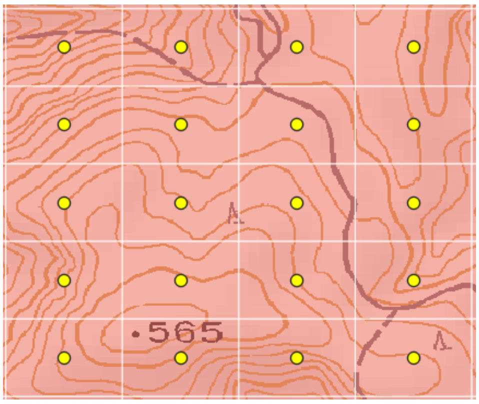
判読事例 50-04	山間部の送電線（下）の判読について 送電線（下）の判読は、荒地ではなく森林として統一する。		
細分メッシュ番号	6441069662	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 50-05	判読点下が森林の影（黒緑色）となっており、衛星画像からの判読が困難な箇所であるが、影の中でさらに段差（森林と平地の境界）が確認できる場所は、衛星画像を基に森林を判読する。		
細分メッシュ番号	4730471716	撮影時期	2020 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

判読事例 50-06	植林地の事例。樹木が帯状に植えられている。植林して間もない樹木は粒状に見えることがある。植林が確認できない伐採跡地は荒地に分類する。		
細分メッシュ番号	6441066789	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

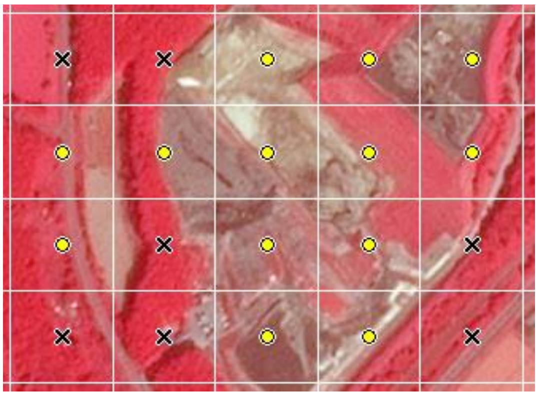
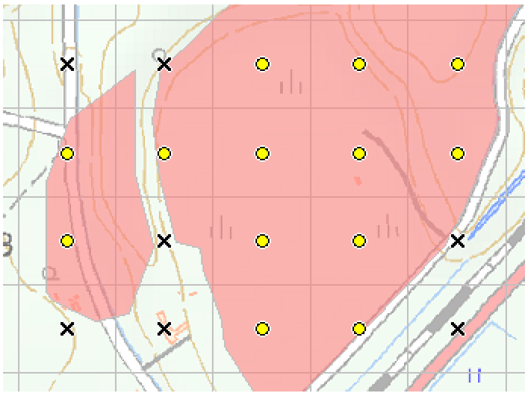
判読事例 50-07	前時期:荒地から森林となった判読事例。		
細分メッシュ番号	4930476791	撮影時期	2020 年 11 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

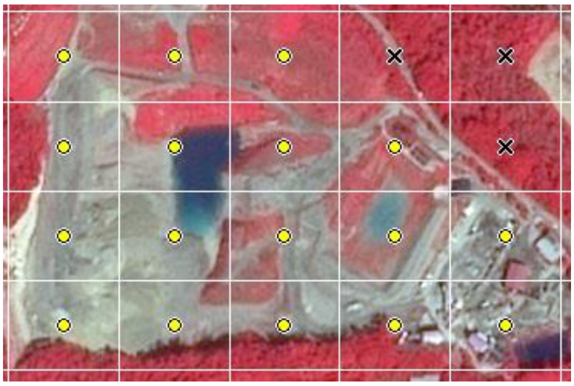
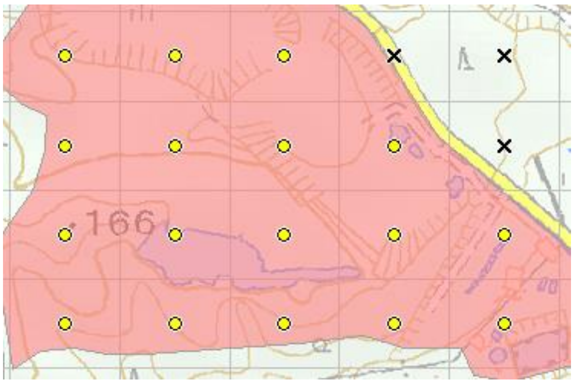
判読事例 50-08	森林と荒地の混在部分の判読事例。		
細分メッシュ番号	4931462503	撮影時期	2021 年 1 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

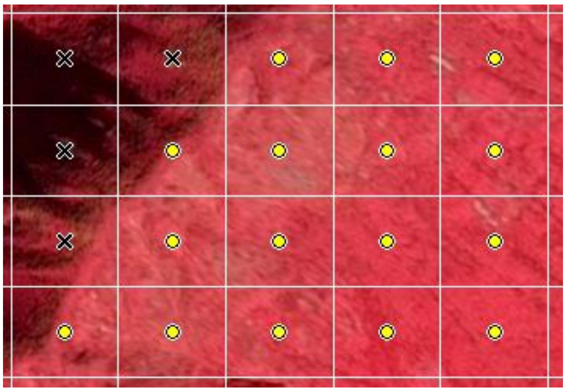
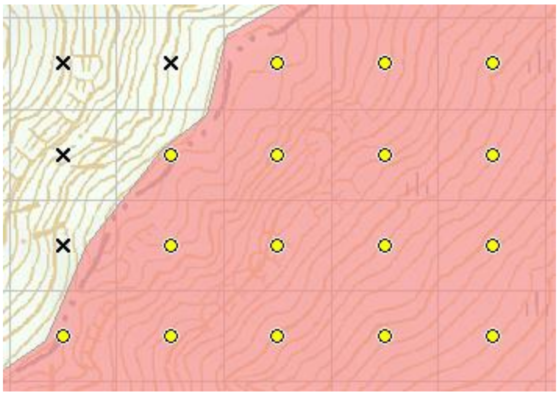
<table>
<tr><td>判読事例 50-09</td><td colspan="3">作業道が隠れてきている様子や、樹冠の凹凸の様子から、伐採跡地～植林地と判断し、森林とする事例</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5235459559</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 5 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

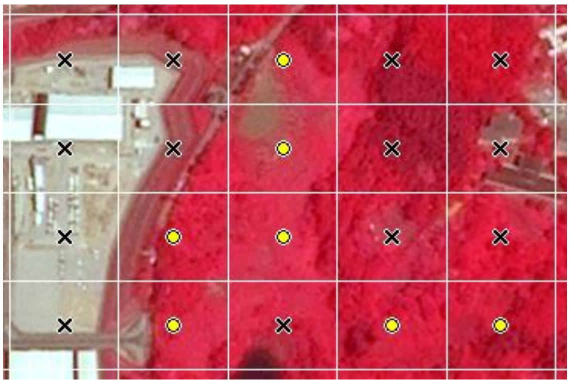
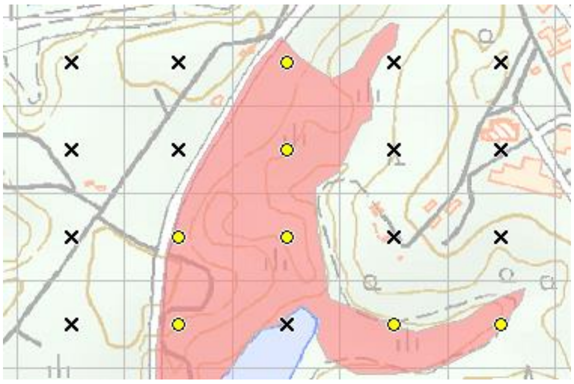
2.4　60:荒地

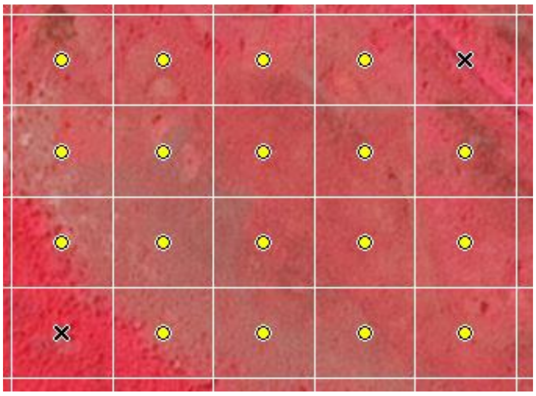
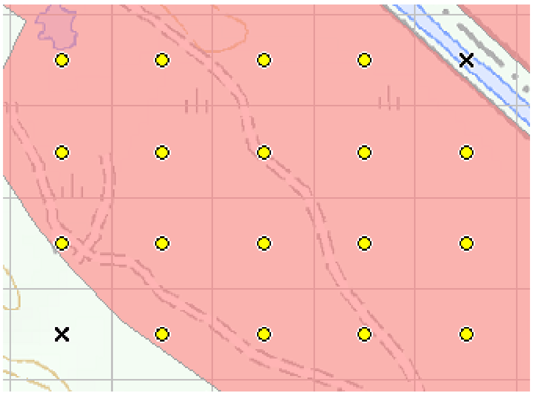
<table>
<tr><td colspan="2">作業コード</td><td>60</td></tr>
<tr><td colspan="2">項　目</td><td>荒地</td></tr>
<tr><td colspan="2">参照骨格データ</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">定　義</td><td>そのままでは利活用が困難で転用できない土地。恒常的に変わらない土地被覆と解釈できる場所。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">適用</td><td>含むもの</td><td>しの地、荒れ地、がけ、岩、万年雪、湿地、採鉱地、法面など。採石場、採砂場、最終処分場。海岸に接する岩・岩がけ・露岩地、かれ川、上流河川部における砂礫地。植林や天然更新が確認することができない伐採跡地。</td></tr>
<tr><td>例外的に含むもの</td><td>火砕流・土石流の被害地は現状の土地被覆状況を優先し「荒地」とする。</td></tr>
<tr><td>含まないもの</td><td>河川区域内の荒地→「河川地及び湖沼」。</td></tr>
<tr><td colspan="2">判 読 基 準</td><td>荒地は、自然発生した草地や崖、人工的な採石場や砂取場が含まれる。草地や崖は茶褐色や明るい赤色、人工的な土地では白色や青みがかった色に映る。季節により草地でも濃い赤色に映ることがあるため森林との区別が困難な場合がある。また、造成地（その他の用地/空地）との区別が難しいため電子地形図を参考に判断する。</td></tr>
</table>

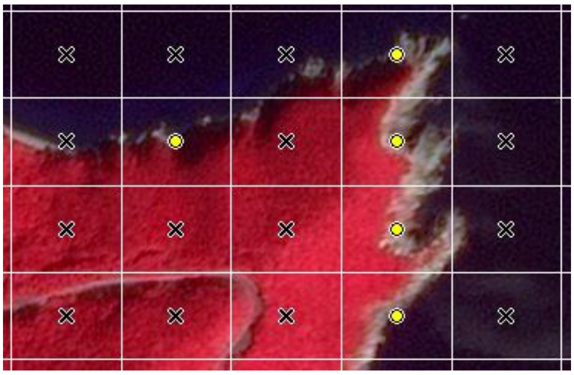
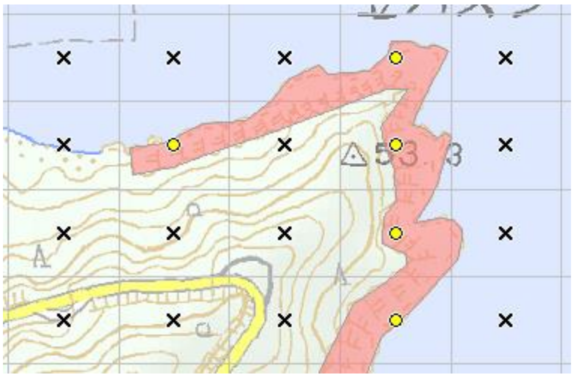
<table>
<tr><td>判読事例 60-01</td><td colspan="3">砂取場の事例。採石場や採土場等は、造成地と間違いやすいので電子地形図の注記や景況から判断する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>6441069370</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 9 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

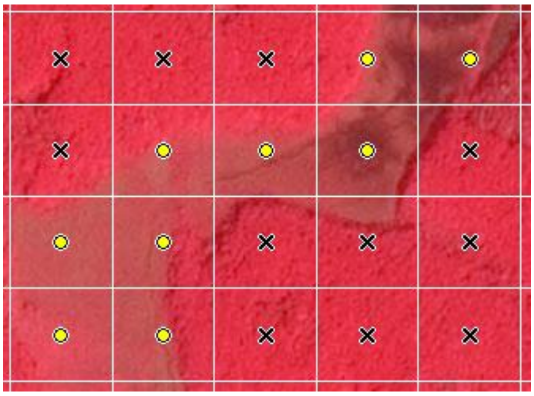
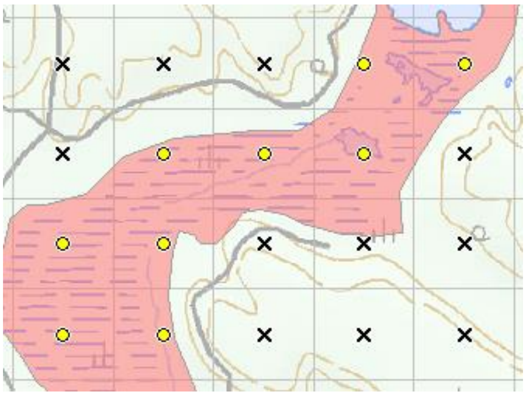
<table>
<tr><td>判読事例 60-02</td><td colspan="3">採土場の事例。土がけの記号や等高線の凹地記号で表現されている。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5237507890</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

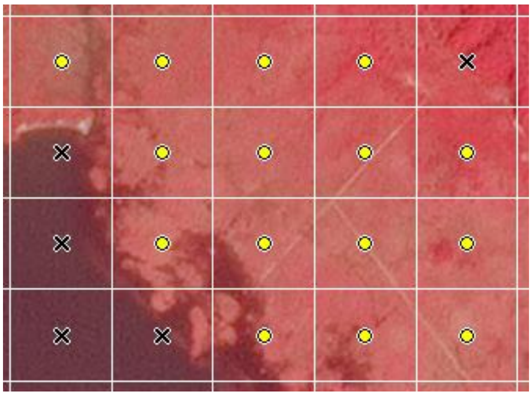
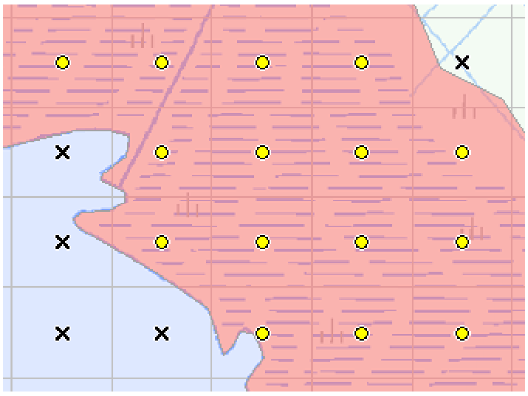
判読事例 60-03	山間部の事例。衛星画像では低草地は明るい赤色、地面の土は茶褐色や青みがかった色に映る。電子地形図では、荒地記号や土がけ・岩がけ記号を参考に判断する。		
細分メッシュ番号	5739673991	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

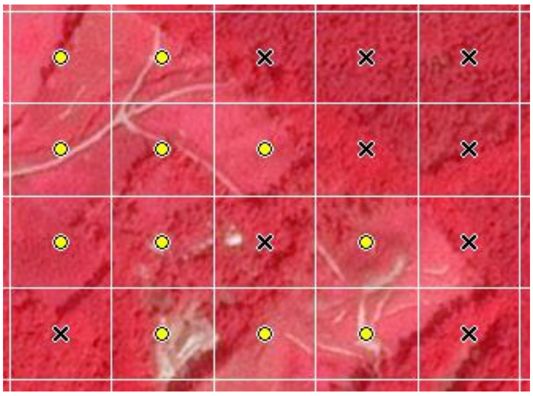
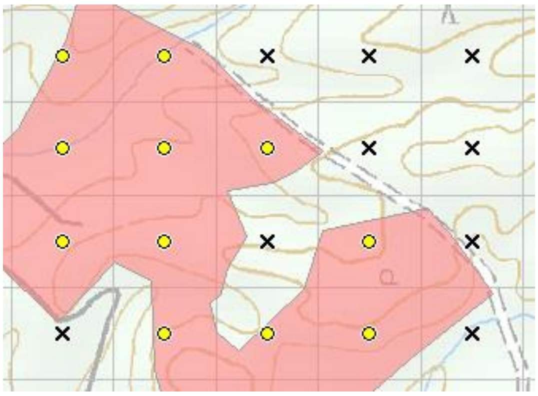
判読事例 60-04	植生の活性が高い時期の草地の事例。低草地は明るい赤色、地面の土は茶褐色に映る。森林と判別がつきにくい場合には電子地形図の荒地記号で判断する。		
細分メッシュ番号	5340103257	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

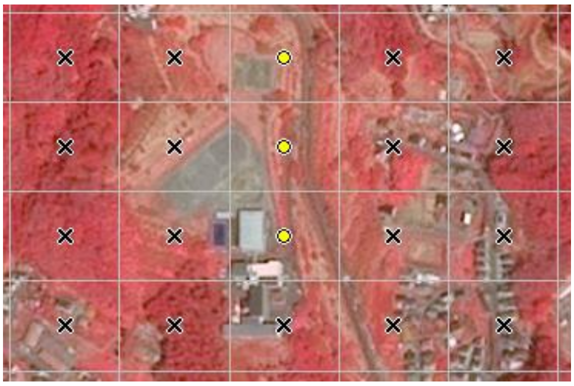
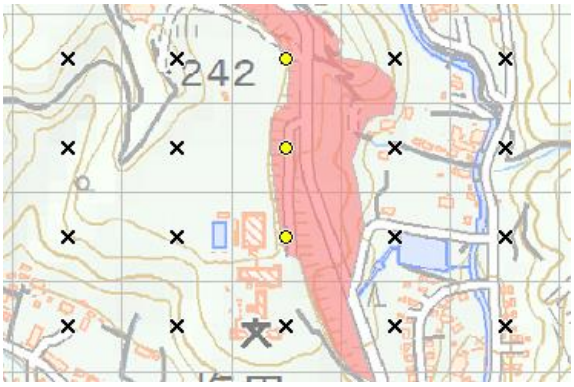
判読事例 60-05	植生の活性が低い時期の草地の事例。春や夏の時期と比べて、低草地は淡い赤色に映る。		
細分メッシュ番号	6441065173	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

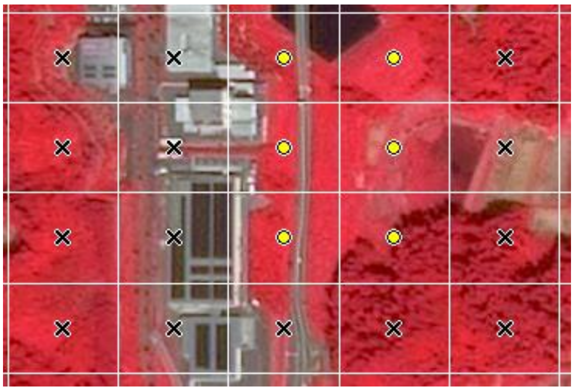
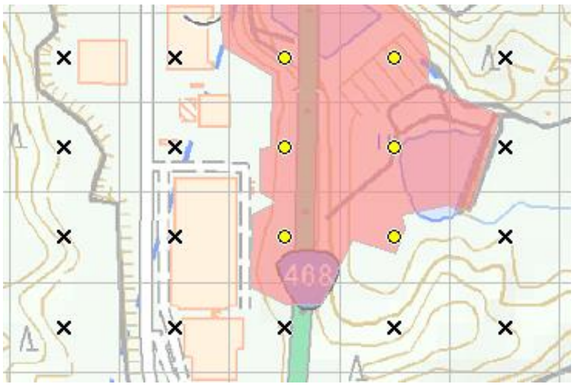
判読事例 60-06	海岸線沿いの露岩と岩がけの事例。電子地形図には水涯線（青色）ではなく露岩記号（褐色）の表示がある。ここは露岩記号と岩がけ記号で表現されている。		
細分メッシュ番号	4932340221	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

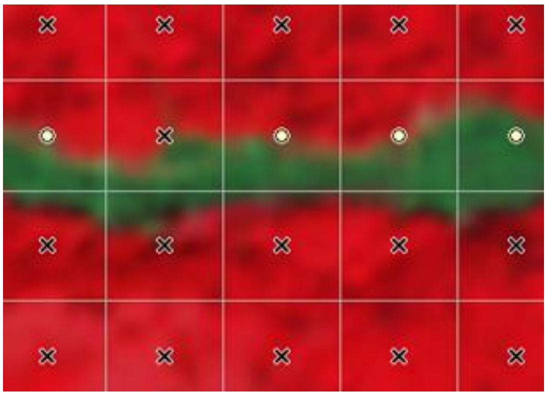
判読事例 60-07	湿地の事例。電子地形図の湿地記号を参考に判読を行う。		
細分メッシュ番号	6441061271	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

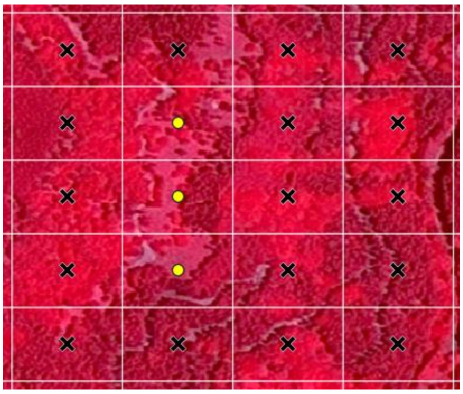
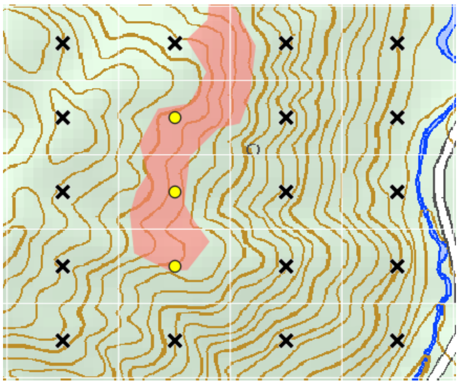
判読事例 60-08	湿地の事例。電子地形図の湿地記号を参考に判読を行う。水涯線との境界が不明瞭の場合には、電子地形図により判断する。		
細分メッシュ番号	6341768100	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

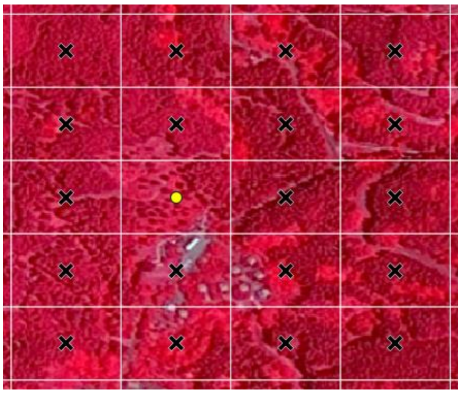
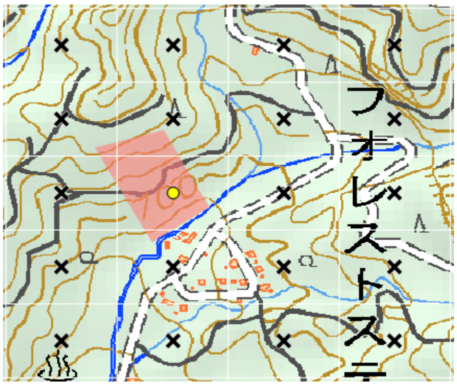
判読事例 60-09	伐採地の事例。電子地形図にある幅員 3.0m未満の道路以外に作業用の道路がみえる。		
細分メッシュ番号	6441067518	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

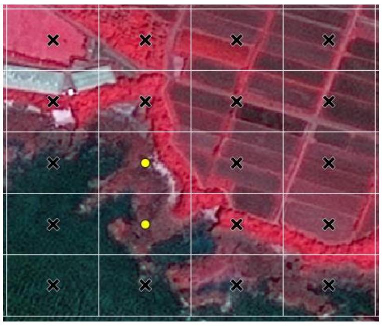
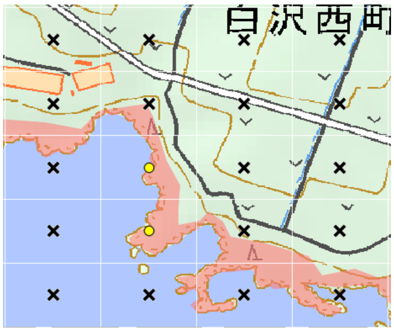
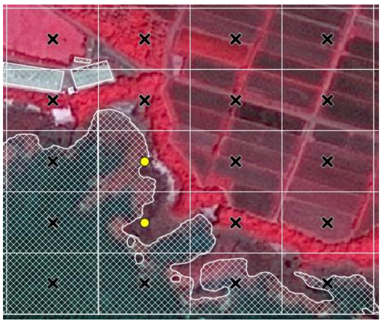
判読事例 60-10	不採用の道路沿いにある法面保護の事例。樹木がないエリアを取得する。 電子地形図に土がけ記号の表示がある。		
細分メッシュ番号	5339429055	撮影時期	2017 年 4 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

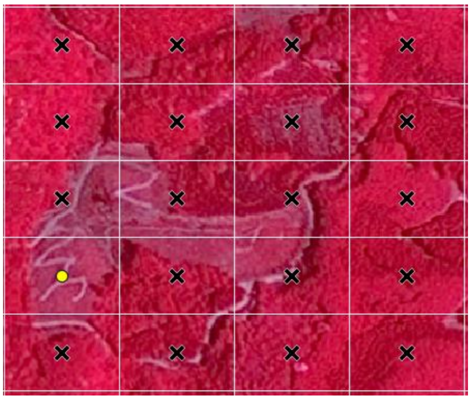
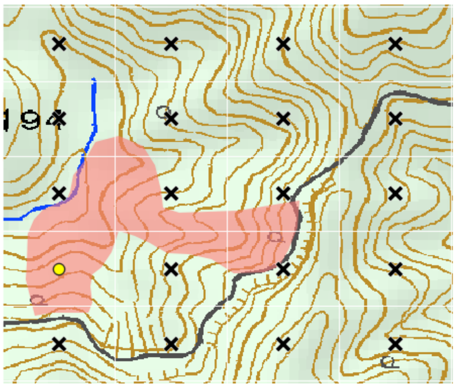
判読事例 60-11	不採用の道路沿いにある広範囲な法面保護の事例。電子地形図に法面の形状が等高線で表現されている。包含される道路はエリアに含めて取得する。		
細分メッシュ番号	5340227533	撮影時期	2017 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 60-12	かれ川の事例。河川敷が砂礫地になっている例。電子地形図にかれ川記号の表示があり、衛星画像で樹木がない砂礫地のエリアを判読する。		
細分メッシュ番号	不明（北海道内）	撮影時期	不明
衛星オルソ画像（RapidEye6.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 60-13	荒れ地の事例。木々が疎らな範囲で 1ha 以上確認できる。		
細分メッシュ番号	5234549530	撮影時期	2020 年 6 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

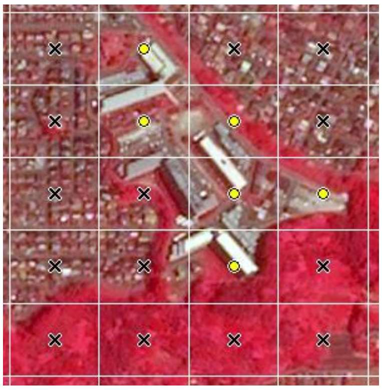
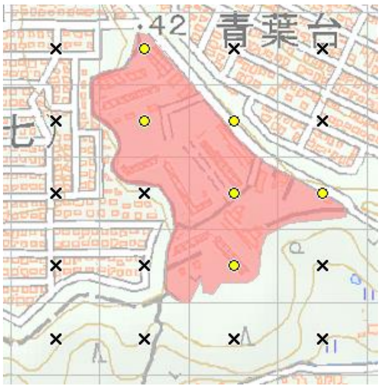
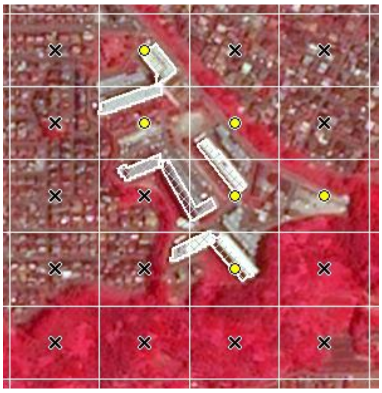
判読事例 60-14	荒れ地の事例。木々が疎らな範囲で 1ha 以上確認できる。		
細分メッシュ番号	5234641525	撮影時期	2020 年 6 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

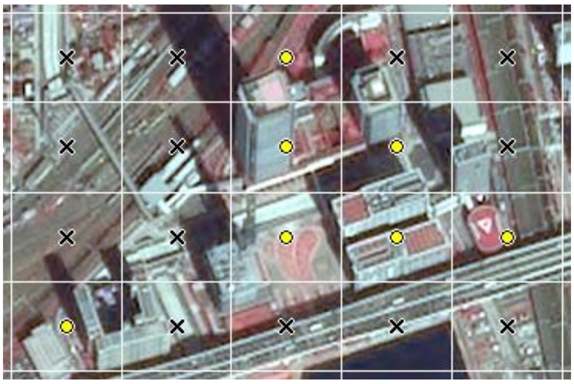
<table>
<tr><td>判読事例 60-15</td><td colspan="3">地形図で表示されている海岸線は常時陸地であり、衛星画像からも岩礁部と判断できる。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>4630720810</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 5 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

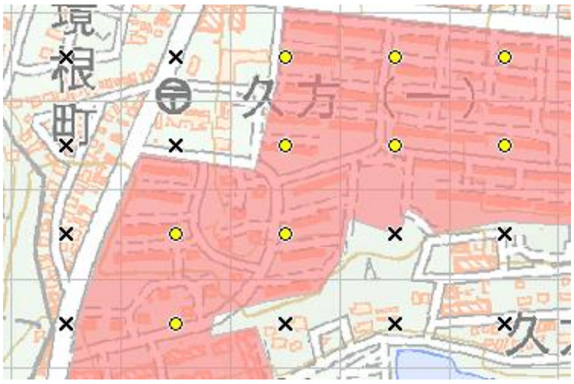
<table>
<tr><td>判読事例 60-16</td><td colspan="3">荒地と森林の境界部分の判読事例。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>4931163192</td><td>撮影時期</td><td>2021 年 1 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

2.5　71:中高層建物

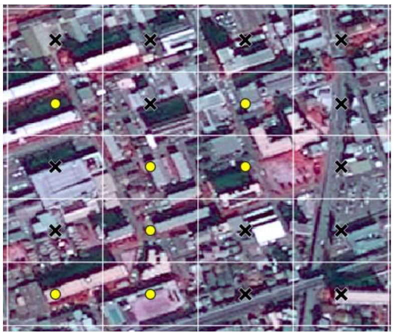
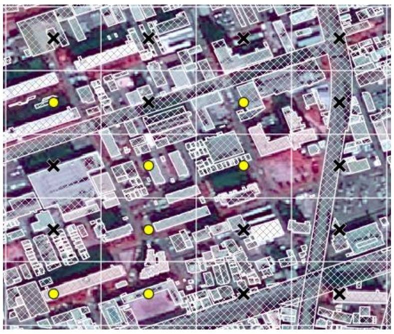
<table>
<tr><td colspan="2">作業コード</td><td>71</td></tr>
<tr><td colspan="2">項　目</td><td>中高層建物</td></tr>
<tr><td colspan="2">参照骨格データ</td><td>中高層建物骨格データ(bld71)</td></tr>
<tr><td colspan="2">定　義</td><td>3 階建て以上の商業・業務ビル、マンションなどの建物。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">適用</td><td>含むもの</td><td>中高層建物及びその敷地。主に駅前の中心市街地に位置し、高度な土地利用が行われている土地。</td></tr>
<tr><td>例外的に含むもの</td><td></td></tr>
<tr><td>含まないもの</td><td>河川区域内の中高層建物→「河川地及び湖沼」
中高層建物敷地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">判 読 基 準</td><td>中高層建物は、マンションや団地では建物の間隔が広く、規則的に並んでいることが多い。市街地では小規模なものが多い。個々の建物のみでなく敷地も含め建物用地の判読を行う。衛星画像の色調は均一でなく屋根の材質によって、暗く映るものや、太陽光の反射により白色が強く映るものがある。
電子地形図の都市地域では 2500 レベルで建物を整備していることもあり、変化部を除き、中高層建物骨格データを参考に判読可能になった。また、電子地形図の整備方法により、階層区分が容易に判別できるようになったことに伴い、前時期の土地利用データで低層建物(非密集地/密集地)と判読していたものを中高層建物に変更するケースがある。以前の地形図(数値地図)では、建物の大きさが一定基準を満たさないと中高層建物として表現しなかったが、その基準がなくなったため、都市地域では低層建物から中高層建物への変更が多くなることが見込まれる。</td></tr>
</table>

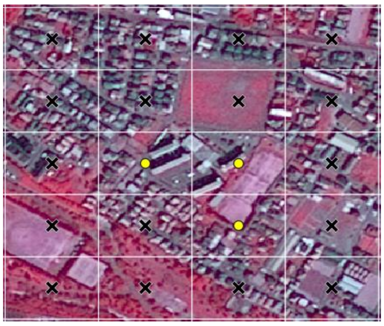
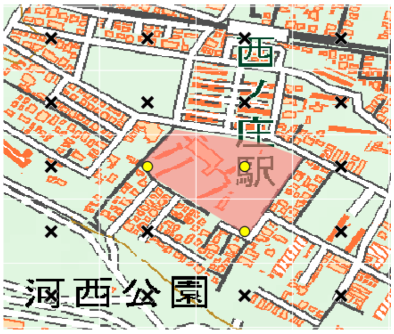
<table>
<tr><td>判読事例 71-01</td><td colspan="3">周囲の建物より規模が大きく、建物の間隔が広い事例。
骨格データを利用することで低層建物との違いが判別しやすい。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5340105483</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 5 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像(SPOT1.5m)</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td>
</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 71-02</td><td colspan="3">規模が大きい中高層建物の事例。建物敷地も含め中高層建物として判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5236579046</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 71-03</td><td colspan="3">住宅団地や高層マンションの事例。建物敷地も含め中高層建物として判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5236572871</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"> </td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 71-04</td><td colspan="3">大型の商業施設と思われる。屋上が駐車場であることが衛星画像から確認できるが、屋上の土地利用は考慮せず中高層建物として判読する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5237068180</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 11 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

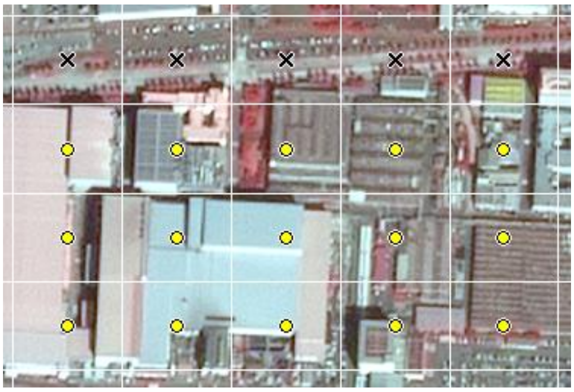
<table>
<tr><td>判読事例 71-05</td><td colspan="3">低層建物から中高層建物へ修正した事例。中高層建物の骨格データが無い時代の判読結果の名残と考えられる。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5235037854</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 10 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td>衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"> </td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 71-06</td><td colspan="3">地形図を参考に、建物敷地を含め中高層建物として判読している事例。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5135300838</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 11 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td>衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">
</td><td> </td></tr>
</table>

2.6 72:工場

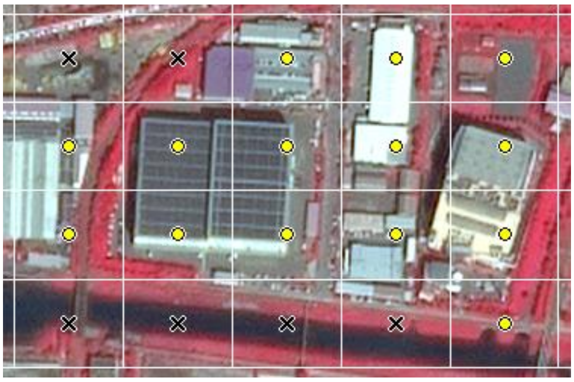
作業コード		72
項　目		工場
参照骨格データ		なし
定　義		工業用途に用いられる建物。
適用	含むもの	工業用途に用いられる建物及びその敷地。 工業団地、工場、工業、物流センター、加工センター、木材センター、工作所、作業所、〇〇工(所)、製〇〇(所)、〇〇材、その他〇〇金属、〇〇自動車、〇〇建設、〇〇鉱砕、〇〇鉄鋼などの名称がつくもの。
適用	例外的に含むもの	工場敷地内の中高層建物。
適用	含まないもの	河川区域内の工場→「河川地及び湖沼」。 工場敷地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
判 読 基 準		「工場」は、注記と工場記号を参考に判読を行っていたが、電子地形図の工場記号は採用されなくなったため、注記のみでの判断になる。注記表示は大規模な工場の場合が多く、それだけの判断では注記がある工場以外は、土地利用データから工場用地が消失していくことになる。これを避けるため経年変化の確認ができない場合は、工場用地のままにする。工場の取得方法には、大規模な建物や敷地を有するものと、小規模な建物で複数の工場が集まった範囲をひとまとまりに判読しているものがある。また、工場敷地内の中高層建物は、「中高層建物」項目でなく「工場」項目として分類し判読を行う。

判読事例 72-01	大規模な工場の事例。建物敷地も含め工場として判読を行う。建物敷地内に 1ha 以上の他の土地利用は存在する場合はそれぞれの項目に分類する。		
細分メッシュ番号	5236570145	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	

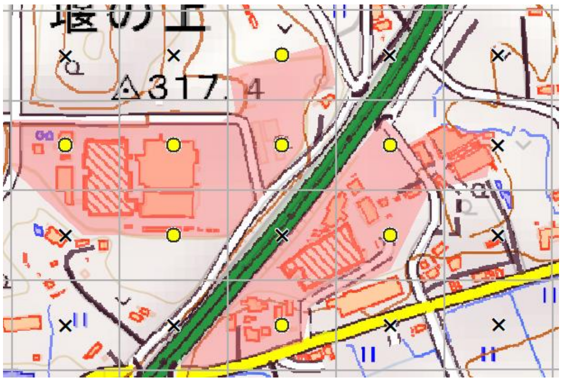


判読事例 72-02	工業団地の事例。工業団地内の工場群。建物敷地も含め工場として判読を行う。建物敷地内に 1ha 以上の他の土地利用は存在する場合はそれぞれの項目に分類する。		
細分メッシュ番号	5137769867	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	

判読事例 72-03	工業団地内の工場群の事例。建物敷地も含め工場として判読を行う。建物敷地内に 1ha 以上の他の土地利用は存在する場合はそれぞれの項目に分類する。また、工業用地内の中高層建物は個別に判読を行わない。		
細分メッシュ番号	5236570225	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	

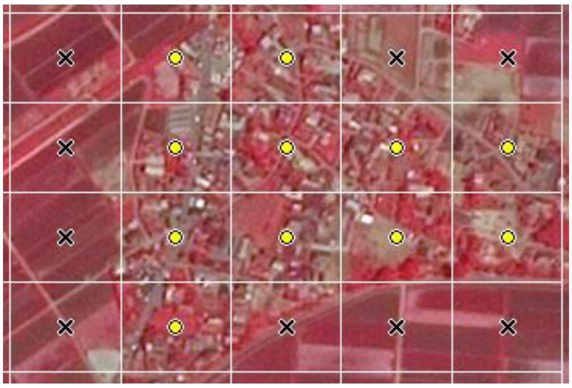
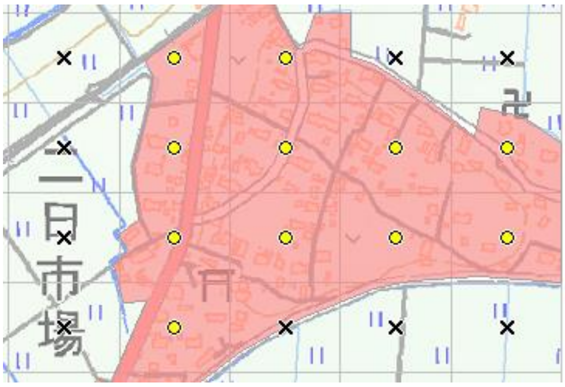


判読事例 72-04	電子地形図に注記のない工場団地の事例。オルソ画像から、経年変化の確認ができない場合は、工場用地のままにする。		
細分メッシュ番号	5540624433	撮影時期	
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	

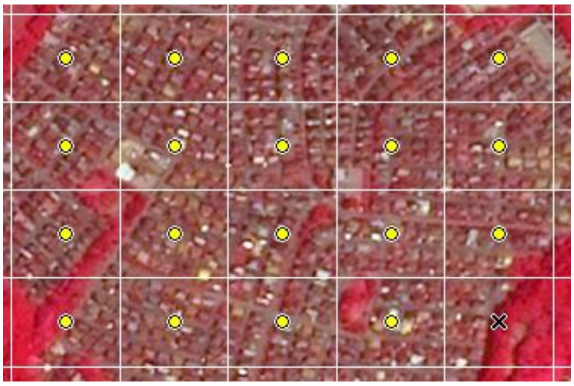


2.7 73:低層建物（非密集地）

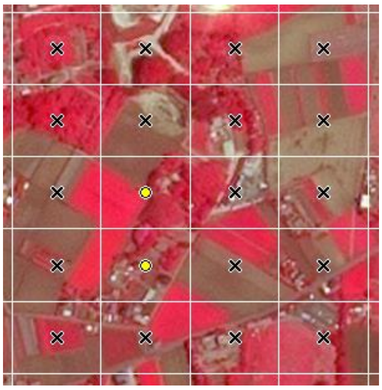
作業コード		73
項　目		低層建物(非密集地)
参照骨格データ		低層建物骨格データ(bld73)、樹木に囲まれた居住地骨格データ(bldw)
定　義		3 階建て未満の居住用建物。
適用	含むもの	個々の家屋が互いに区別できる程度の密度で、建物が概ね 10m以上離れて3階建て未満の建物が分布している地域。市街地周辺の住宅地、郊外の分譲住宅地、農山村部の集落。
	例外的に含むもの	地形図図式“樹木に囲まれた居住地”骨格データは判読点付近に建物骨格データも併せて存在する場合、「低層建物(非密集地)」の敷地の一部として取得することができる。
	含まないもの	河川区域内の低層建物(非密集地)→「河川地及び湖沼」。 低層建物(非密集地)用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
判 読 基 準		「低層建物(非密集地)」は、個々の建物のみでなく敷地も含め建物用地の判読を行う。衛星画像の色調は、屋根の材質によって異なり、特に太陽光の反射で白く目立つものは大きく見えることがあり、中高層建物と間違えないようにする。また、樹木に囲まれた居住地は、森林に覆われた様子に見えることが多いため、樹木に囲まれた居住地骨格データを参考にするとよい。また、電子地形図の整備方法により、衛星画像のみでは判読が困難であった中高層建物の判読が容易になったことに伴い、都市地域では、経年変化ではないが「中高層建物」へ変更するケースがあることを踏まえ、低層建物/中高層建物骨格データを参考に判読を行う。

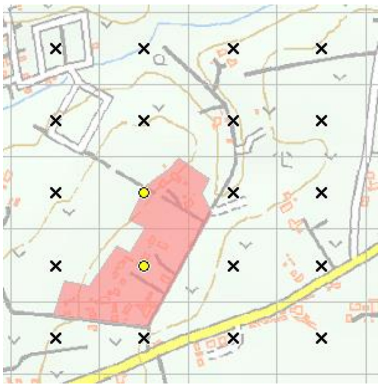
判読事例 73-01	田畑に囲まれた住宅地の事例。建物敷地も含め低層建物(非密集地)として判読を行う。		
細分メッシュ番号	5340103947	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

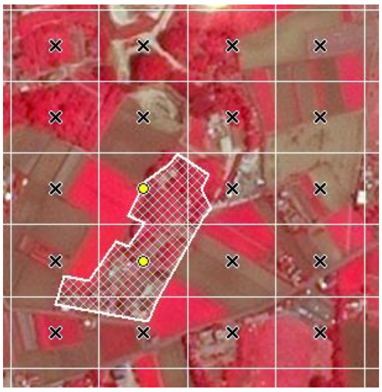
判読事例 73-02	郊外の住宅地の事例。建物敷地も含め低層建物（非密集地）として判読を行う。		
細分メッシュ番号	5340102397	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	



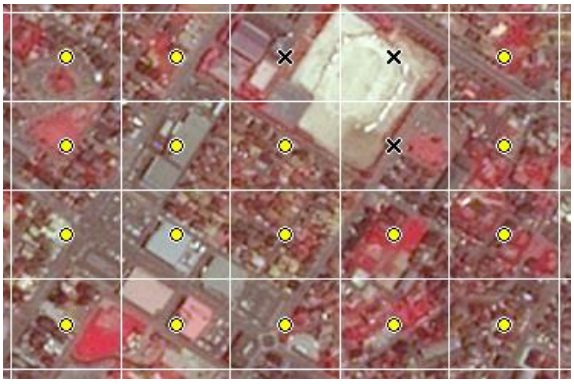
判読事例 73-03	樹木に囲まれた居住地骨格データがあり、判読点付近に建物骨格データも併せて存在する事例。この範囲は建物用地に区分する。		
細分メッシュ番号	5340100583	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	

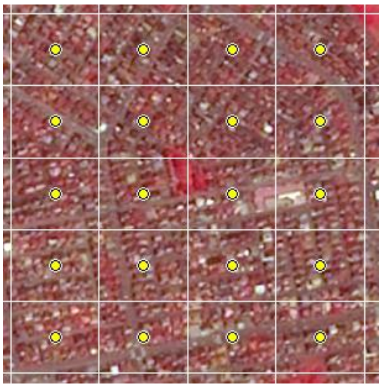


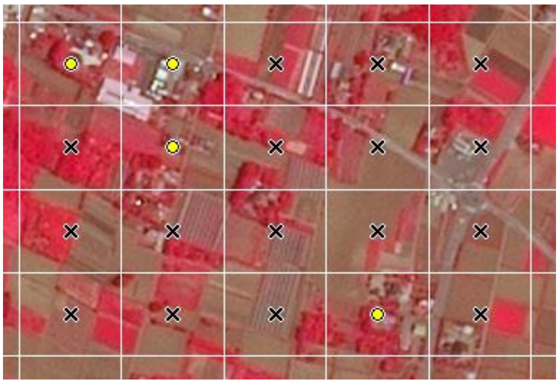
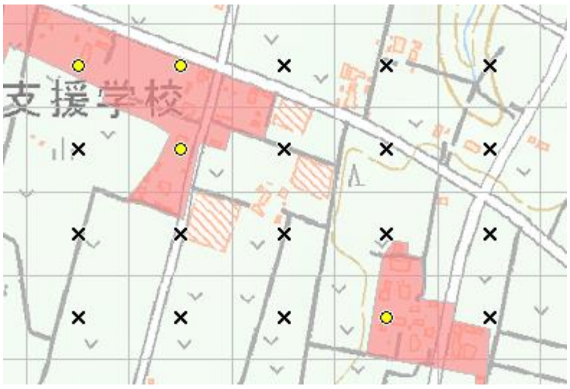


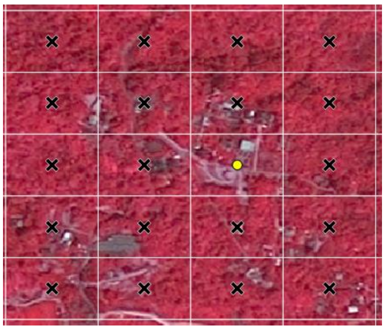
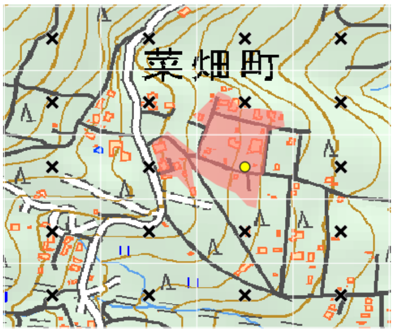
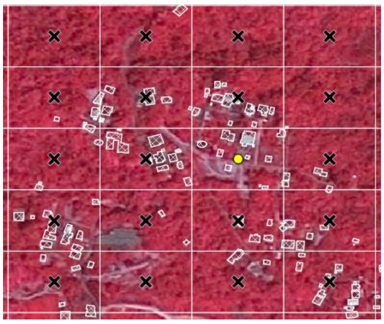


判読事例 73-04	「その他の用地/空地」から「建物用地/低層建物（非密集地）」に変化した事例。電子地形図では空地だが、衛星画像では住宅が建設されている。		
細分メッシュ番号	5340109437	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	



判読事例 73-05	都市部においては、「非密集地」と「密集地」の範囲を確定することが困難なケースがある。この場合、前時期データの判読結果を参考に「非密集地」と「密集地」の境界を大きく変更させずに、この範囲を保持した判読を行う。		
細分メッシュ番号	5340103872	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

判読事例 73-06	住宅が疎らにある事例。建物一つ一つを視認できるが、複数の建物敷地との連続性を考慮して、1ha 以上のかたまりとなるなら取得する。		
細分メッシュ番号	5340101222	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像		
			

判読事例 73-07	森林の中にある建物用地から 1ha 以上をとり、判読する事例。		
細分メッシュ番号	5235051503	撮影時期	2020 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

2.8 74:低層建物（密集地）

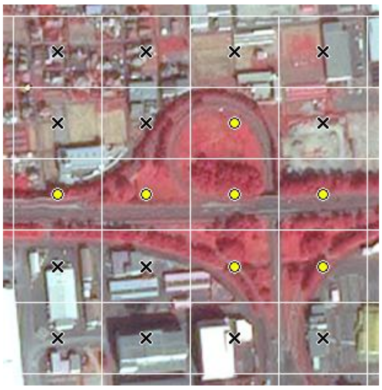
作業コード		74
項　目		低層建物（密集地）
参照骨格データ		低層建物骨格データ（bld73）
定　義		3 階建て未満の居住地建物が密集した地域。
適用	含むもの	個々の建物が隣接しており、庭、屋敷林、道路などの占める割合が少なく、個々の区別がつきにくい3階建て未満の建物が概ね 10m以下で隣接している地域。
適用	例外的に含むもの	
適用	含まないもの	河川区域内の低層建物（密集地）→「河川地及び湖沼」。
判 読 基 準		「低層建物（密集地）」は、個々の建物の判別ができないことが多く、建物間の空間が見られないような密度が高い建物用地を判読する。低層建物骨格データを参考に建物の密度を確認しながら判断する。また、電子地形図の整備方法により、衛星画像のみでは判読が困難であった建物の階層の判読が容易になったことに伴い、都市地域では、経年変化ではないが中高層建物へ変更するケースがあることを踏まえ、低層建物/中高層建物骨格データを参考に判読を行う。

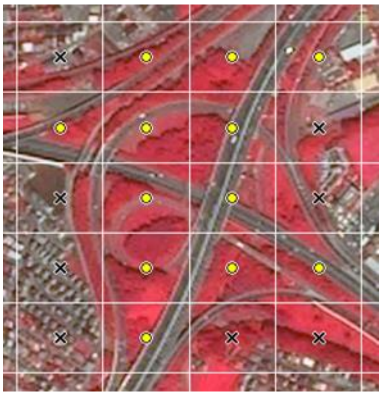
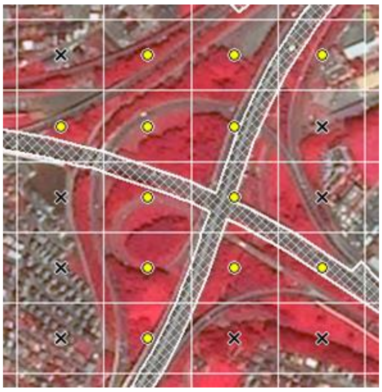
<table>
<tr><td>判読事例 74-01</td><td colspan="3">建物の密度が高く、個々の建物の判別が不鮮明な事例。密度が高い建物のエリアを判断し、取得範囲を確定する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5236578468</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td>衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td> </td><td colspan="2">
</td><td> </td></tr>
</table>

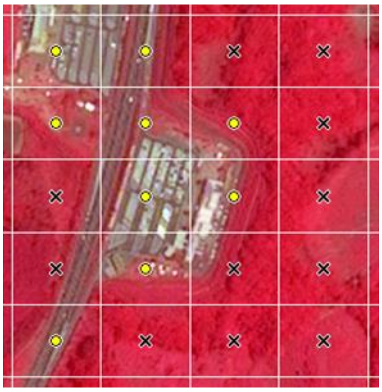
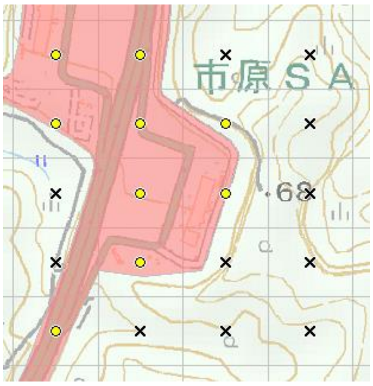
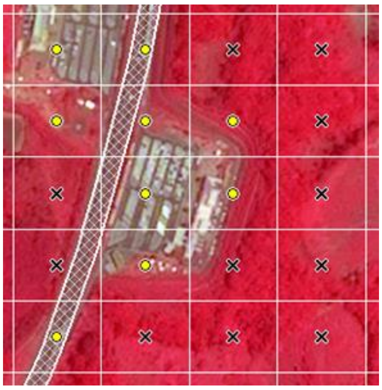
<table>
<tr><td>判読事例 74-02</td><td colspan="3">低層建物（密集地）は、再開発や区画整理などの明らかな経年変化がなければ、前時期データで判読されている「低層建物（密集地）」範囲の変更を加えず、取得されている範囲を保持した判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5135638782</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 11 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td>衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td> </td><td colspan="2">
</td><td> </td></tr>
</table>

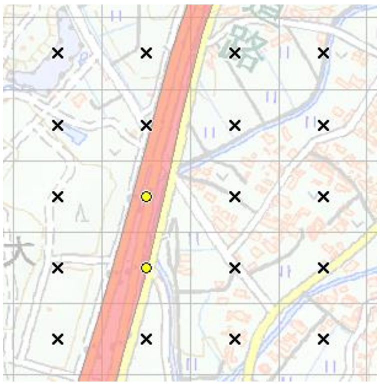
2.9　91:道路

作業コード		91
項　目		道路
参照骨格データ		道路骨格データ(road)
定　義		幅員 13m以上の幹線道路及び道路用地。「道路が成立するために必要な空間」「道路と一体で有効利用され得る空間」と解釈する。 最少取得面積の 1ha は考慮せず、メッシュ中心と重なる道路が前述の基準幅以上であれば取得する。
適用	含むもの	幅員 13m以上の幹線道路。道路沿いの大規模な切土方面、盛土、IC、SA の駐車場等の道路に付随する関連施設を含む道路用地。 河川区域内・海水域内の道路用地(主に橋梁)
	例外的に含むもの	幅員 13m以上の道路沿いに側道がある場合は、これを含めて道路用地とする。幅員 13m以上の道路に接続する上下線分離の道路では 13m未満の道路であっても、連続性を考慮して道路用地とする。 13m以上の道路と接続しなくても広範囲な道路用地は取得する。
	含まないもの	幅員 13m 未満の道路・トンネル区間→地上の土地利用に含める。 建設中の道路→「空地」。 敷地内道路→周囲の土地利用に含める。
判 読 基 準		「道路」は、道路骨格データを参考に判読を行う。 判読方法1.　道路骨格データで抽出された幅員 13m以上の道路を中心に「含むもの」の項目を考慮しながら領域を確認し、形成された範囲を道路用地として判読する。 判読方法2.　道路骨格データに存在しなくても、広範囲におよぶインターチェンジやジャンクション、サービスエリアやパーキングエリア等は、ほかの土地利用分類に含められない(1ha 取得できない)場合に道路用地として判読する。 道路と鉄道の交差部については、平面交差部(踏切)は鉄道を優先し、立体交差部は上側(上位)の分類を優先し判読する。また、細分・詳細メッシュポイントデータの衛星画像撮影年月日時点において前時期データ判読結果にて造成中・整地中(その他の用地/空地)として判読していた箇所が道路として完成している場合、完成後の道路幅員が 13m以上なら道路用地になるが、幅員が 13m未満なら、「その他の用地/空地」のままにせず、周囲の土地利用分類に含める変更を行う。

<table>
<tr><td>判読事例 91-01</td><td colspan="3">幅員 13m以上に接続するインターチェンジと管理道路、側道を含めた事例。
採用する路線から付帯する項目まで取得範囲を広げ、道路用地として判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5237069370</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 11 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像(SPOT1.5m)</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td>
</td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 91-02</td><td colspan="3">幅員 13m以上に接続するジャンクション、管理道路、側道を含めた事例。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5340309820</td><td>撮影時期</td><td>2017 年 9 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 91-03</td><td colspan="3">幅員 13m以上に接続するサービスエリア、パーキングエリア、側道を含めた事例。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5340105627</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 5 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td>
</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 91-04</td><td colspan="3">上下路線が分離している事例。幅員 13m以上の道路に接続している上下路線は、道路用地として判読する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5237509442</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td> </td><td></td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

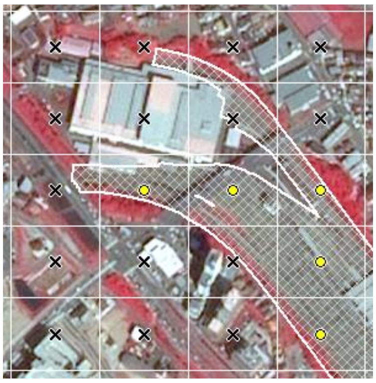
<table>
<tr><td colspan="2">判読事例 91-05</td><td colspan="4">市街地の事例。盛り土・切り土、側道を含め道路用地として判読する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">細分メッシュ番号</td><td colspan="2">5236579147</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td colspan="2"> </td><td colspan="2">
</td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

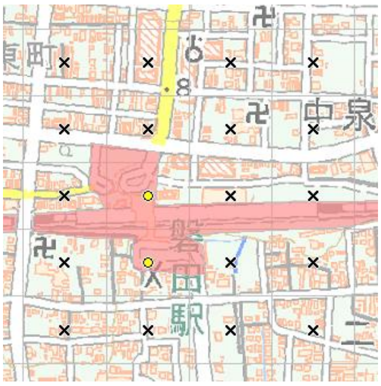
<table>
<tr><td colspan="2">判読事例 91-06</td><td colspan="4">道路と鉄道の立体交差の事例。判読中心位置に交差部がある場合、交差部上側の分類で判読を行う。ここは道路が上側のため、道路を優先して判読している。</td></tr>
<tr><td colspan="2">細分メッシュ番号</td><td colspan="2">5236577154</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td colspan="2"> </td><td colspan="2">
</td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

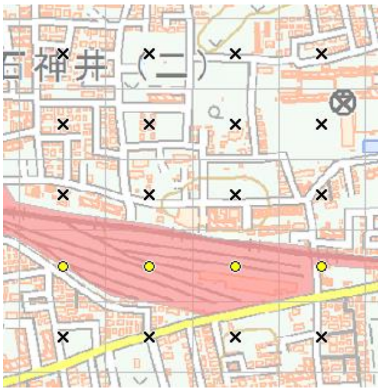
2.10 92:鉄道

作業コード		92
項　目		鉄道
参照骨格データ		鉄道骨格データ(rail)
定　義		鉄道の軌道及び鉄道用地。「鉄道が成立するために必要な空間」「鉄道と一体で有効利用され得る空間」と解釈する。軌道については、最少取得面積の 1ha は考慮せずメッシュ中心と軌道が重なれば取得する。
適用	含むもの	鉄道の軌道。駅の操車場やその敷地内の建築物、車両基地、駅ビル、駅前ロータリーなどの関連施設を含む鉄道用地。工場への引き込み線。地下鉄の地上部分。 JR・JR以外の鉄道、貨物鉄道、路面電車、モノレール、新交通システム等の専用軌道を有した交通機関。 河川区域内・海水域内の鉄道用地(主に橋梁)
適用	例外的に含むもの	鉄道の仮復旧を目的とした、鉄道敷地を利用した施設(例:BRT 専用道路)。
適用	含まないもの	地下区間(トンネル、地下鉄)→地上の土地利用に含める。 建設中の鉄道や廃線になった鉄道敷地→「空地」。 ケーブルカー、ロープウエー、遊園地の遊具、リフト、ベルトコンベア、外部との接続がない工場敷地内にのみ軌道を敷設している貨物線→周囲の土地利用に含める。
判 読 基 準		「鉄道」は、鉄道骨格データを参考に判断する。鉄道骨格データは、軌道中心線から作成したデータのため、骨格データに存在しないが取得対象になる要素がある。上記、「含むもの」項目の建築物、駅ビル、駅前ロータリー、軌道周辺の関連施設は電子地形図を参考に鉄道用地の範囲を確認し判読を行う。道路と鉄道の交差部については、平面交差部(踏切)と路面電車の場合は鉄道を優先し、立体交差部は上側(上位)の分類を優先し判読する。また、細分・詳細メッシュポイントデータの衛星画像撮影年月日時点において前時期データ判読結果にて造成中・整地中(その他の用地/空地)として判読していた箇所が鉄道の軌道及び鉄道用地として完成している場合、鉄道として判読する。

判読事例 92-01	鉄道本線と操車場の事例。操車場の敷地を含め鉄道用地として判読する。		
細分メッシュ番号	5237504240	撮影時期	2019 年 10 月

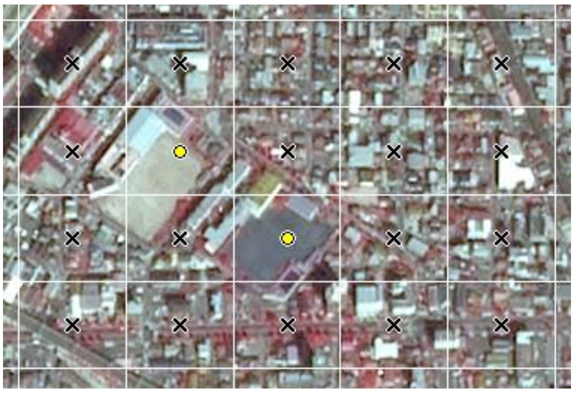
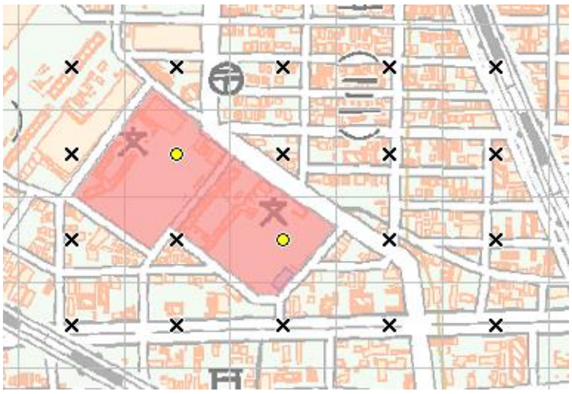
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ
		

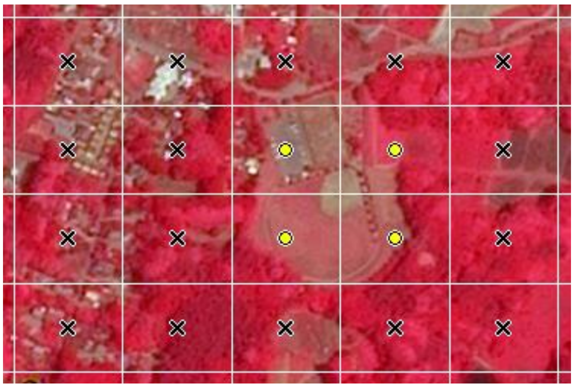
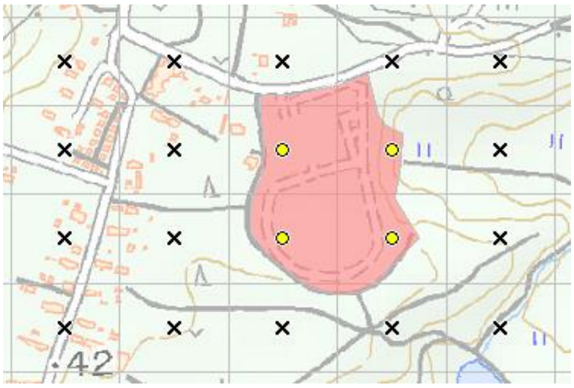
<table>
<tr><td>判読事例 92-02</td><td colspan="3">鉄道本線と駅前ロータリーを含む事例。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5237065811</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 11 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td> </td><td>
</td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

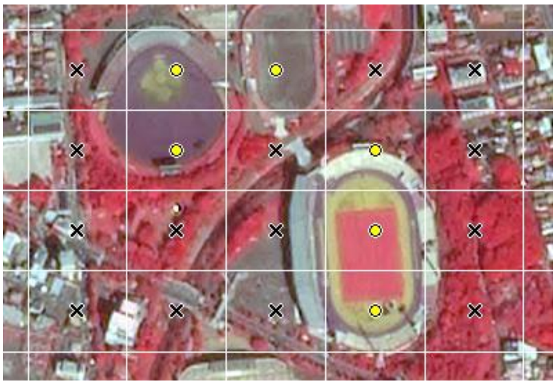
<table>
<tr><td>判読事例 92-03</td><td colspan="3">車両基地を含む鉄道用地の事例。車両基地や操車場の敷地を含め鉄道用地として判読する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5339447706</td><td>撮影時期</td><td>2018 年 10 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td> </td><td>
</td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

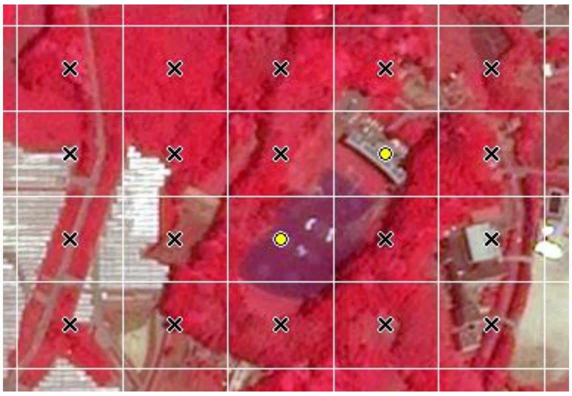
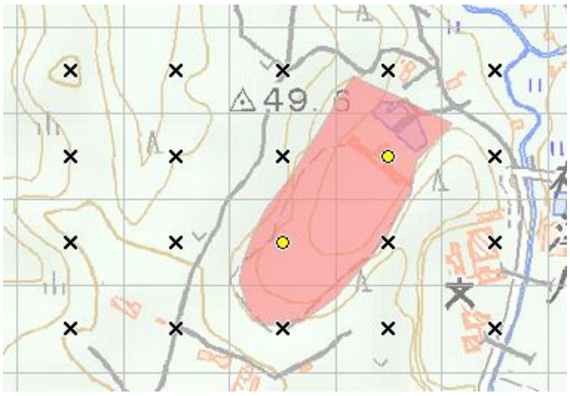
2.11　101：施設等用地

作業コード		101
項　目		施設等用地
参照骨格データ		なし
定　義		グラウンドやスポーツ施設などの用地。
適用	含むもの	公共的な施設及び運動・娯楽施設。学校のグラウンド、文化施設、空港、港湾用地（船の停泊地、漁港、マリーナ、防波堤、コンテナ置き場）、競技場、競馬場、遊園地、動物園、ゴルフ練習場、パターゴルフ場、ミニゴルフ場、ゲートボール場、テニスコート、スキー場、発電所、浄水場、下水処理施設（終末処理場、浄化センター等）、中間貯蔵施設、タンク、墓地、自衛隊や米軍基地の敷地及び敷地内や演習場内の 1ha 以上の空地（駐車場を含む）。
	例外的に含むもの	プール、浄水場の濾過池や下水処理施設の沈殿池などの人工物。 競走馬用牧場内の練習場。
	含まないもの	河川区域内の施設等用地→「河川地及び湖沼」。 牧場（牧草地、放牧場を含む）→「その他の農用地」。 施設等用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
判 読 基 準		「施設等用地」は、電子地形図の注記や地図記号、特定地区界や敷地内道路の形状を参考に範囲を確認し判読を行う。

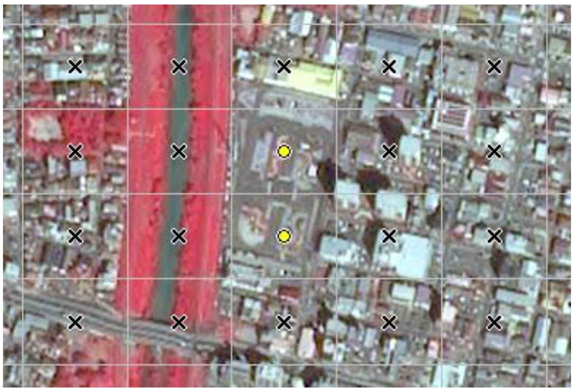
判読事例 101-01	学校の事例。グラウンドや校舎等建物の個々の面積や敷地全体の面積によって判読基準が異なる。		
細分メッシュ番号	5236573311	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 101-02	野球場を含むスポーツ施設の事例。		
細分メッシュ番号	5340105217	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

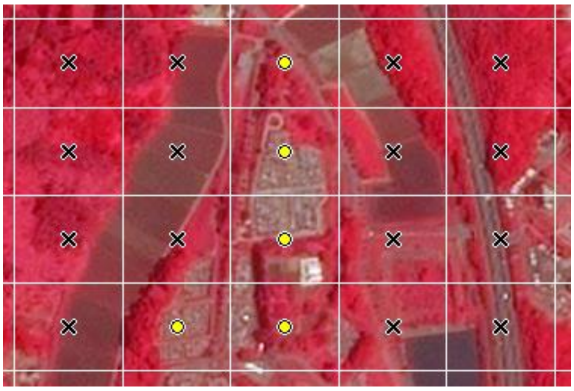
判読事例 101-03	競技場があるスポーツ施設の事例。薄い赤色は天然芝、暗い色調は人工芝である。		
細分メッシュ番号	5236574575	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

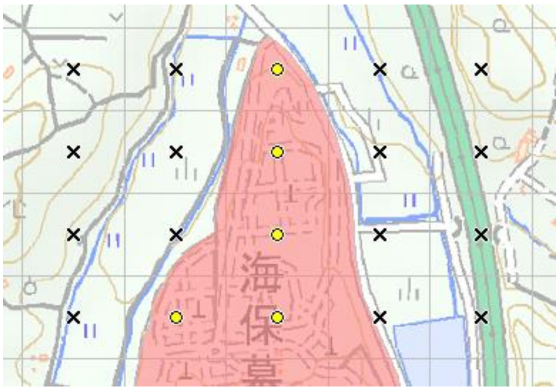
判読事例 101-04	ゴルフ練習場の事例。		
細分メッシュ番号	5340104366	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 101-05	自動車教習場、自動車学校の事例。電子地形図に注記がない場合、敷地内道路の形状から判断するとよい。		
細分メッシュ番号	5236572670	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	

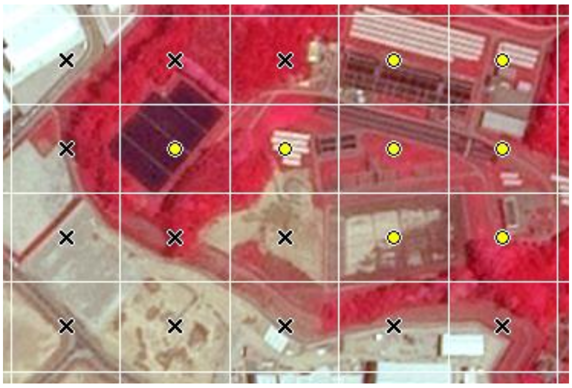


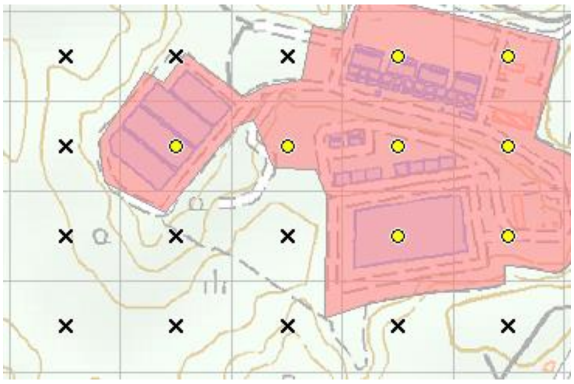
判読事例 101-06	墓地の事例。（公園墓地を含む）		
細分メッシュ番号	5340105686	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	

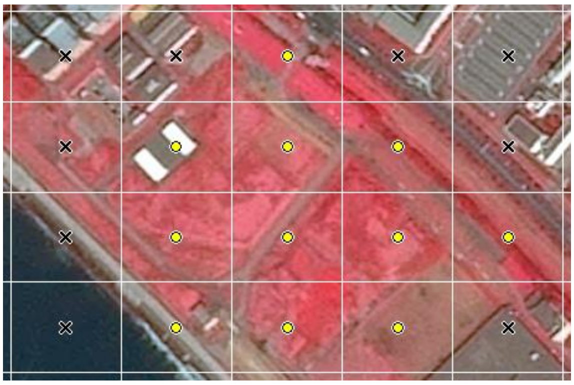


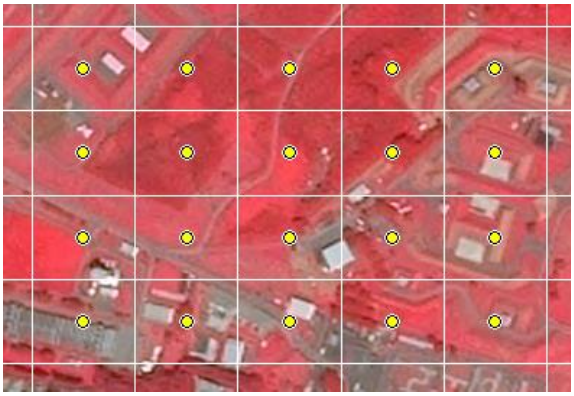


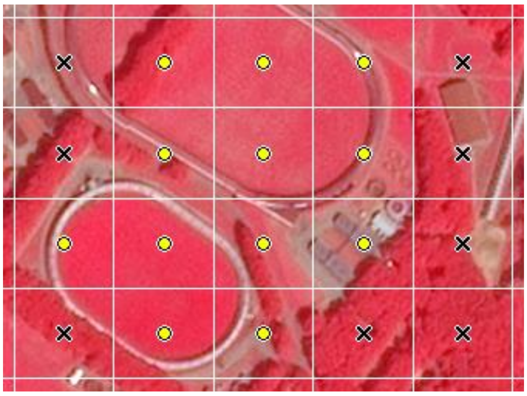
判読事例 101-07	浄水場の事例。浄水場の沈殿池、濾過池等は「施設等用地」として判読する。電子地形図に注記がない場合は、浄水場施設、処理場施設の形状や沈殿池、濾過池等の景況から判断する。		
細分メッシュ番号	5340103295	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	

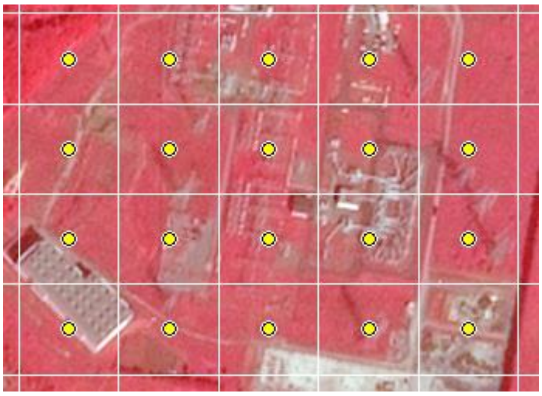


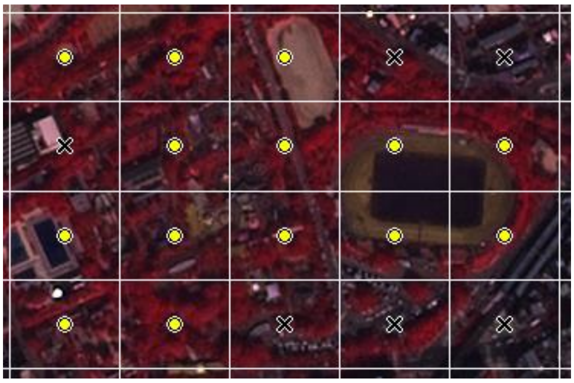


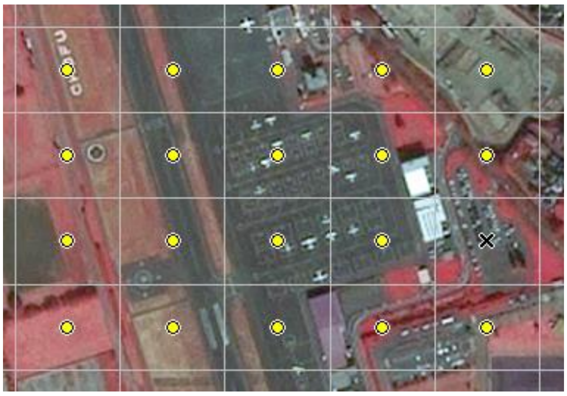
判読事例 101-08	下水処理施設(終末処理場)の事例。終末処理場の沈殿池は、浄水場と同様、「施設等用地」として判読する。		
細分メッシュ番号	5340308146	撮影時期	2017 年 9 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

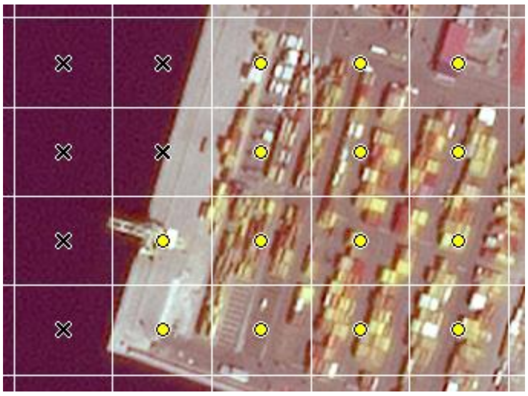
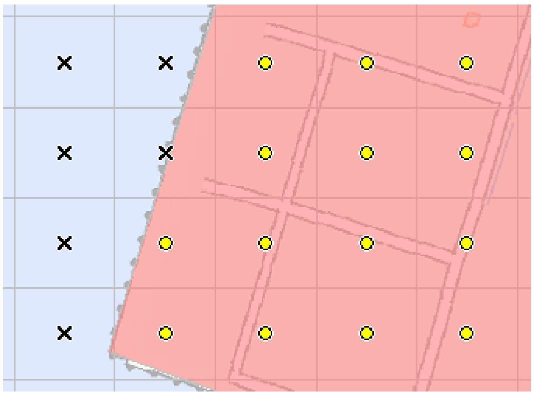
判読事例 101-09	自衛隊演習場の事例。		
細分メッシュ番号	5340405533	撮影時期	2017 年 9 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

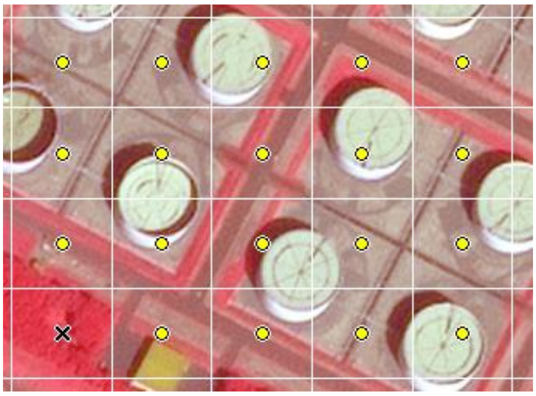
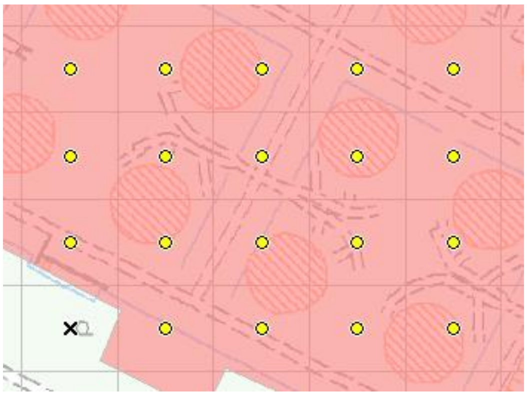
判読事例 101-10	競走馬の牧場の事例。競技場のようなトラックが見える。		
細分メッシュ番号	6441065652	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

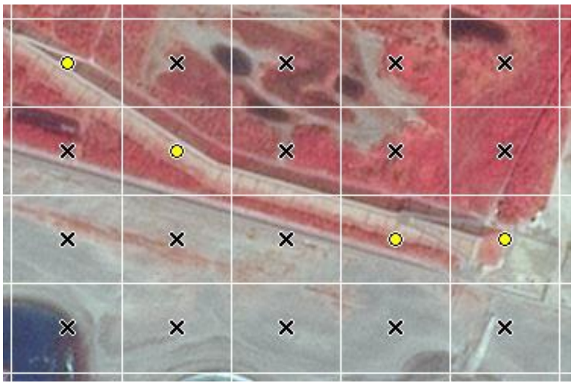
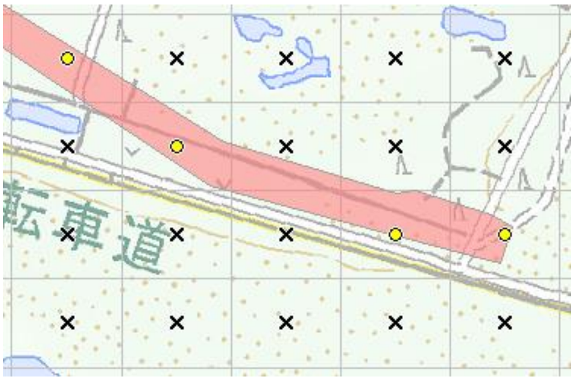
<table>
<tr><td>判読事例 101-11</td><td colspan="3">変電所の事例。電子地形図の送電線記号から変電施設と判断する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>6441065275</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 9 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

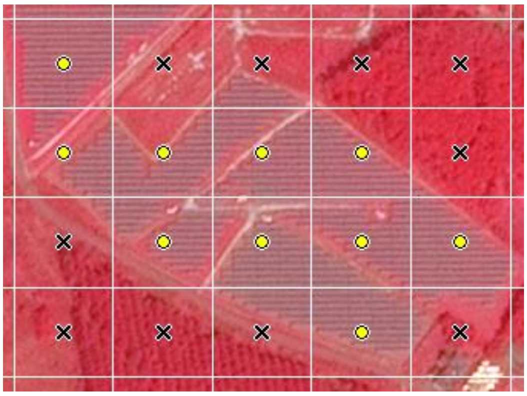
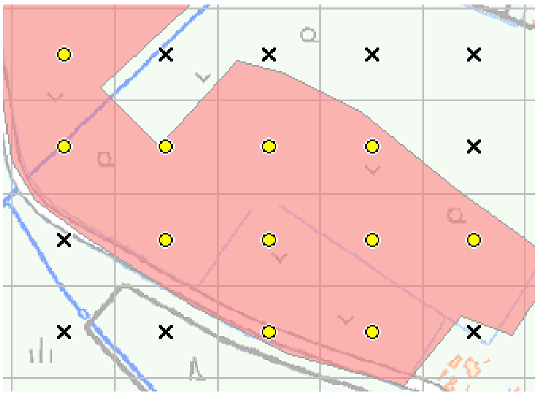
<table>
<tr><td>判読事例 101-12</td><td colspan="3">公園だが施設等用地として判読する事例。動物園と競技場の用途区分になるため、ここの土地利用分類は、「公園・緑地」でなく、「施設等用地」の判読になる。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5235015722</td><td>撮影時期</td><td>2016 年 10 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
</td></tr>
</table>

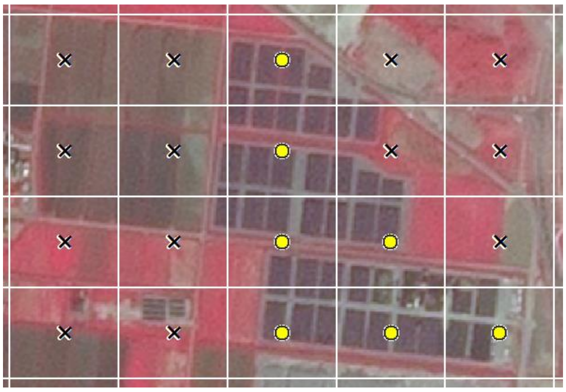
<table>
<tr><td>判読事例 101-13</td><td colspan="3">空港の事例。滑走路や航空機待機所を含む空港敷地の範囲を判読する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5339440253</td><td>撮影時期</td><td>2018 年 10 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 101-14</td><td colspan="3">港湾用地の事例。コンテナ置き場等、港湾に関連する敷地の判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>6341763217</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 9 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 101-15</td><td colspan="3">港湾用地の事例。原油タンクの敷地の判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>6341768501</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 9 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

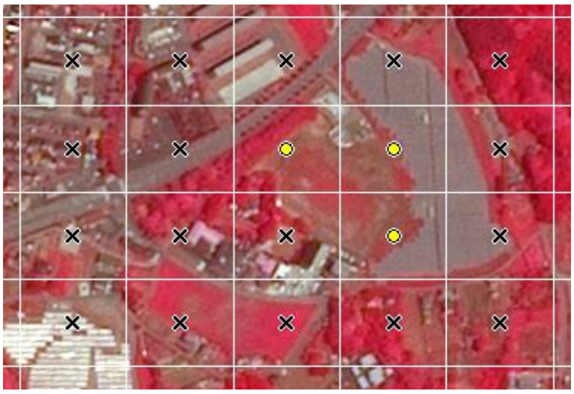
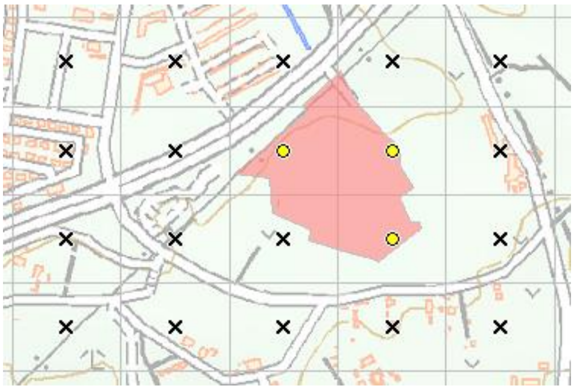
<table>
<tr><td>判読事例 101-16</td><td colspan="3">防潮堤の事例。陸地に防波堤や堤防のような構造物が見える。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5137768200</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 11 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
</td></tr>
</table>

判読事例 101-17	太陽光発電所の事例。電子地形図では判断できないため、オルソ画像の色調・形状から判読する。		
細分メッシュ番号	6341765713	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

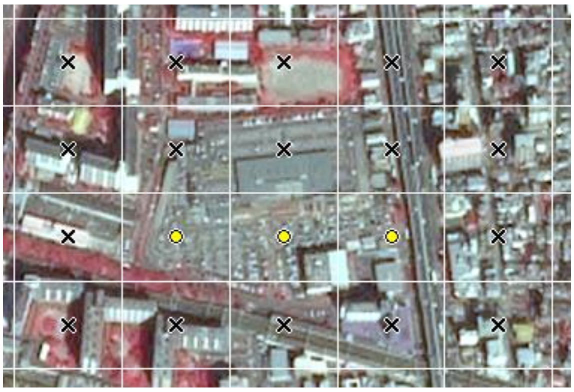
判読事例 101-18	中間貯蔵施設の事例。電子地形図では判断できないため、地域性を考慮した上でオルソ画像の色調・形状から判読する。		
細分メッシュ番号	5541701066	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

2.12 102:空地

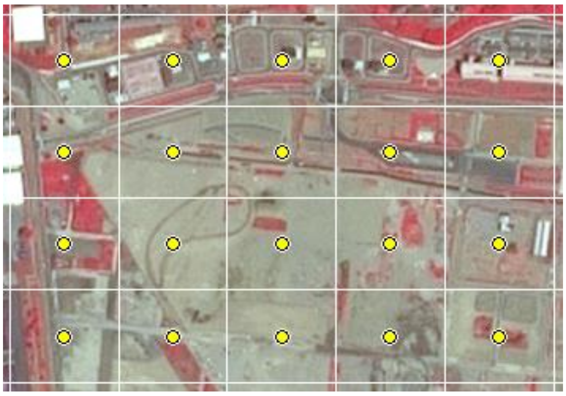
作業コード		102
項　目		空地
参照骨格データ		なし
定　義		造成地や埋立地に存在する空地や更地、広場、オープンスペースなどの用地。
適用	含むもの	宅地造成中、埋立中などの改変工事中の土地。埋立地や造成地のように区画で区切られた都市的な利用域。青空駐車場、資材置き場。貯水が認められないダム湖(建設中などの理由で機能していないダム用地)、工事中の道路、建設中の鉄道や廃線になった鉄道敷地など。
	例外的に含むもの	
	含まないもの	河川区域内の空地→「河川地及び湖沼」。 公園用地内の裸地や更地、広場、オープンスペースなどの用地→「公園」。 自衛隊・米軍基地の敷地内や演習場内の 1ha 以上の空地(駐車場を含む)→「施設等用地」。
判 読 基 準		「空地」は、コンクリートやアスファルトで整備された敷地や砂利、土のまま整地された敷地等、状況によって衛星画像での色調は多様である。コンクリートで舗装された敷地は明るい白色、アスファルトで舗装されたものは暗い青みがかった色、土や砂で整備されたものは明るい青みがかった色、草が生えている敷地では、田畑と同様に明るい赤色に映ることが多い。造成地や整地された土地においては、その当時と経年後では、整地された状況によって荒地のように映ることがあるため、周辺の整備状況も考慮し、手を入れた土地であれば、草地であっても「空地」として判読を行う。

判読事例 102-01	整地された土地の事例。		
細分メッシュ番号	5340104292	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

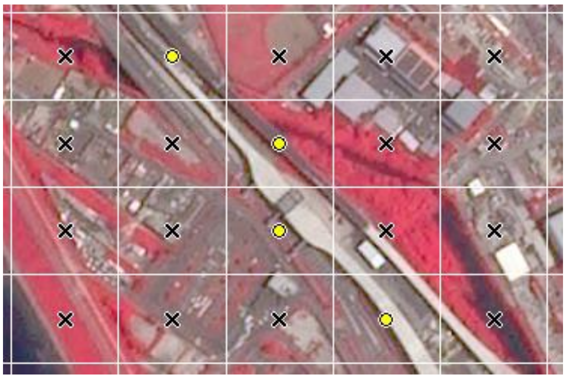
判読事例 102-02	アスファルト舗装された駐車場の事例。		
細分メッシュ番号	5236574354	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	

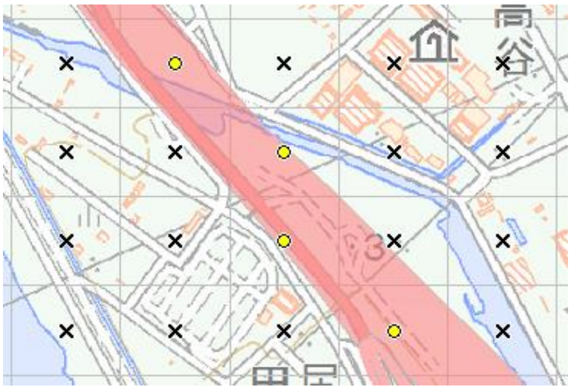


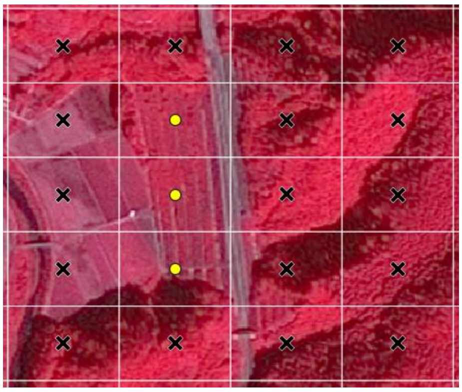
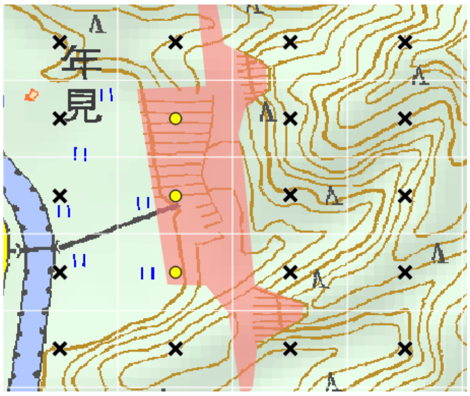
判読事例 102-03	津波被害により住宅地が消失した事例。建物が確認できないため「その他の用地（空地）」として判読する。		
細分メッシュ番号	5741520318	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	

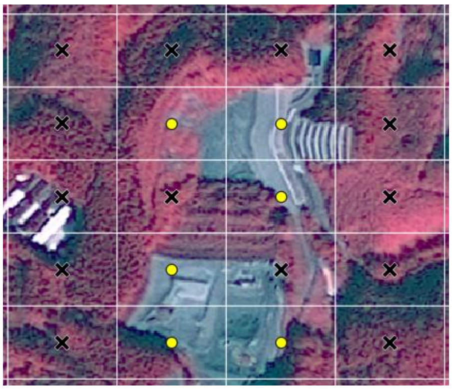
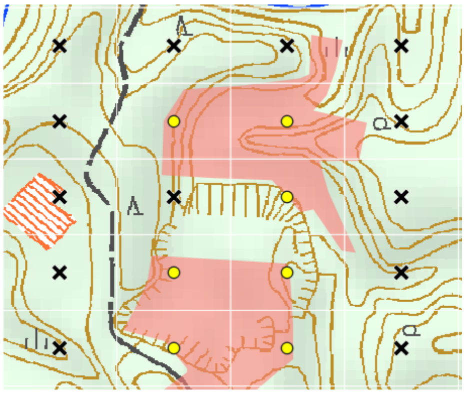


判読事例 102-04	建設中の道路の事例。道路が完成しているかどうかを判別することは困難であるため、衛星画像で工事中だと判断できる場合は空地に分類する。		
細分メッシュ番号	5339472594	撮影時期	2017 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	





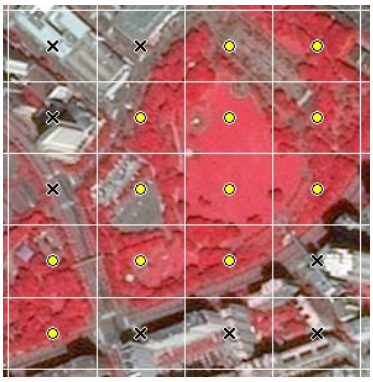
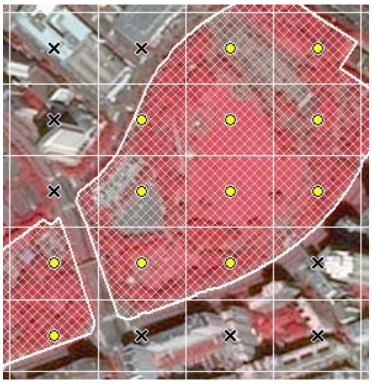
判読事例 102-05	建設中の道路用地の事例。道路用地の範囲として判読し、空地に分類する。		
細分メッシュ番号	4731434032	撮影時期	2020 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

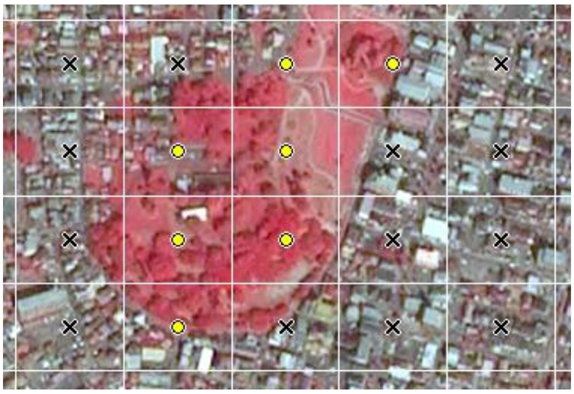
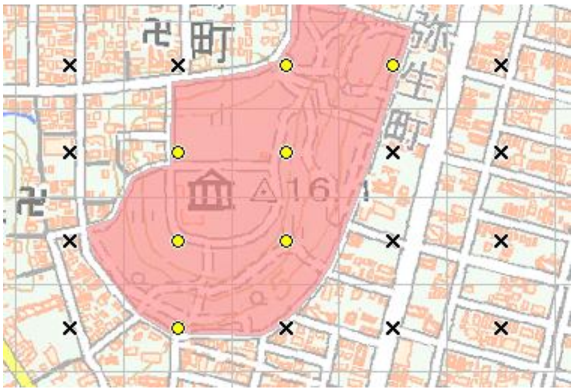
判読事例 102-06	整地された土地（空地）の事例。衛星画像、等高線の状況から判断する。		
細分メッシュ番号	4731704200	撮影時期	2020 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

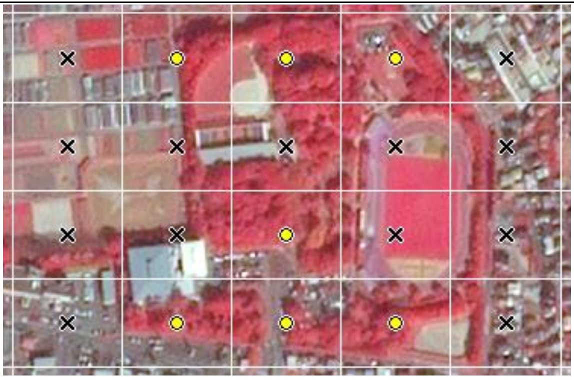
2.13　103:公園・緑地

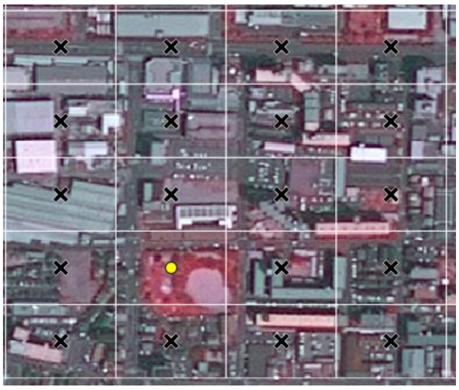
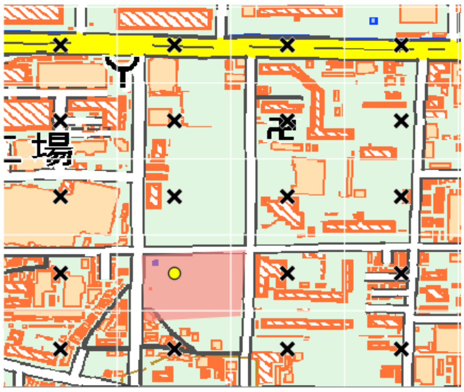
作業コード		103
項　目		公園・緑地
参照骨格データ		公園骨格データ(park)
定　義		都市域に整備された公園と、都市近郊の緑地など。土地被覆としては草地や森林から構成されるが、都市に近く、人工的な池や歩道を持ち、区画で境されているなどの特徴がある。
適用	含むもの	都市内の公園、都市近郊の森林公園など公園や緑地。 森林公園や海浜公園等の自然公園は敷地境界が判断できるもの。 公園用地内の裸地や更地、広場、オープンスペースなどの用地。
	例外的に含むもの	
	含まないもの	中央分離帯、歩道などの道路用地内の緑地→「道路」。 河川区域内の公園・緑地→「河川地及び湖沼」。 公園用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。 国立公園、国定公園→周囲の土地利用に含める。
判 読 基 準		「公園・緑地」は、電子地形図の名称以外に、植生や庭園路、遊歩道の形状が参考になることが多い。規模が大きい公園では、競技場や野球場(施設等用地)、駐車場(空地)、池(河川地及び湖沼)、林(森林)等が含まれることがあり、その規模によって、それぞれの分類に区分する。

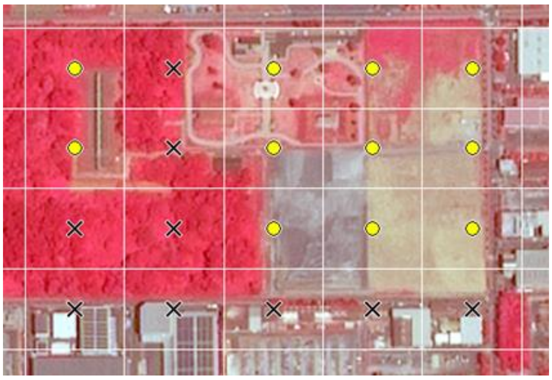
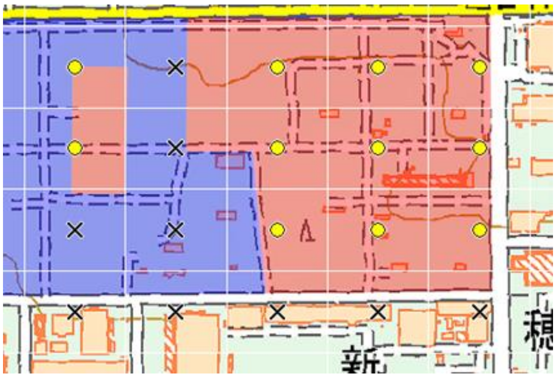
判読事例 103-01	敷地全体が公園・緑地になる事例。		
細分メッシュ番号	5340307334	撮影時期	2017 年 9 月

衛星オルソ画像(SPOT1.5m)	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ
		

判読事例 103-02	景況から判断した公園の事例。電子地形図に注記や骨格データはないが、敷地内道路の形状から判断した「公園・緑地」。		
細分メッシュ番号	5236571592	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 103-03	複数の土地利用分類が含まれる公園の事例。都市地域内では、公園敷地内の競技場は「施設等用地」、駐車場は「空地」に区分する。都市地域外では、「その他の用地」に区分する。		
細分メッシュ番号	5237067738	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
		赤色：公園・緑地　青色：施設等用地	

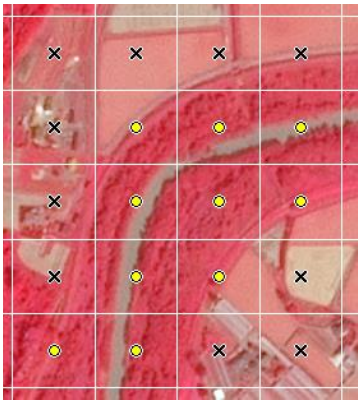
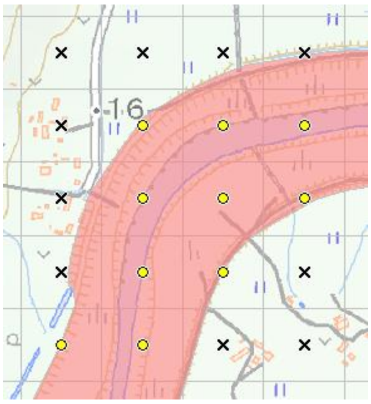
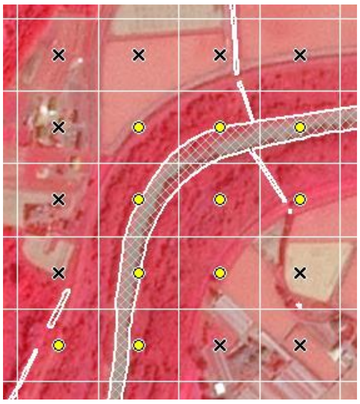
判読事例 103-04	都市内の公園の事例。地形図・骨格からは判読できないが、周囲の状況から判断したもの		
細分メッシュ番号	5235450619	撮影時期	2020 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

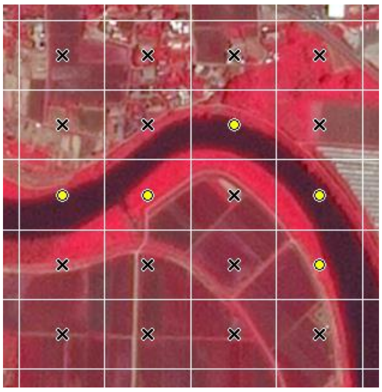
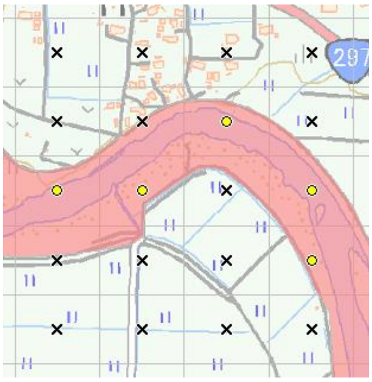
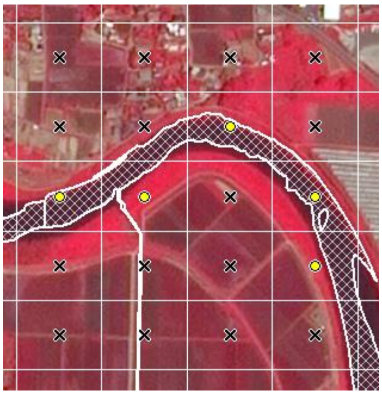
<table>
<tr><td>判読事例 103-05</td><td colspan="3">複数の土地利用分類が含まれる公園の事例。公園敷地内に1ha以上のその他の土地利用がある場合は、それぞれの分類に区分する。公園敷地内の裸地や更地、広場、オープンスペース等の用地は「空地」にせず、「公園・緑地」に区分する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5237220974</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 8 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
赤色：公園・緑地 青色：森林</td></tr>
</table>

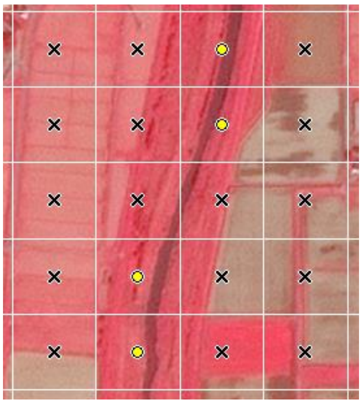
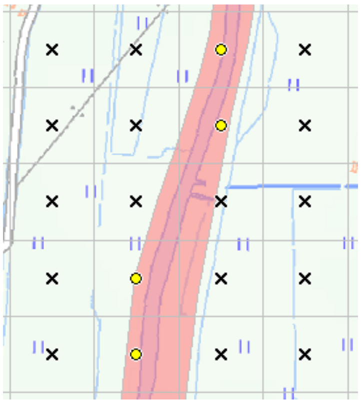
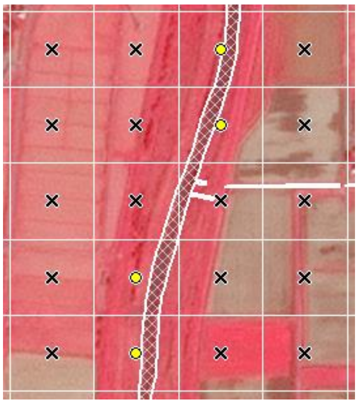
2.14 110:河川地及び湖沼

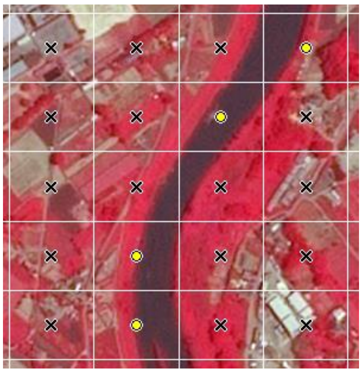
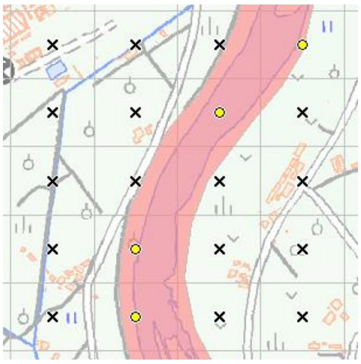
作業コード		110
項　目		河川地及び湖沼
参照骨格データ		河川地及び湖沼骨格データ(wa110)
定　義		幅 25m以上の河川と河川区域内の河川敷及び平水時に水をたたえている水面。 河川(湖沼等を除く)については、最少取得面積の 1ha は考慮せずメッシュ中心と重なる河川が前述の基準幅以上であれば取得する。
適用	含むもの	人工湖、自然湖、貯水池、池、養魚場、貯水が認められる(機能している)ダム湖。 河川区域とは、堤防敷(川裏の法尻)までを含める。 河川区域内の「田」「その他の農用地」「森林」「荒地」「建物用地」「その他の用地」「ゴルフ場」は河川地及び湖沼に含める。
	例外的に含むもの	河川区域内のダム堤体、堰堤。 河川区域の明瞭なかれ川。
	含まないもの	河川区域内の道路用地→「道路」。 河川区域内の鉄道用地→「鉄道」。 幅 25m 未満の河川→周囲の土地利用に含める。 貯水が認められないダム湖(建設中などの理由で機能していないダム用地)→「空地」。 河川区域の明瞭ではないかれ川→「荒地」
判 読 基 準		「河川地及び湖沼」は、衛星画像では水面は暗い色になり、護岸がある場合は水部を縁取っているように見えることが多い。水際が人工的な斜面の場合、色調は、白色に近く、草の生えた斜面では明るい赤色に映る。 護岸被覆を設けた河川では、被覆の範囲までを河川区域として判読する。河川敷がある場合には、河川区域範囲は前時期の土地利用データに従うものとする。 河川区域内に取得基準を満たす道路用地や鉄道用地がある場合、道路、鉄道を優先して判読を行う。

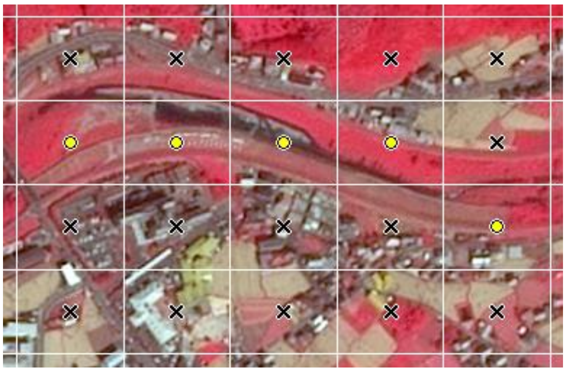
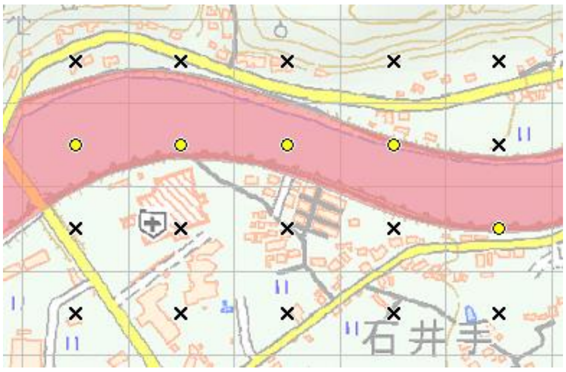
判読事例 110-01	河川の事例。水面は暗い色調になることが多い。河川地及び湖沼骨格データを重ねて表示することによって河川の位置は明らかだが、河川敷がある場合、河川両岸の土手や細道の景況から河川区域の範囲を判断し判読を行う。		
細分メッシュ番号	6441066869	撮影時期	2019 年 9 月

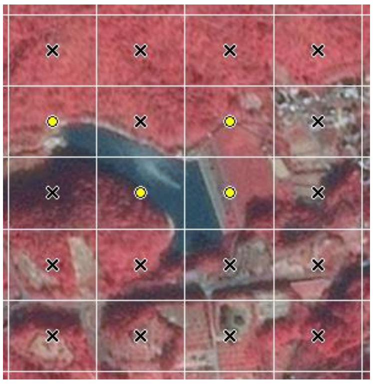
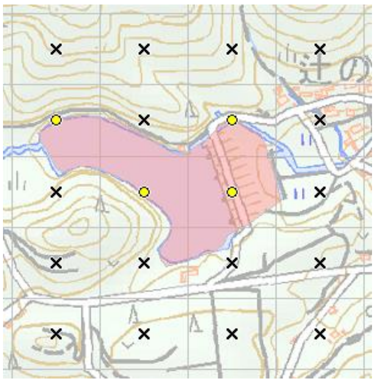
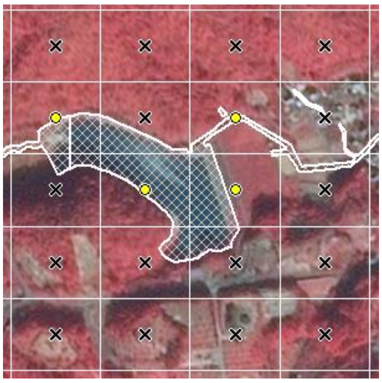
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ
		

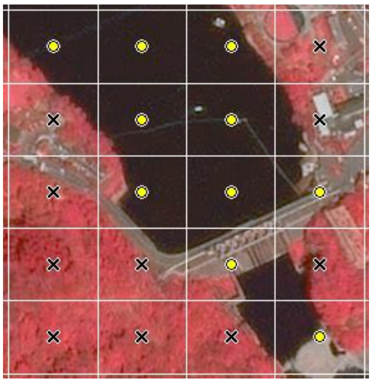
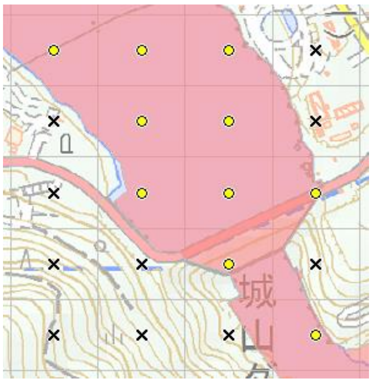
判読事例 110-02	電子地形図では土手の形状を示す土がけ記号の表示を省略することがあるため、河川区域を把握することが難しい場合があるので河川沿いの細道や等高線、荒地記号等から河川区域を判断する。		
細分メッシュ番号	5340105975	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

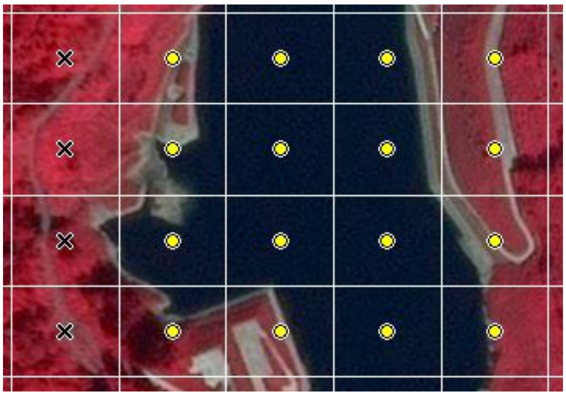
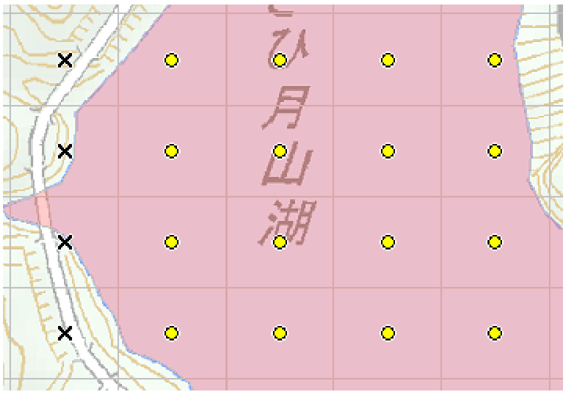
判読事例 110-03	自然堤防は河川区域の判断が困難であるため、衛星画像で明確な経年変化が見られない場合は、前時期データで判読している範囲を参考に河川区域を判断する。		
細分メッシュ番号	6441069369	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

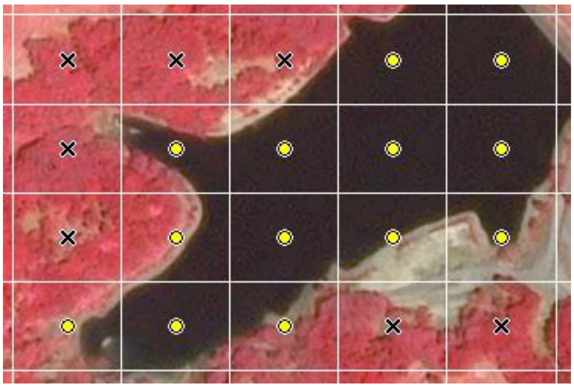
判読事例 110-04	自然堤防の例。堤防が明瞭でない場合には河川区域を広げ過ぎないようにする。		
細分メッシュ番号	5340109657	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

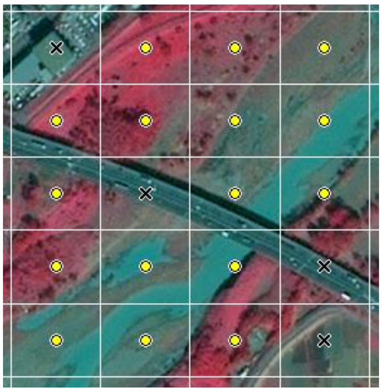
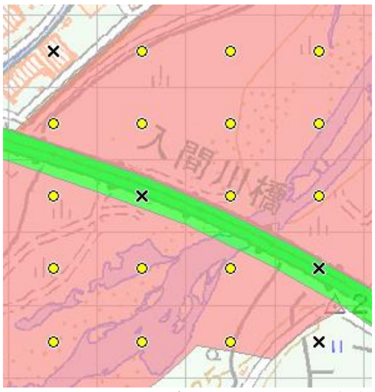
判読事例 110-05	片方が護岸被覆のある河岸、もう片方が自然堤防の河岸である事例。		
細分メッシュ番号	4932345679	撮影時期	2019 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

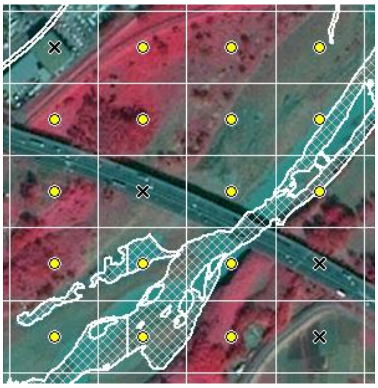
判読事例 110-06	貯水池の事例。堤体を含め貯水池と河川を河川区域として判読する。		
細分メッシュ番号	5133750248	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

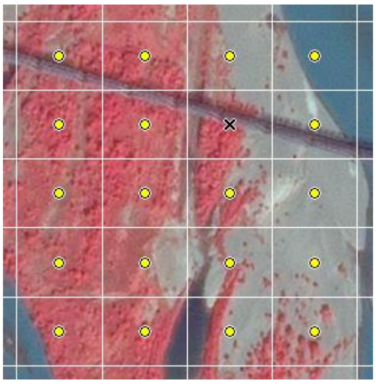
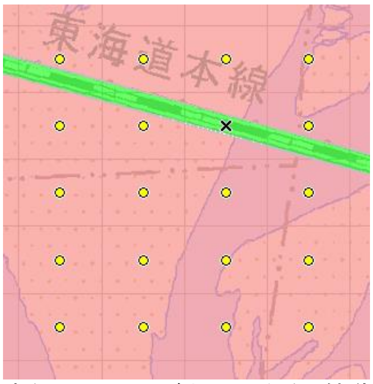
判読事例 110-07	ダム湖の事例。ダム堤体を含めダム湖と河川を河川区域として判読する。		
細分メッシュ番号	5339320226	撮影時期	2017 年 4 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

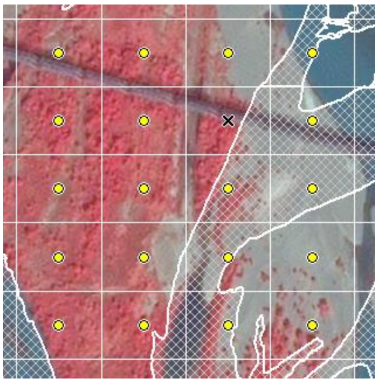
<table>
<tr><td>判読事例 110-08</td><td colspan="3">水位の低い時期のダム湖の事例。電子地形図は満水時の水涯線が表示されているため、衛星画像で植生が見られても電子地形図の水涯線を基準に判読する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5739678177</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像(SPOT1.5m)</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
</td></tr>
</table>

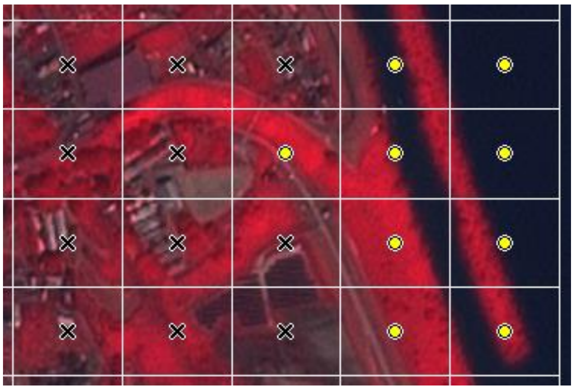
<table>
<tr><td>判読事例 110-09</td><td colspan="3">水位の高い時期のダム湖の事例。電子地形図の水涯線を参考にしつつ、衛星画像を基準にエリアを判読する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5339624683</td><td>撮影時期</td><td>2017 年 4 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像(SPOT1.5m)</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
</td></tr>
</table>

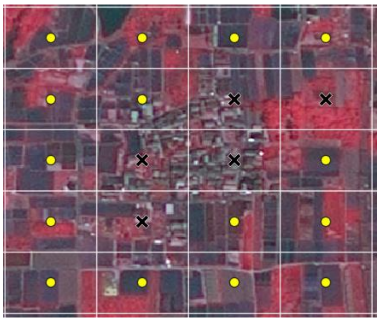
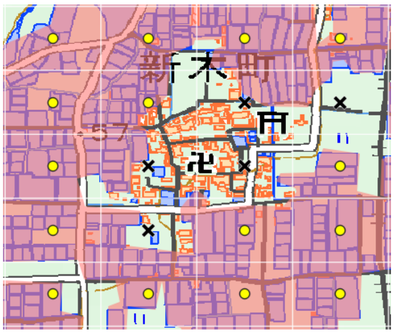
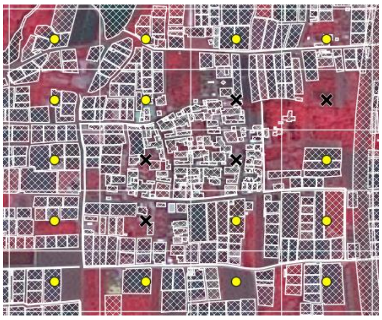
<table>
<tr><td>判読事例 110-10</td><td colspan="3">河川区域に道路橋が交差している事例。立体交差と同様に、上側の分類を優先して判読を行う。この交差部は道路が上側のため、道路を優先して判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5339639533</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 10 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像(SPOT1.5m)</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td>衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">

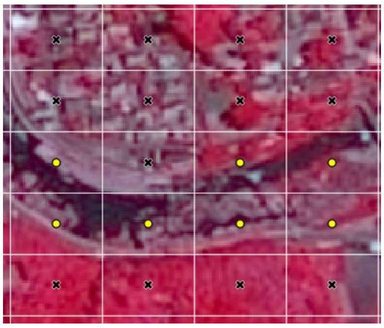
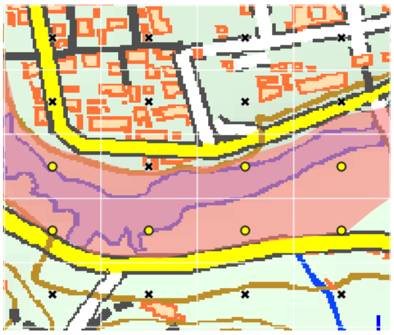
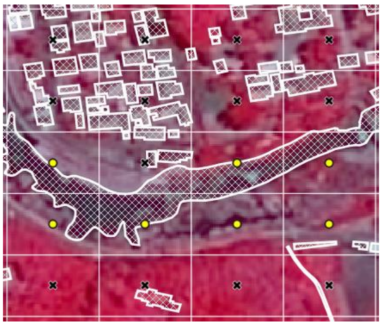
赤色:河川地及び湖沼　緑色:道路</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 110-11</td><td colspan="3">河川区域に鉄道橋が交差している事例。立体交差と同様に、上側の分類を優先して判読を行う。この交差部は鉄道が上側のため、鉄道を優先して判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5237065491</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 11 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td>

赤色：河川地及び湖沼　緑色：鉄道</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

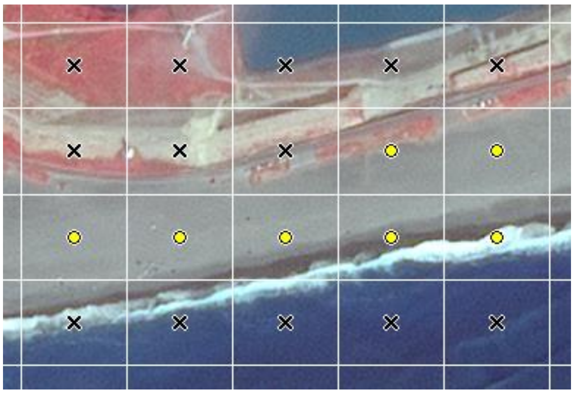
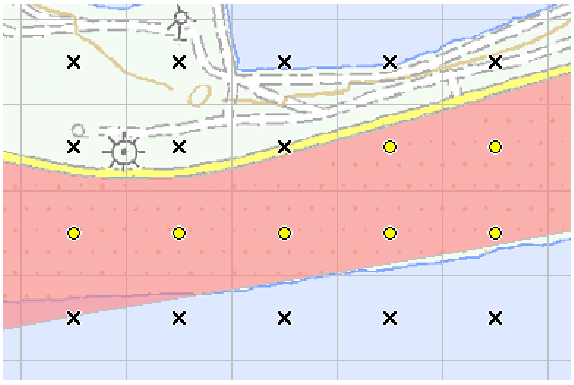
<table>
<tr><td>判読事例 110-12</td><td colspan="3">河川区域内のかれ川の事例。河床が草地になっている例。電子地形図では、かれ川記号の表示でも河川区域が明確な場合は、河川として判読する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5236644947</td><td>撮影時期</td><td>2016 年 5 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
</td></tr>
</table>

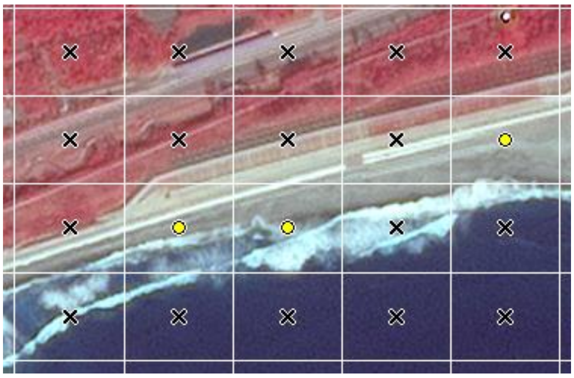
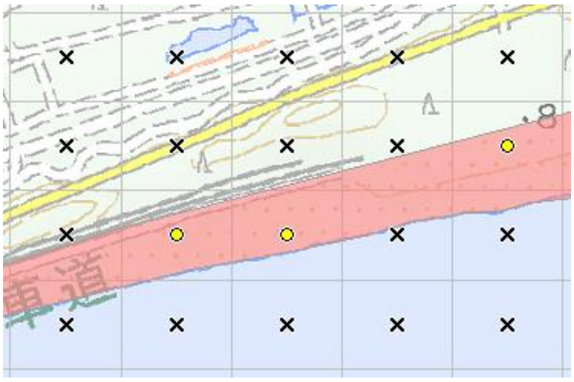
<table>
<tr><td>判読事例 110-13</td><td colspan="3">地形図および地域性を重視した例（奈良県金魚養殖地：衛星画像では水田区画に見えるが、万年水面と判断する例）。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5135766261</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 5 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

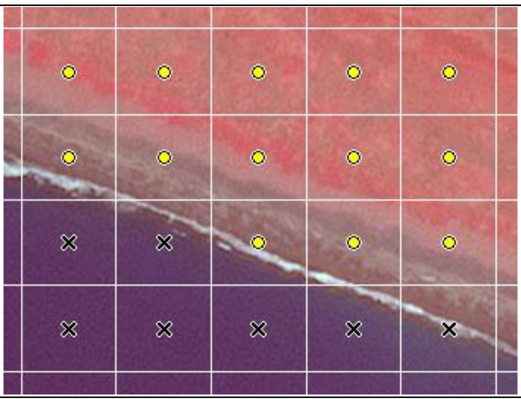
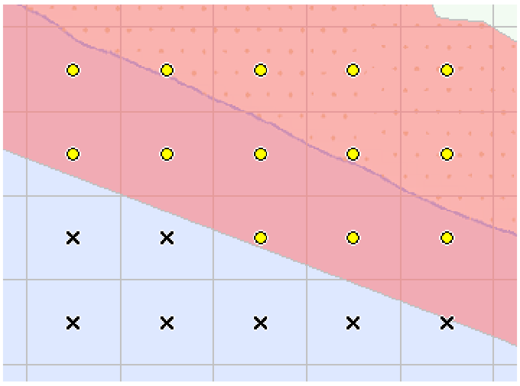
<table>
<tr><td>判読事例 110-14</td><td colspan="5">衛星画像と地形図から、河川区域内を河川と判読した事例。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td colspan="2">5235233212</td><td colspan="2">撮影時期</td><td>2020 年 5 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

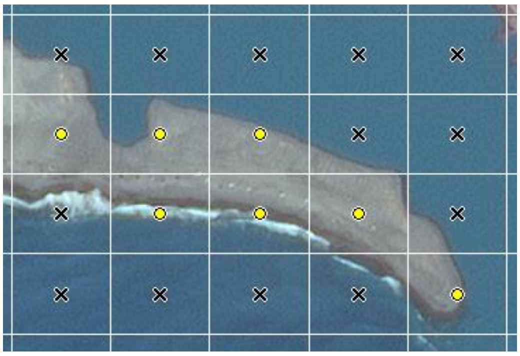
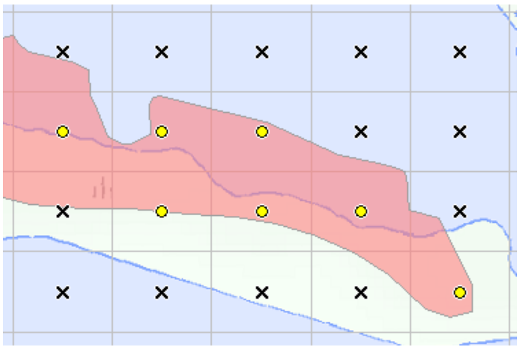
2.15　140:海浜

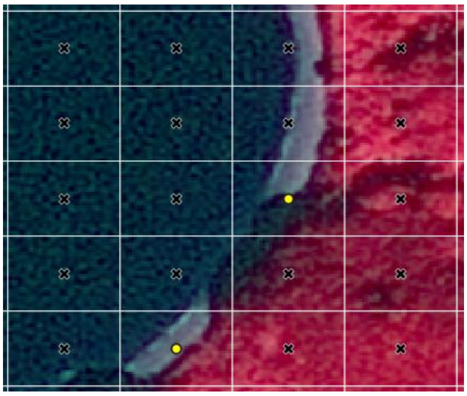
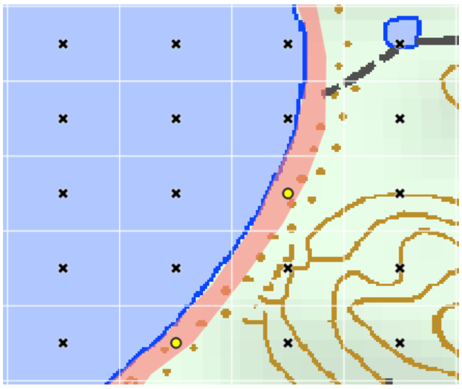
<table>
<tr><td colspan="2">作業コード</td><td>140</td></tr>
<tr><td colspan="2">項　目</td><td>海浜</td></tr>
<tr><td colspan="2">参照骨格データ</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">定　義</td><td>海岸に接する砂、れきの区域。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">適用</td><td>含むもの</td><td></td></tr>
<tr><td>例外的に含むもの</td><td></td></tr>
<tr><td>含まないもの</td><td>海岸に接する岩・岩がけ・露岩地→「荒地」。</td></tr>
<tr><td colspan="2">判 読 基 準</td><td>「海浜」は、海岸線沿いの砂浜、砂地を判読する。海岸線は潮の干満や白波により、衛星画像からの判読が困難である。そのため、土砂の堆積や浸食などで明らかな経年変化が認められる場合は衛星画像による海岸線を判読し、それ以外は電子地形図による海岸線を判読する。衛星画像の色調は、白色や青みがかった白色、明るい茶褐色で、白い砂浜では太陽光の反射で白色が強調されて映ることがある。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 140-01</td><td colspan="3">砂浜の領域が明瞭な事例。白波は若干立っているが、概ね衛星画像と電子地形図が合致しているのが分かる。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5137767463</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 11 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像(SPOT1.5m)</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 140-02</td><td colspan="3">砂浜の事例。白波が立ち、海岸線が不明瞭である。衛星画像より明らかな経年変化が認められる場合を除き、電子地形図の海岸線や水部によって判読する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5137768669</td><td>撮影時期</td><td>2019 年 11 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像(SPOT1.5m)</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

判読事例 140-03	海岸線の経年変化が明瞭な事例。土砂の堆積により海岸線が前進している。この場合の海岸線は、衛星画像の真位置を優先して判定する。		
細分メッシュ番号	6341761807	撮影時期	2019 年 9 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

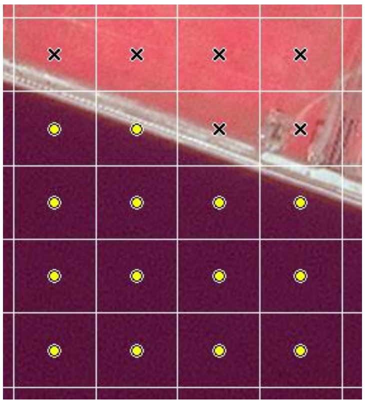
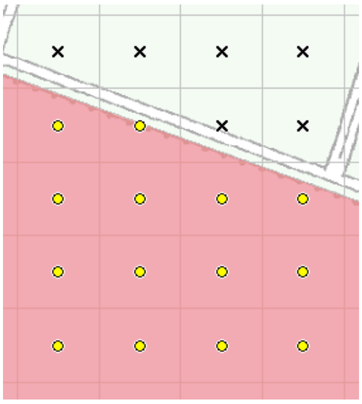
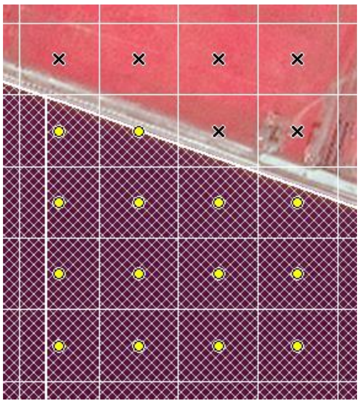
判読事例 140-04	海岸線の経年変化が明瞭な事例。波による浸食を受けて海岸線（砂州）が変化している。この場合の海岸線は、衛星画像の真位置を優先して判定する。		
細分メッシュ番号	5137767375	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

判読事例 140-05	影に隠れている部分について、地形図と連続性から海浜であると判読した事例。		
細分メッシュ番号	5135306539	撮影時期	2020 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

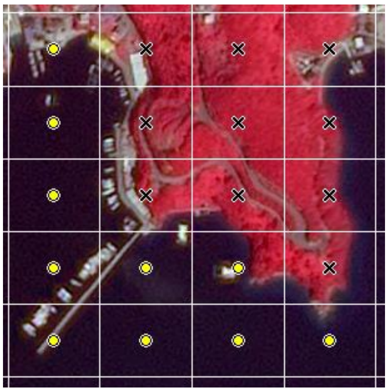
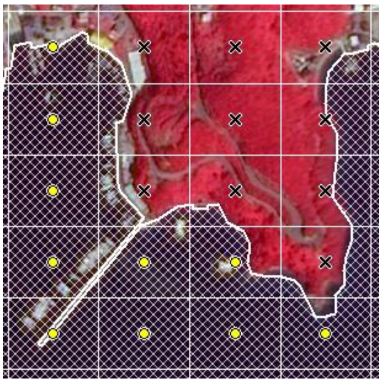
2.16 150:海水域

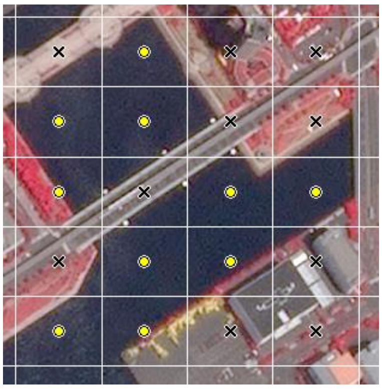
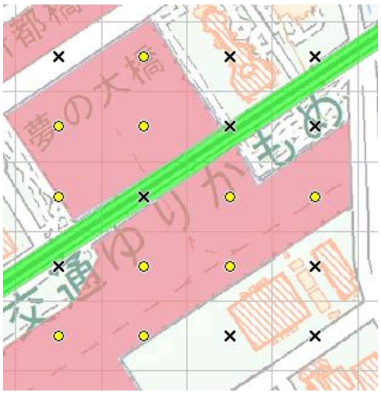
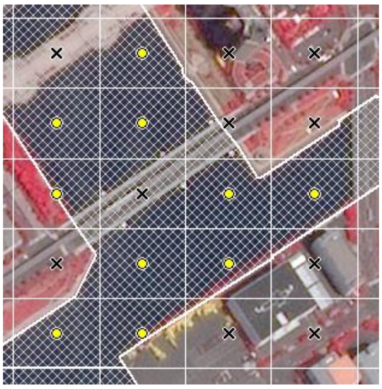
作業コード		150
項　目		海水域
参照骨格データ		海水域骨格データ（wa150）
定　義		海面及び隠顕岩、干潟、シーパースを含む区域。
適用	含むもの	
	例外的に含むもの	
	含まないもの	海水域内の道路用地→「道路」。 海水域内の鉄道用地→「鉄道」。
判 読 基 準		「海水域」は、衛星画像では暗い色調が多く、海岸線の位置は判読しやすいが、堤防や防波堤の護岸工事による形状の変化や海岸線の形状変化を見逃さないように注意する。海岸線が不鮮明な場合や河川との境界位置は海水域骨格データを参考に判読を行う。また、取得基準を満たす道路用地や鉄道用地がある場合、道路、鉄道を優先して判読を行う。

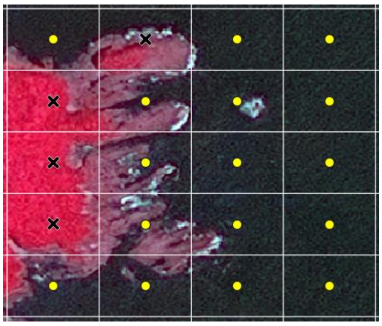
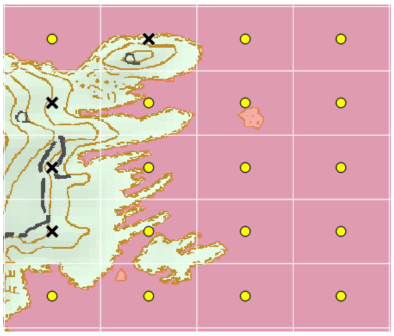
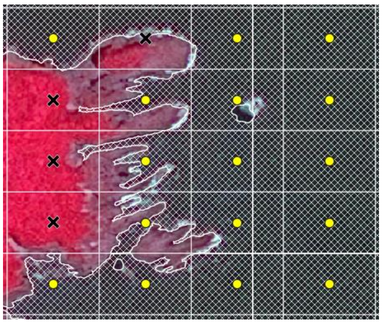
判読事例 150-01	海岸部の水涯線が海水域の境界になる事例。		
細分メッシュ番号	6341762335	撮影時期	2019 年 9 月

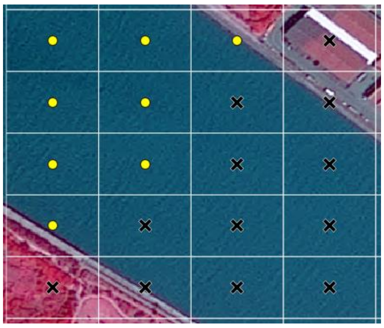
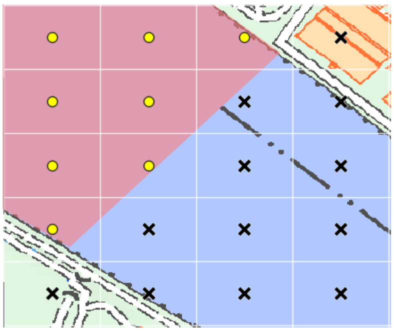
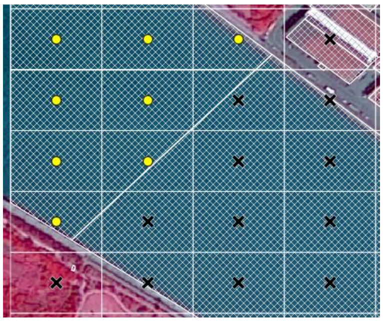
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ
		

判読事例 150-02	海岸部の岩場と港湾部の護岸が海水域の境界になる事例。		
細分メッシュ番号	4932343433	撮影時期	2019 年 10 月

衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ
		

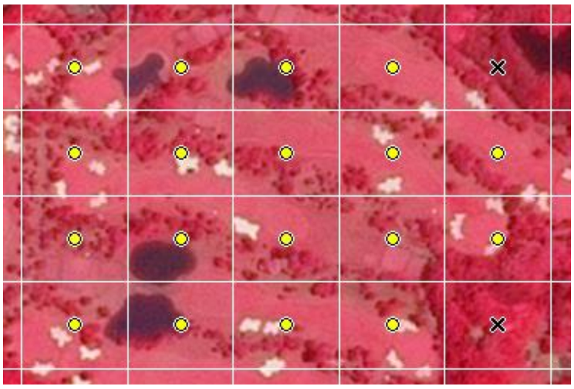
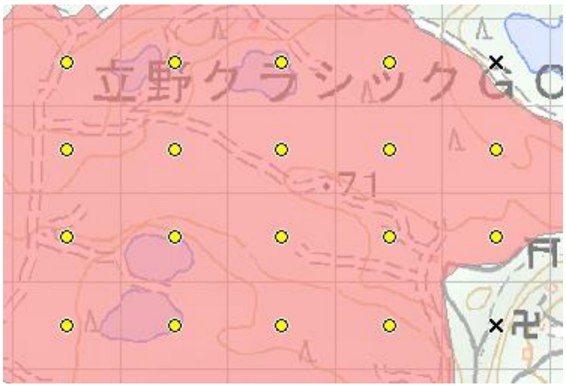
<table>
<tr><td>判読事例 150-03</td><td colspan="3">海水域に鉄道橋が交差している事例。立体交差と同様に、上側の分類を優先して判読を行う。この交差部は鉄道が上側のため、鉄道を優先して判読を行う。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5339365229</td><td>撮影時期</td><td>2017 年 5 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

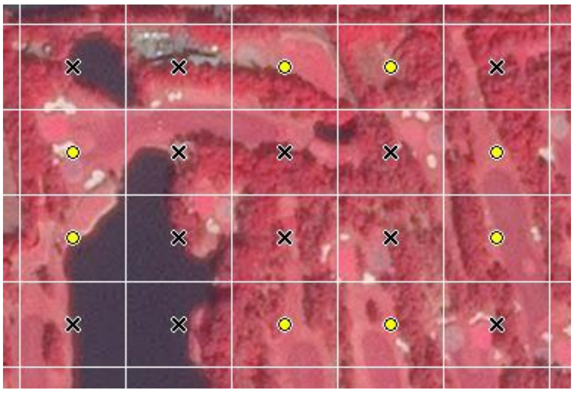
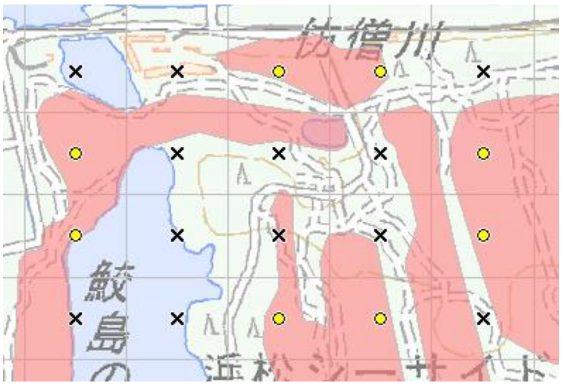
<table>
<tr><td>判読事例 150-04</td><td colspan="3">地形図を参考に、衛星画像上の判読ポイントを正確に取得する。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>4831552405</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 5 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

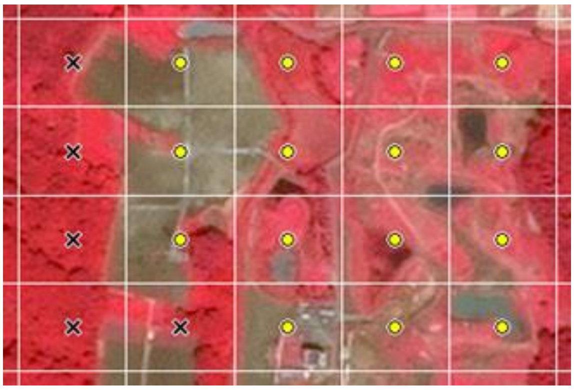
<table>
<tr><td>判読事例 150-05</td><td colspan="3">河川との境界を骨格データを参考に判読している。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5135630081</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 10 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

2.17　160:ゴルフ場

作業コード		160
項　目		ゴルフ場
参照骨格データ		なし
定　義		ゴルフ場のゴルフコースが集まっている部分。フェアウェイ及びラフの外側と森林の境目を境界とする。
適用	含むもの	まだゴルフ場のように見える閉鎖されたゴルフ場。
	例外的に含むもの	ショートコースゴルフ場。
	含まないもの	ゴルフ練習場、パターゴルフ場、ミニゴルフ場→「施設等用地」。 河川区域内のゴルフ場→「河川地及び湖沼」。 ゴルフ場用地内にその他の土地利用がある場合は、それぞれの項目に分類する。
判 読 基 準		「ゴルフ場」は、フェアウェイの形状と色調から判断しやすいことが多い。 ゴルフ場の敷地内は、林(森林用地)、池(河川地及び湖沼)、クラブハウス(建物用地/低層建物(非密集地))、駐車場(その他の用地/空地)が含まれることがあり、その規模により、それぞれの土地利用分類を判読することが必要になる。

判読事例 160-01	ゴルフ場であることが明瞭に判読できる事例。		
細分メッシュ番号	5340102797	撮影時期	2019 年 5 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

判読事例 160-02	ゴルフ場敷地内の分類区分の事例。ゴルフ場内の池は「河川地及び湖沼」、森林は「森林用地」、建物は「低層建物(非密集地)」等、規定の土地利用分類があれば区分する。		
細分メッシュ番号	5137769759	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像(SPOT1.5m)		電子地形図画像	
			

<table>
<tr><td>判読事例 160-03</td><td colspan="3">ゴルフ場が休止または閉鎖していると考えられるが、衛星画像ではまだゴルフ場のように見える事例。ゴルフ場から他の用途への転用が認められず、営業再開が容易に可能な状態であればゴルフ場のままとする。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5340713813</td><td>撮影時期</td><td>2017 年 9 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

3. 補足事項

3.1 敷地の判断に関する補足事項

敷地は原典資料である衛星画像と電子地形図・骨格データを用いて判断しなければならず、これらの原典資料から敷地を特定することは困難である。

敷地は原典資料から推測して判断するため、変化が認められないケースでは、前時期の土地利用データに従うこととする。

ここでは基礎分類項目のうち、70：建物用地、100：その他の用地について、推定した敷地をどのように区分するかについての注意点を補足する。

（1） 細分項目に区分する際の注意点

都市地域を判読する場合、基礎分類項目の 70：建物用地、100：その他の用地は細分項目に区分する必要があるが、細分メッシュ土地利用では基礎分類項目の 70：建物用地、100：その他の用地として公開されることになる。

このことから、細分項目に区分する際には、以下のことに注意する必要がある。

① 基礎分類項目で区分してから細分項目に細区分する。

② 細区分した結果、最小取得面積 1ha 未満となる場合には、基礎分類項目の中の他の区分を適用する。その際面積が一番大きい区分を適用し、面積が等しい場合には中心直下の区分を適用する。

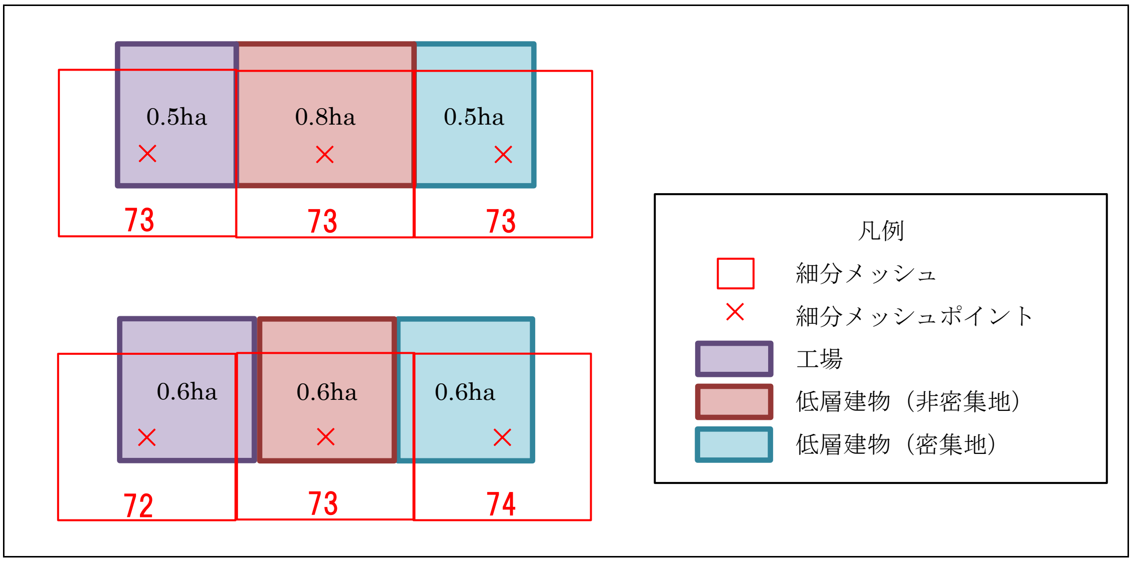


図 3-1-1 細分項目を区分する際の注意点

（２）　学校・グラウンド

学校敷地は、100：その他の用地（101：施設等用地）（※カッコ内は細分項目）に区分するのが原則であるが、学校敷地内に 1ha 以上の広がりがある他の区分がある場合には、それらの区分を適用する。

ここでは学校敷地の建物とグラウンドを例に、どのように区分するかについての注意点を補足する。

① 建物とグラウンドがそれぞれ 1ha 以上の場合、それぞれの用地に区分する。

　建物　　→　　70：建物用地（71：中高層建物、73：低層建物（非密集地））

　グラウンド→　　100：その他の用地（101：施設等用地）

② 建物とグラウンドそれぞれ又はどちらかが 1ha 未満だが、敷地全体で 1ha 以上ある場合、学校の敷地全体を 100：その他の用地（101：施設等用地）で区分する。

③ 学校敷地全体が 1ha 未満の場合、周囲の土地利用に含める。

④ 学校敷地内に建物などはあるが、グラウンドがない場合には、70：建物用地（71：中高層建物、73：低層建物（非密集地））で区分する。

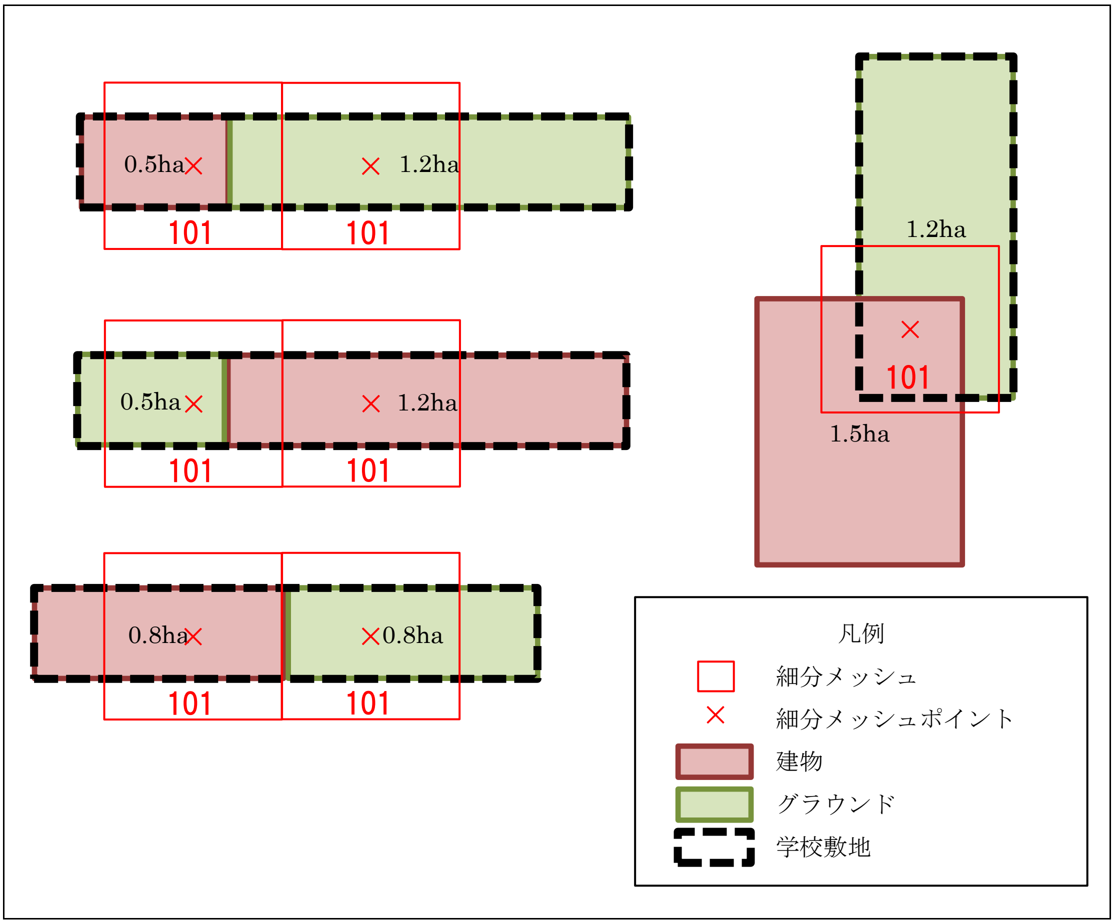


図 3-1-2　学校・グラウンドを区分する際の注意点

（３）　工場及び低層建物（密集地）

工場及び低層建物（密集地）は、1/25,000 旧版地形図の建物記号により区分していたが、現在の電子地形図の図式では、これらの建物記号が廃止されたため区分が困難である。

工場及び低層建物（密集地）は原典資料から推測して判断するため、変化が認められないケースでは、前時期の土地利用データに従うこととする。

ここでは経年変化等によって工場及び低層建物（密集地）を区分する際の注意点を補足する。

① 工場は新たに大規模な建物が完成した場合に、電子地形図の注記に工場名が記載されているか、注記が無くても工業団地内に完成した建物など周囲の状況から工場と推測できる場合に区分する。

② 低層建物（密集地）は 1/25,000 旧版地形図の総描建物を基準に区分されているため、経年変化が認められない場合には、前時期の土地利用データに従うこととする。

③ 低層建物（非密集地）に新たに建物が増えても低層建物（密集地）にはしない。

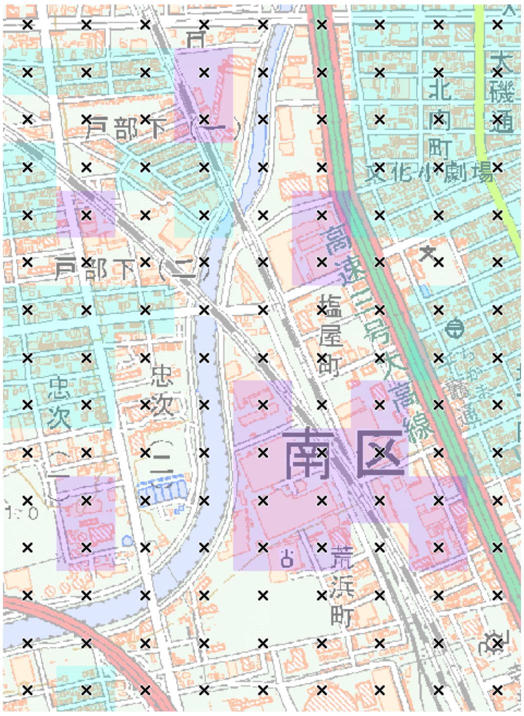
④ 低層建物（密集地）が区画整理されて、新興住宅街や高層建物街、施設や空地、改変地ができた場合には、低層建物（密集地）ではなく別の区分を適用する。

⑤ 低層建物（密集地）は基本的には、他の区分に転用されるが、最小取得面積 1ha 未満の基準によっては、新たに低層建物（密集地）として区分するケースもあるので注意する。

【旧版地形図の工場記号と総描建物による判読の例】

左図は、1/25,000 旧版地形図で工場記号、総描建物が表示され、それに基づいて判読されていることが分かる。

旧版地形図



電子地形図

凡例
工場
低層建物（密集地）

【新たに低層建物（密集地）を区分するケース】

低層建物（密集地）に隣接して 1ha 未満の低層建物（非密集地）が新たに出来た場合、低層建物（密集地）に区分することになる。

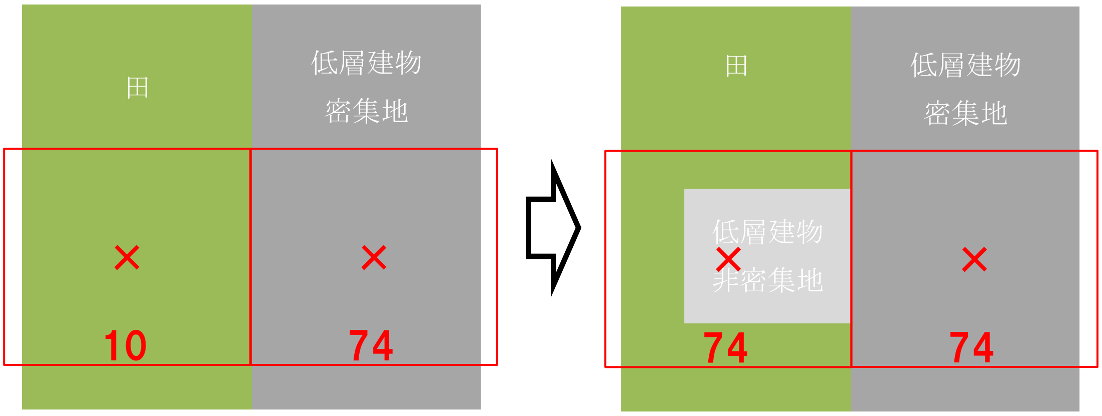


図 3-1-3　工場及び低層建物（密集地）を区分する際の注意点

3.2 田・その他の農用地・森林・荒地に関する補足事項

田・その他の農用地・森林・荒地は、衛星画像と電子地形図の植生記号により判断するが、これらの原典資料からは区分が困難なケースがある。

あまり経年変化がない区分であるため、明瞭な経年変化が認められない場合や、判断に迷う場合には、前時期の土地利用データに従うこととする。

ここでは田・その他の農用地・森林・荒地を区分する際の注意点を補足する。

① 田が畑として利用されている場合、田の機能を有していれば畑として利用されていても田に区分する。電子地形図の田の記号を優先し、記号が無い場合でも平坦地で水路が整備されているかなどで田としての利用が可能か判断する。

② 電子地形図で田の記号はあるが休耕中もしくは耕作放棄地で、草地に見えるため荒地にすべきか迷う場合、田のままとする。地形図に田の記号が無く、衛星画像で区画が無くなって周囲の荒地と見分けがつかない場合で他に転用ができないほど荒廃していると判断できる場合には荒地とする。農地以外への転用が可能な改変地や更地はその他の用地（空地）に区分する。※その他の農用地の場合も同様。

この判断には、農地が荒廃して自然に戻ったと判断する必要があるため、どの時点をそう判断するかの基準を示すことは困難であることから、前時期の土地利用データに従うことを前提に慎重に判断する必要がある。

③ その他の農用地として区分されているが、果樹園と森林の区別がつかない場合、果樹園と森林は衛星画像では区別がつかないケースが多いため、地形図の果樹園の記号と矛盾が無ければ前時期のままとする。地形図に果樹園の記号が無く、衛星画像で果樹園と森林の見分けが付かない場合には森林とする。

④ 荒地として区分されているが、草地なのか樹高 2m 以上の植物なのか判断できない場合、電子地形図の植生記号に従うが、電子地形図に植生記号が無く、衛星画像で周囲の森林と見分けがつかない場合には森林とする。なお伐採跡地に植林していることが衛星画像で明瞭に判断できる場合には、樹高 2m 未満でも森林に区分する。

⑤ 森林が伐採され荒地なのか空地なのか判断できない場合、植林以外の用途で人工的に伐採されていると判断される場合には空地とする。自然発生により森林が裸地や草地になった場合のみ荒地とする。比較的経年変化が多いケースのため注意する。

3.3 大規模災害地域の判読に関する補足事項

大規模災害地域を判読するための、特別な区分や基準は設定していないため、例えば東日本大震災のような大規模被災地においても災害による土地利用変化か否かに関わらず、土地利用は変化していれば、それぞれに区分する。

ここでは典型的な例を補足する。

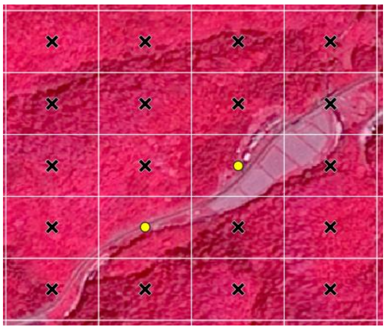
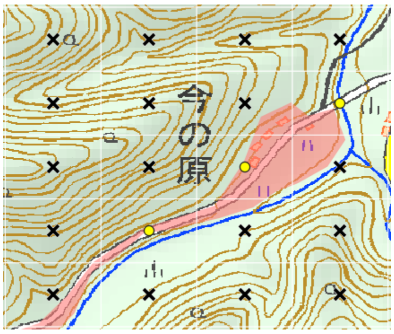
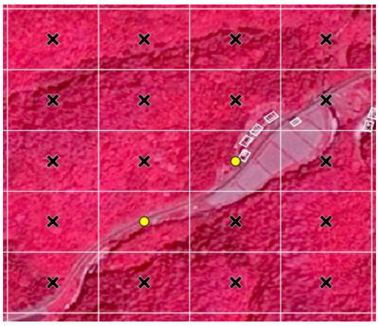
① 鉄道は、運航休止中であっても、鉄道用地である限り鉄道用地として区分する。ただし、衛星画像もしくは電子地形図で軌道や鉄道敷地が無くなっている場合には、その他の用地（空地）として区分する。その際、鉄道敷地の範囲が確定できない場合には、周囲の土地利用に含める。

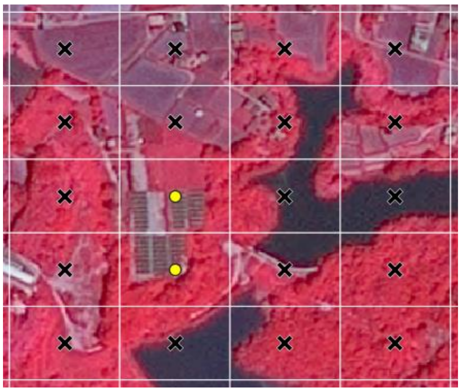
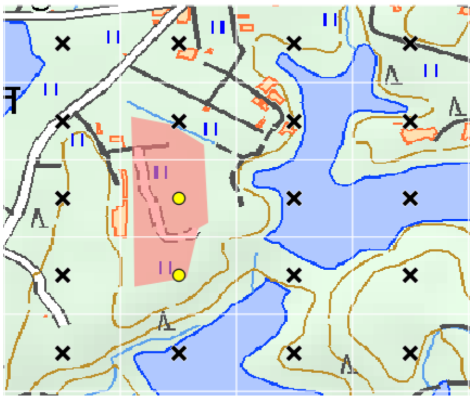
② 鉄道の仮復旧を目的とした、鉄道敷地を利用した施設（例：BRT 専用道路）は鉄道用地である限り鉄道用地として区分する。鉄道以外でも大規模災害時に仮復旧を目的とした例外的な土地利用がある場合には、都度精度管理担当者に確認する。

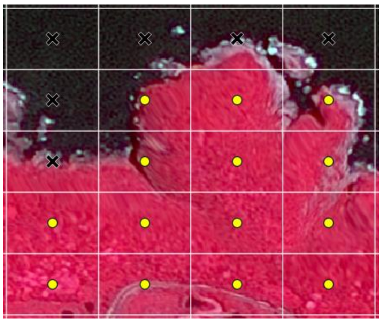
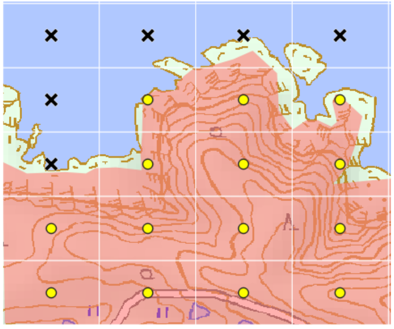
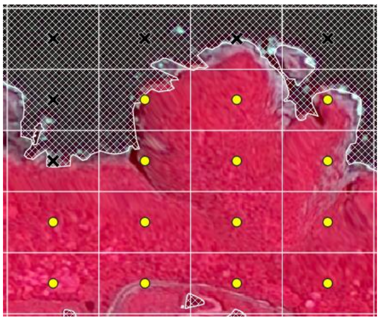
③ 建物が確認できない場合には、その他の用地（空地）として区分する。

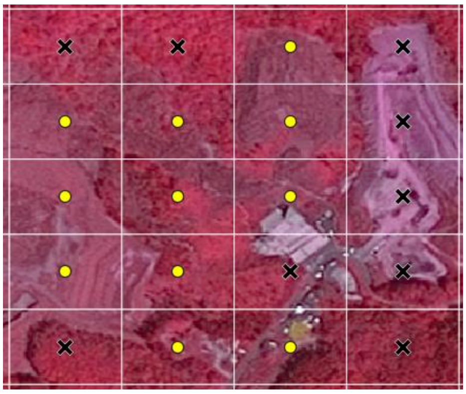
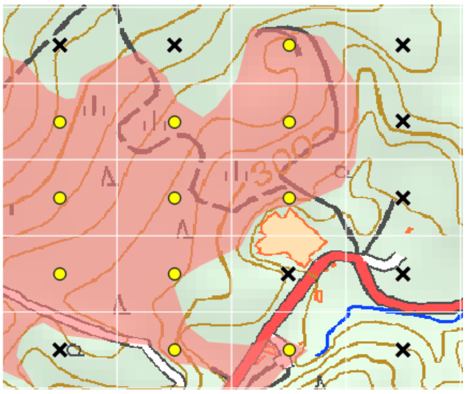
④ 田・畑等が明らかに未耕地となっていることが、衛星画像もしくは電子地形図で確認できた場合で、他に転用が可能と判断される場合には、その他の用地（空地）に区分する。

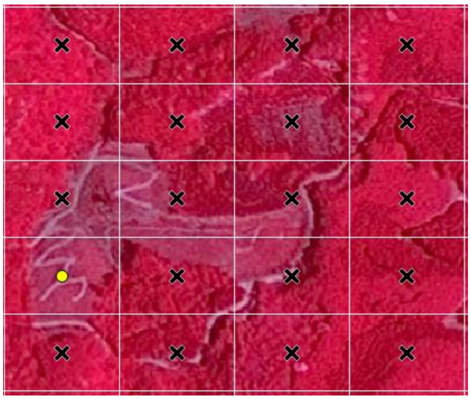
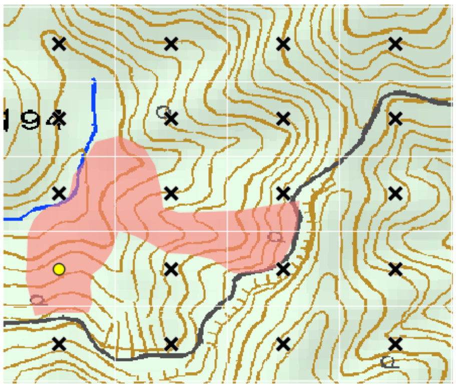
3.4　最小取得面積の取得事例、判読基準が不明瞭な箇所の判読事例

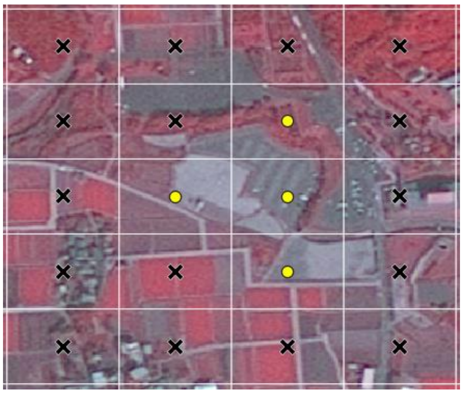
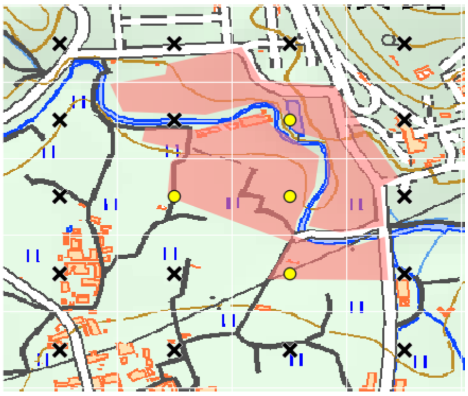
判読事例 00-01	判読点直下を丁寧に判読して 1ha を取得する事例。		
細分メッシュ番号	5131654406	撮影時期	2020 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

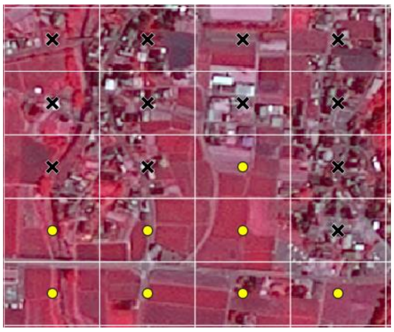
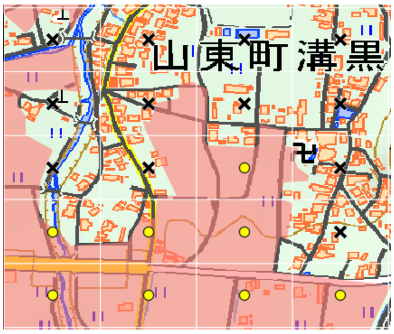
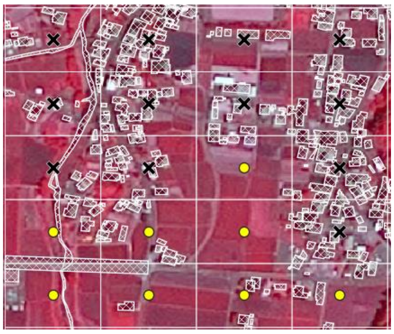
判読事例 00-02	北側の空地を含め、1ha 以上の範囲を取得した事例。基礎分類項目で区分したのち、細分項目に再区分する。		
細分メッシュ番号	5234372747	撮影時期	2020 年 6 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像		
			

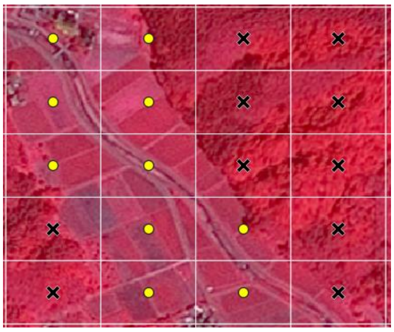
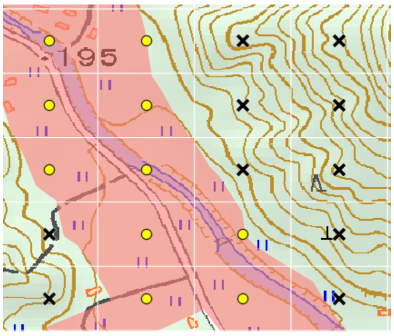
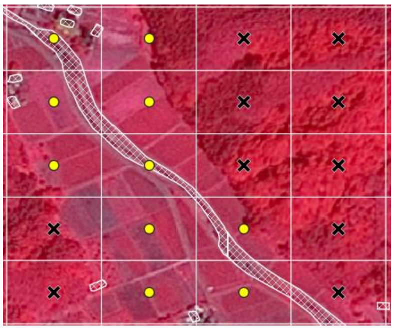
判読事例 00-03	海岸線沿いの判読点直下を丁寧に取得している事例。		
細分メッシュ番号	5131500588	撮影時期	2020 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

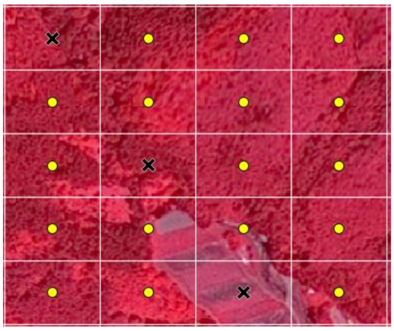
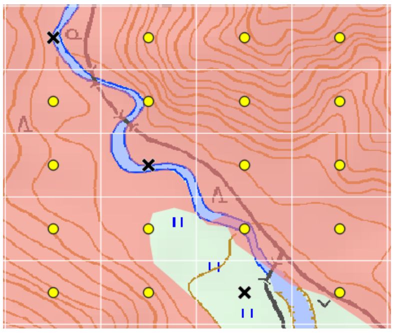
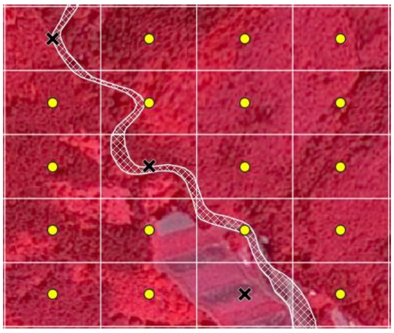
判読事例 00-04	山間部での荒地と空地を区別して判読する。		
細分メッシュ番号	5235347280	撮影時期	2020 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

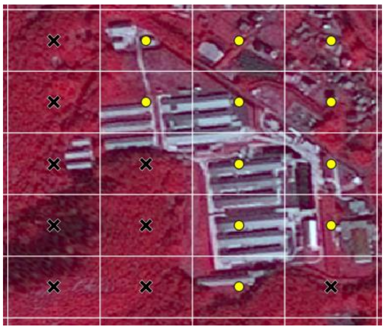
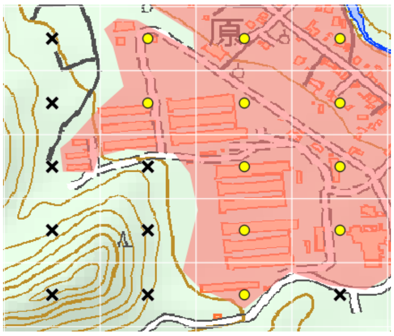
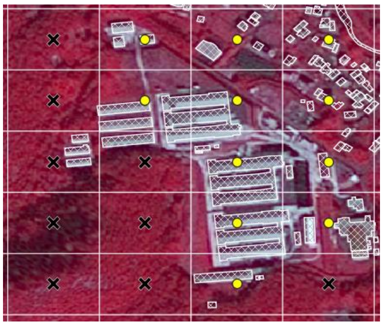
判読事例 00-05	荒地と森林の境界を判読する。		
細分メッシュ番号	4931163192	撮影時期	2021 年 1 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

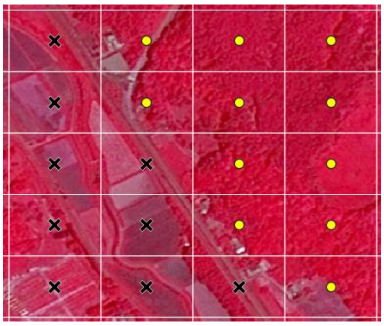
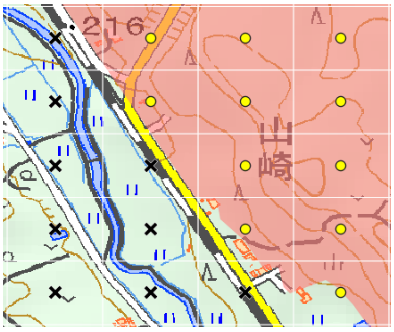
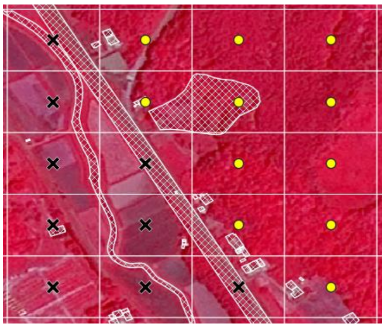
判読事例 00-06	田の一部が空地へ変化した事例。衛星画像から判読する		
細分メッシュ番号	5134366379	撮影時期	2020 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）		電子地形図画像	
			

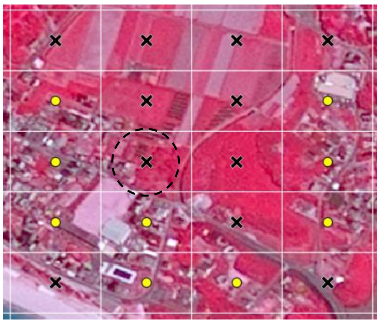
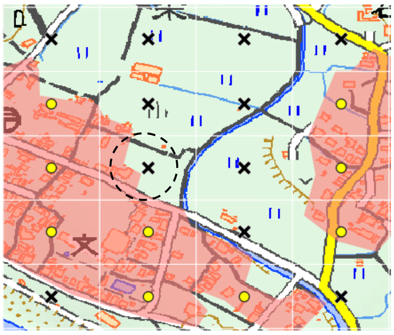
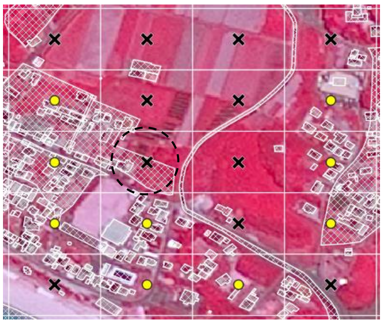
<table>
<tr><td colspan="2">判読事例 00-07</td><td colspan="4">衛星画像、地形図から河川幅を取得し、25m 未満のものは周囲の土地利用に含める。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td colspan="2">5234774080</td><td colspan="2">撮影時期</td><td>2020 年 6 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

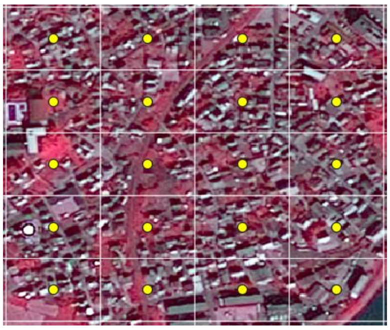
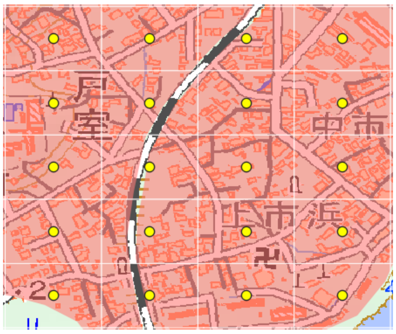
<table>
<tr><td colspan="2">判読事例 00-08</td><td colspan="4">衛星画像、地形図から河川幅を取得し、25m 未満のものは周囲の土地利用に含める。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td colspan="2">5234772732</td><td colspan="2">撮影時期</td><td>2020 年 6 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">
</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

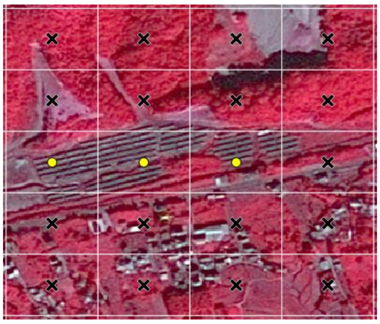
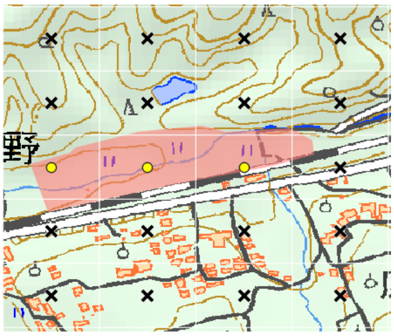
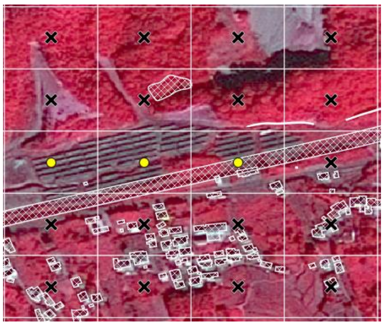
<table>
<tr><td colspan="2">判読事例 00-09</td><td colspan="4">衛星画像、地形図等から河川敷判読が困難な場合。前時期のデータを参照しているが、下の部分については河川区域が判読可能かつ 25m 未満であるため周囲の土地利用に含めている。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td colspan="2">5234673899</td><td colspan="2">撮影時期</td><td>2020 年 6 月</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td colspan="2">電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

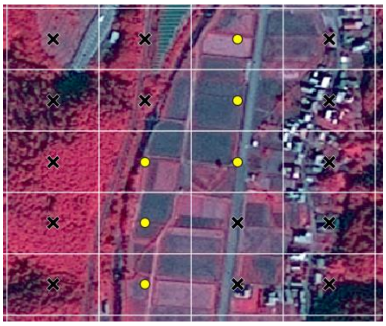
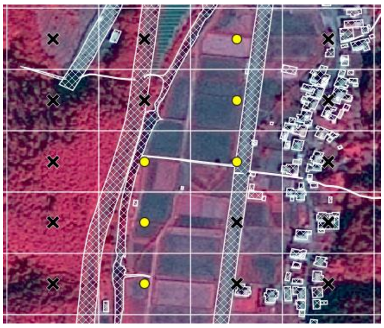
判読事例 00-10	骨格データ･地形図を参考にして判読している事例。（工場や農用地として判読しない）		
細分メッシュ番号	5234113391	撮影時期	2019 年 11 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

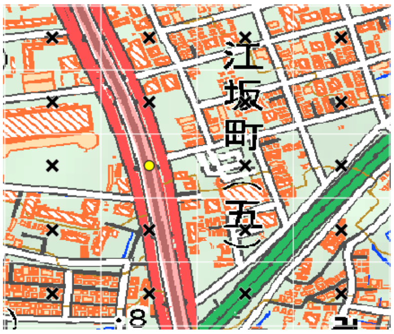
判読事例 00-11	骨格データでは樹木に囲まれた居住地だが、衛星画像を主として判読し、建物用地としない例。		
細分メッシュ番号	4730463626	撮影時期	2020 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

判読事例 00-12	骨格データでは樹木に囲まれた居住地だが、衛星画像を主として判読し、建物用地としての利用が確認できなければ取得しない例。		
細分メッシュ番号	5130170083	撮影時期	2020 年 5 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

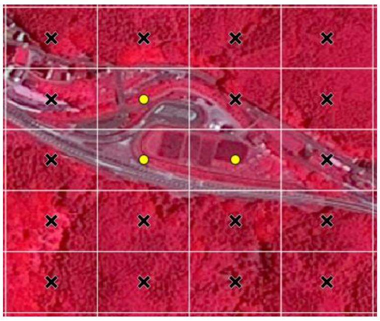
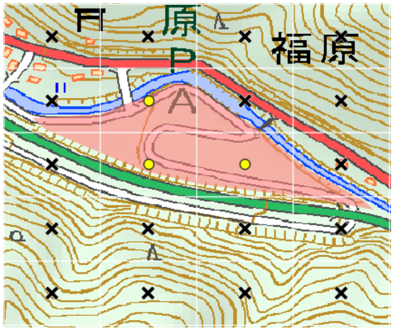
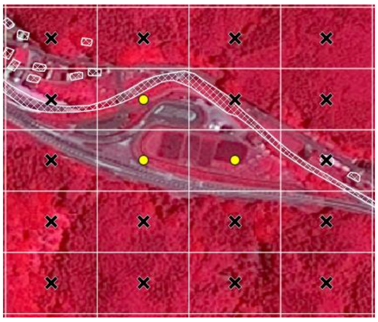
<table>
<tr><td>判読事例 00-13</td><td colspan="3">鉄道骨格上に判読点があるが、衛星画像を主として判読し、建物用地とする例（鉄道としない例）。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>4931564322</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 11 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"> </td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>判読事例 00-14</td><td colspan="3">鉄道骨格上に判読点があるが、衛星画像からソーラーパネルと判読したもの。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>4931568410</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 11 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

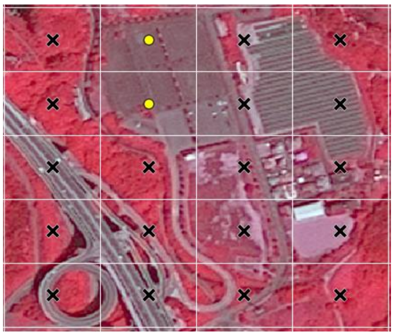
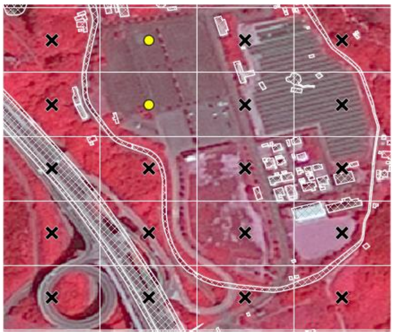
<table>
<tr><td>判読事例 00-15</td><td colspan="3">判読点は道路骨格データ上にあるが、衛星画像では道路外となるため、衛星画像を優先し田として取得している。</td></tr>
<tr><td>細分メッシュ番号</td><td>5234664366</td><td>撮影時期</td><td>2020 年 10 月</td></tr>
<tr><td>衛星オルソ画像（SPOT1.5m）</td><td>電子地形図画像</td><td colspan="2">衛星オルソ画像+骨格データ</td></tr>
<tr><td></td><td> </td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

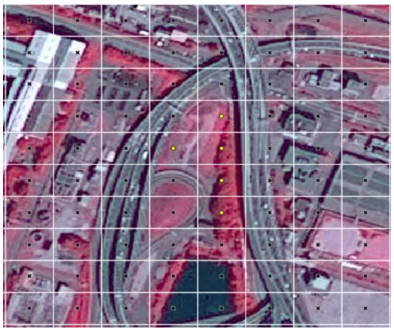
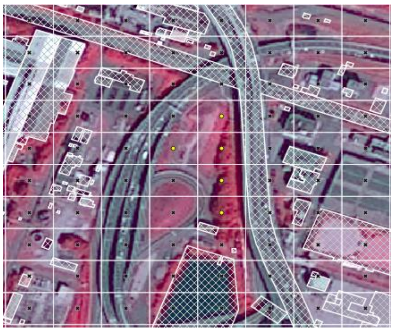
判読事例 00-16	鉄道の両脇を道路が走っている事例。衛星画像、地形図を参照しながら注意して判読する。		
細分メッシュ番号	5235132966	撮影時期	2020 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

判読事例 00-17	道路用地の中にその他の土地利用がある事例。（道路判読基準のうち判読方法2）		
細分メッシュ番号	5234363170	撮影時期	2020 年 10 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	

判読事例 00-18	道路用地の中にその他の土地利用がある場合として取得している事例。（道路判読基準のうち判読方法2）		
細分メッシュ番号	5234627450	撮影時期	2020 年 6 月
衛星オルソ画像（SPOT1.5m）	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ	
			

判読事例 00-19	道路用地の中にその他の土地利用がある事例。SA の駐車場であり、道路以外のほかの土地利用分類に含められる(1ha 取得できる)ため、空地として判読する。(道路判読基準のうち判読方法2)		
細分メッシュ番号	5133466593	撮影時期	2020 年 8 月

衛星オルソ画像(SPOT1.5m)	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ
		

判読事例 00-20	道路用地の中にその他の土地利用がある事例。(道路判読基準のうち判読方法2)		
細分メッシュ番号	5135732608	撮影時期	2020 年 10 月

衛星オルソ画像(SPOT1.5m)	電子地形図画像	衛星オルソ画像+骨格データ